説　明

一、牛乳營業者ニシテ特別牛乳ノ搾取處理ト他ノ業態トヲ兼ヌル者ハ之ヲ他ノ業態ノ欄ニ掲グルノ外特別牛乳ノ欄ニ「※」印ヲ附シ掲グベシ

二、牛乳販賣營業者ノ欄ニハ牛乳ノ販賣ノミヲ爲ス者ヲ掲クベシ

其ノ二　牛乳搾取場數、乳牛頭數及牛乳搾取量

	牛乳搾取場（年末現在）	乳牛頭數（年末現在）	牛乳搾取量「リツトル」
特別牛乳			
特別牛乳以外ノ牛乳			

説　明

一、乳牛頭數欄ニハ泌乳及乾泌及乾涸期中ノ牛ヲ掲グベシ

其ノ三　牛乳處理場數及牛乳處理量

	牛乳處理場（年末現在）	牛乳處理量 生乳「リツトル」	牛乳處理量 低温殺菌乳「リツトル」	牛乳處理量 高温殺菌乳「リツトル」	牛乳處理量 合計「リツトル」
特別牛乳					
特別牛乳以外ノ牛乳					

説　明

一、牛乳處理量ハ牛乳搾取、處理販賣營業者及牛乳處理販賣營業者ノ處理シタル量ヲ掲グベシ

二、脱脂乳ノ處理量ハ「※」印ヲ附シテ別記スベシ

訂〔靜岡令二二九號〕

其ノ四　乳製品（バタヲ含ム）製造量及輸（移）入量

煉乳「キログラム」	同上無糖ノモノ「キログラム」	脱脂煉乳「キログラム」	同上無糖ノモノ「キログラム」	粉乳「キログラム」	同上無糖ノモノ「キログラム」	脱脂粉乳「キログラム」	同上無糖ノモノ「キログラム」	バタ「キログラム」

説　明

一、乳製品ノ輸（移）入量ハ「※」印ヲ附シテ之ヲ別記スベシ

訂〔靜岡令二二九號〕

第二九號様式

山羊乳　　何年　警察署

山羊乳搾取販賣營業者數	山羊乳搾取場數	乳用山羊頭數	搾乳量「リツトル」

説　明

一、營業者數、搾取場數、山羊頭數ハ年末現在ヲ掲クヘシ

第三〇號様式

清涼飲料水　　何年　警察署

製造（輸移入）營業者數	製造（輸移入）品種別營業者數	製造（輸移入）總量「リツトル」
鑛泉及プレーンソーダ水		
ラムネノ類		
サイダーノ類		

第三一號樣式

雪天人造氷雪	採取製造營業者數	何年警察署	
		採取若ハ製造ニ係ル氷雪ノ	同上中不合格品量「キログラム」

一、本表ハ明治三十三年七月內務省令第三十七號氷雪營業取締規則ニ依ルモノノ內飲食用ノ目的ヲ以テ氷雪ヲ採取若ハ製造スル者及其ノ採取若ハ製造ニ係ル氷雪ヲ調査掲載スルモノトス

說明

二、營業者數ハ年末現在ヲ掲クヘシ

三、同一人ニシテ二種以上ノ製造（輸移入）ニ從事スル者ハ「製造（輸移入）品ノ種別營業者數」ノ欄ニ於テハ之ヲ各品種ニ就テ計上スヘシ

四、本表ニ輸移入ト稱スルハ外國又ハ疋地ヨリ直接輸移入スルモノヲ謂フ

第三一號樣式

牛乳又ハ乳製品ヲ原料トスル酸性飲料	果實汁、果實水、薄荷水、桂皮水ノ類ヲ含ムモノ	第四章　統計、報告
		三百十二ノ三百二十八

第三二號樣式

一、採取製造營業者數ハ年末現在ヲ掲クヘシ

屠場及屠畜	何年警察署		
其一　屠場數			
市設	町村設	私設其他	計

說明

一、屠場數ハ年末現在ヲ掲クヘシ

二、產業組合設、產業組合設ノ屠場ハ「※」印ヲ附シテ私設其ノ他ノ欄ニ別記スヘシ

牛 豬		其二　屠場內屠殺		
		頭數	牲重キログラム	肉重キログラム
牛	市設屠場ニ係ルモノ			
牛	町村設屠場ニ係ルモノ			
牛	私設其他ノ屠場ニ係ルモノ			
牛	計			
豬	市設屠場ニ係ルモノ			
豬	町村設屠場ニ係ルモノ			
豬	私設其他ノ屠場ニ係ルモノ			

其四　屠殺ノ禁止及屠殺後全部又ハ一部ノ廢棄ヲ命ジタルモノ

	屠殺禁止頭數	全部ノ廢棄		一部ノ廢棄		棄内頭數ノミノ廢
		頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	
牛						

一、肉重ノ内ニハ内臓ヲ包含セス

說明

其三　切迫屠殺

	不慮ノ災害ニ因ルト認ムル傷		不慮ノ災害ニ因リ救フヘカラサル狀態ニ		難産		産褥痲痺		急性傳染病		計	
	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」
牛												
馬												
豚												
山羊												
緬羊												

一、肉重ノ内ニハ内臓ヲ包含セス

說明

	計	屠殺ノ禁止及屠殺後全部又ハ一部ノ廢棄ヲ命シタルモノ												其三　切迫屠殺											
		市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	私設其他ノ屠場ニ係ルモノ	計	市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	私設其他ノ屠場ニ係ルモノ	計	市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	私設其他ノ屠場ニ係ルモノ	計	不慮ノ災害ニ因ルト認ムル傷		救フヘカラサル狀態ニ不慮ノ災害ニ因リ		難産		産褥痲痺		急性傳染病		計	
														頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」	頭數	内臓「キログラム」
馬																									
豚																									
山羊																									
緬羊																									
計																									

犢	緬羊	山羊	豚	馬

說明

一、肉量ノ内ニハ内臓ヲ包含セス

其五 屠殺ノ禁止及屠殺後全部又ハ一部ノ廢棄ヲ命シタルモノノ原因別頭數

原因別	牛 禁止	牛 全部廢棄	牛 一部廢棄	牛 内臓ノミ廢棄	犢 禁止	犢 全部廢棄	犢 一部廢棄	犢 内臓ノミ廢棄	緬羊 禁止	緬羊 全部廢棄	緬羊 一部廢棄	緬羊 内臓ノミ廢棄	山羊 禁止	山羊 全部廢棄	山羊 一部廢棄	山羊 内臓ノミ廢棄	豚 禁止	豚 全部廢棄	豚 一部廢棄	豚 内臓ノミ廢棄
法定家畜傳染病							—	—											—	—
膿毒症			—	—			—	—			—	—			—	—			—	—
敗血症			—	—			—	—			—	—			—	—			—	—
尿毒症			—	—			—	—			—	—			—	—			—	—
强直症			—	—			—	—			—	—			—	—			—	—
諸中毒症（人體ニ有害ノ虞アルモノ）			—	—			—	—			—	—			—	—				
黄疸																				
水腫																				
腫瘍 放線菌腫																				
腫瘍 其他																				
開放性結核																				
非開放性結核																				
旋毛蟲			—	—			—	—			—	—			—	—			—	—
嚢蟲																				
ザストマ																				
炎症又ハ其産物ニヨル汚染																				
變性又ハ萎縮																				
其他																				
計																				

馬		
全部廢棄		
一部廢棄		
內臟ノミ廢棄		

說　明

一、禁止又ハ廢棄ノ原因二件以上アルトキハ各原因ニ就テ計上スヘシ

第六　自家用屠殺

	頭數	肉量「キログラム」
犢		
緬羊		
山羊		
豚		

說　明

一、肉量ノ內ニハ內臟ヲ包含セス

第三三號樣式

精神病者監護法ニ依ル

何年十二月三十一日現在　警察署

精神病院法ニ依ル	精神病院ニ收容シタル者	官公私立病院ニ監置シタル者	
		義務者ノ監置	市町村長ノ監置
	代用精神病院ニ收容シタル者	其他ノ場所ニ監置シタル者	
		義務者ノ監置	市町村長ノ監置
		一時假監置者	
	收容又ハ監置ヲ要セサル者		
	合計		

訂（靜岡令二一二號）

男	
女	
計	

說　明

一、本表ハ署管內ノ者ノミヲ調査スヘシ

第三四號樣式

細菌檢查所

其一　細菌檢查所數

縣立	市立	町立	村立	私立	計

說　明

一、本表ノ細菌檢查所中ニハ縣、市衞生課等ノ所屬細菌室及一般衞生試驗所ノ細菌室ヲ含ムモ病院等ニ於テ一般ノ爲ニセサルカ如キ設備ハ之ヲ含マス

二、細菌檢查所數ハ年末現在ヲ揭クヘシ

何年　警察署

其二　細菌檢查件數

法定傳染病ニ係ルモノ	其他	計

訂（靜岡令二一二號）

第三五號樣式

醫師　何年十二月三十一日現在　警察署

	醫師總數								診療ニ從事スル醫師數			
	大學卒業	官公私立(指定)醫學專門學校卒業	外國學校卒業(試驗ヲ含ム)	試驗及第	奉職履歴	從來開業(子弟ヲ含ム)	限地開業	合計	市部	町部	村部	合計
男												
女												
計												

説明

一、口中科、整骨科ハ試驗及第、從來開業ノ當該欄ニ算入スヘシ
二、外國人醫師ハ本表ニ算入セス欄外ニ國籍別ニ附記スヘシ
三、診療ニ從事スル醫師トハ自己又ハ他人ノ診療所(官立診療所ヲ含ム但シ軍用ノモノヲ除ク)ニ於テ醫業ニ從事スル者ヲ謂フ
四、診療ニ從事スル醫師ハ住所ノ如何ニ拘ラス其ノ管内ニ於テ診療ニ從事スル者ヲ掲クヘシ
五、二以上ノ診療所ニ於テ醫業ニ從事スル者ニ就テハ何レカ一方ノ診療所ニ就テ之ヲ調査スヘシ若シ二以上ノ診療所ニシテ管轄地方廳ヲ異ニスルトキハ住所地所在ノ地方廳ニ於テ之ヲ調査スヘシ

第三六號様式

歯科醫師　何年十二月三十一日現在　警察署

	歯科醫師總數					診療ニ從事スル歯科醫師數			
	指定私立歯科醫學專門學校卒業	外國學校卒業(試驗ヲ含ム)	試驗及第	從來開業	計	市部	町部	村部	計
男									
女									
計									

訂〔静岡令二二九號〕

訂〔静岡令二二九號〕

説明

一、外國人歯科醫師ハ本表ニ算入セス欄外ニ國籍別ニ附記スヘシ
二、醫師ニシテ歯科專門ヲ標榜スルモノアルトキハ其ノ人員ヲ欄外ニ附記スヘシ
三、診療ニ從事スル歯科醫師トハ自己又ハ他人ノ歯科診療所(官立歯科診療所ヲ含ム但シ軍用ノモノヲ除ク)ニ於テ歯科醫業ニ從事スル者ヲ謂フ
四、診療ニ從事スル歯科醫師ハ住所ノ如何ニ拘ラス其ノ管内ニ於テ診療ニ從事スル者ヲ掲クヘシ
五、二以上ノ歯科診療所ニ於テ歯科醫業ニ從事スル者ニ就テハ何レカ一方ノ診療所ニ就テ之ヲ調査スヘシ若シ二以上ノ歯科診療所ニシテ管轄地方廳ヲ異ニスルトキハ住所地所在ノ地方廳ニ於テ之ヲ調査スヘシ

第三七號様式

藥劑師　何年十二月三十一日現在　警察署

	藥劑師總數					藥劑師ノ業務ニ從事スル藥劑師數				
	大學卒業	官公私立(指定)藥學專門學校卒業	外國學校卒業(試驗ヲ含ム)	試驗及第(舊試驗ヲ含ム)	合計	市部	町部	村部	病院其ノ他ノ診療所ニ於テ調劑ニ從事スル藥劑師數	賣藥營業ノミニ從事スル藥劑師數
男										
女										
計										

説明

一、官公立醫科大學附屬藥學專門部卒業及官公立醫學專門學校藥學科卒業ノ藥劑師ハ之ヲ「官公私立(指定)藥學專門學校卒業」者中ニ算入

第三八號様式

薬剤師ノ開設スル薬局数	薬局	薬剤師ニ非サル者ノ開設スル薬局数	警察署

何年十二月三十一日現在

第三九號様式

薬剤師ニ依リ薬剤師使用ノ薬種ニ関シテ薬品販売業ヲ営ムニ至リタル者	薬種	其一　薬品販売業者数	薬業者	警察署

何年十二月三十一日現在

其二　製薬業者数

第四〇號様式

薬剤師	薬剤師使用	其他ノ者	計

訂（昭和一二年内務省令二一二號）

第四一號様式

看護婦及看護人	警察署

何年十二月三十一日現在

一、外國人産婆ハ本表ニ算入セス欄外ニ國籍別ニ附記スヘシ

其一　登錄又ハ免許表格別

所指定ノ學校若ハ講習卒業ノ者	外國學校卒業（試驗ヲ含ム）ノ者	試驗及第	従来開業	限地開業	計

其二　市、町、村部別

市部	町部	村部	計

何年十二月三十一日現在

看護婦	準看護婦	計	看護人

訂〔靜岡令二一二號〕

第四二號様式

鍼術、灸術、按摩術業者

何年十二月三十一日現在　警察署

	鍼術		灸術		按摩術（マッサージヲ含ム）		鍼灸術兼業		鍼按術兼業		灸按術兼業		鍼灸按術兼業	
	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者	晴眼者	盲者
男														
女														
計														

訂〔靜岡令二一二號〕

說明

一、柔道整復術業者數ハ按摩術業者中ニ計上スルノ外其ノ人員ヲ欄外ニ掲クヘシ

第四三號様式

賣藥　何年　警察署

其一　營業者數

製造營業者數						輸移入營業者數	賣藥請賣營業者數	賣藥行商者數
藥劑師	醫師及獸醫師	藥劑師ヲ使用スルモノ	賣藥法第二十四條ニ依ル營業者	賣藥法第二十五條ニ依ル營業者	計			

其二　製造及輸移入免許方數

其三　製造及輸移入額

説明

一、營業者數及製造輸移入免許方數ハ年末現在ヲ揭クヘシ
二、製造營業者ニシテ輸移入營業ヲ兼ヌル者ハ之ヲ製造營業者中ニ合算シ輸移入販賣ノミヲ爲ス者ハ「輸移入營業者數」ノ欄ニ揭クヘシ
三、製造及輸移入額ハ小賣價格ヲ揭クヘシ
四、輸移入免許方數及輸移入額ニハ「※」印ヲ附シテ之ヲ別記スヘシ
五、本表ニ輸移入ト稱スルハ外國又ハ殖民地ヨリ直接輸移入スルモノニシテ賣藥貿易商ヲ經ルモノハ含マス

第四四號樣式

火藥類爆發ノ災害事故　何年　警察署

火藥類ノ種別	災害年月日	場所	原因	死者數	負傷者數	家屋其他燒毀又ハ爆發數	損害價格
				人	人		圓
備考							

第四五號樣式

火藥類盜難件數　何年　警察署

説明

一、「原因」欄ニハ其ノ場合、狀況等可成詳細ニ記載スヘシ

訂〔靜岡令二一二號〕

盜難件數	被害物件ノ種類數量											
	有煙火藥	無煙火藥	ダイナマイト	カーリット	綿火藥	硝安爆藥	工業用雷管	銃用雷管	實包	空包	導火線	其ノ他
	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	ケ	ケ	ケ	ケ	米	
備考												

訂〔靜岡令二一二號〕

第四六號樣式

火藥類盜犯檢擧件數　何年　警察署

件數	盜取物件ノ數量											
	有煙火藥	無煙火藥	ダイナマイト	カーリット	綿火藥	硝安爆藥	工業用雷管	銃用雷管	實包	空包	導火線	其ノ他
	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	ケ	ケ	ケ	ケ	米	
備考												

第四七號樣式

火藥類盜犯人ノ職業別及盜取目的別　何年　警察署

職業別	漁業者ニ密賣	漁獲	殺人	建造物破壞	惡戲	何々	何々	何々	計
土工夫									
鑛夫									

第四八號様式

何年　警察署									
何々製造業									
計									
備考									

第四九號様式

銃砲火薬類取締法令違反														
何年　警察署														
適用條		件名	件数	火薬類		検挙人員								
				名称	数量	送致セシモノ	送致セサルモノ	計						
「法第一條」 「法第三條」		「火薬類製造」 「火薬類販売」												
備考														

第五〇號様式

何年　警察署														
火薬類ノ種類		事故年月日	所場	火薬類爆発等ニ非ル事故										
				事故ノ概要										

何年　警察署														
銃砲製造高														
種別		越高	製造高	改造修繕高	譲渡高	年末現在高								
軍用銃砲														
猟銃														
空気銃														
仕込杖銃														
短銃														
計														
備考														

配明

第五一號樣式

一、空氣銃ハ本法ノ適用ヲ受クルモノノミヲ掲クヘシ

種別	銃砲販賣高											備考
	其他ノ空氣銃	仕込短銃	拳銃	猟銃	軍用銃砲							
越高												
讓受高												
讓渡高												
年末現在高												

何年　警察署

第五一號樣式

一、空氣銃ハ本法ノ適用ヲ受クルモノノミヲ掲クヘシ

説明

種類	火薬類製造高											備考
	其他ノ火工品	導火線	煙火	無煙火藥	計	黒色火藥	ダイナマイト	カーリット	ヂオナイト	爆藥		
越高												
製造高												
變形修理高												
讓渡高												
年末現在高												

何年　警察署

訂（昭和二一勅令二一一號）

第五二號樣式

種類	火藥類販賣高											備考
	爆藥			煙火								
	カヂオナイト	ダイナマイト	計	無煙火藥	黒色火藥	煙火						
越高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩						
讓受高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩						
讓渡高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩						
年末現在高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩						

何年　警察署

第五三號樣式

種別	火藥類販賣高											備考
	其他ノ火工品	導火線	煙火	無煙火藥	黒色火藥							
越高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩							
讓受高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩							
讓渡高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩							
年末現在高	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩							

何年　警察署

訂（昭和二一勅令二一一號）

導火線	備考
工業用雷管	
銃用雷管	
銃用實包	
拳銃實包	
銃用空包	
拳銃空包	
其他火工品	
火藥	

何年　警察署

火藥類消費數量

使用區分	火藥					導火線	備考
	爆藥				雷管		
	ダイナマイト	カーリット	計	計			
鑛業	瓩	瓩	瓩	瓩	ケ	米	

說明

一、瓩以下ハ四捨五入スヘシ

第五四號樣式

訂（靜岡令二一二號）

石材採取	備考
發電工事	
道路工事	
鐵道工事	
煉火製造	
石灰採取	
其他工事用	
計	

說明

一、本調査ハ規則第十六條第十七條各消費所毎ニ小表ヲ作リ調査シ更ニ用途別ニ集計スヘシ

二、瓩以下ハ四捨五入スヘシ

第五五號樣式

訂（靜岡令二一二號）

仕込刀劍其他變裝戎器製造高

何年　警察署

種別	越高	製造高	修繕高	讓渡高	年末現在高
仕込刀劍					
其他變裝シタル戎器					

第五六號樣式

仕込刀劍其他變裝戎器販賣高

種別	越高譲受	渡高譲受	年末現在高	備考
仕込刀劍				
其他變裝シタル戎器				

何年　警察署

第五七號樣式

拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍、其ノ他携帶者

何年十二月末現在　警察署

種別	官公吏	商業	農業	鑛夫	土工夫					計	備考
拳銃											
短銃											
仕込銃											
仕込刀劍											
其ノ他變裝シタル戎器											

訂（靜岡令二一二號）

第五八號樣式

火藥類輸移出入數量

種類	輸出數量				輸入數量				備考
	移出數量	移出先			移入數量	移入先			
無煙火藥	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	
有煙火藥	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	
爆藥（名稱、成分、配合比）	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	瓩	
工業用雷管	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	

何年　警察署

訂（靜岡令二一二號）

説明

一、本表ハ規則第三十九條ニヨリ携帶許可ヲ受ケ十二月三十一日現在ニ於テ携帶スル者ノ數ヲ掲クヘシ

銃用雷管	銃用實包	銃用空包	導火線	火薬	其他火工品	備考
ケ	ケ	ケ	米	ケ	ケ	

說　明

一、爆薬ハ名稱、成分、配合ノ異ナル毎ニ數量ヲ調査記入スヘシ但シ輸出品ニ付テハ成分配合比ヲ省略スルモ差支ナシ

二、工業用爆薬ハ使用爆薬及號數ノ異ナル毎ニ區分スヘシ

三、移出トハ本縣火藥商ヨリ他府縣ニ販賣シタルモノ移入トハ本縣火藥類消費者ニシテ他府縣ヨリ直接購入セルモノヲ謂フ

第五九號樣式

水道　其ノ一

何々年度末現在　市町村

企業者	某市々	認可又ハ許可	年月日	起工	年月日	竣功	年月日	給水開始	年月日	布設總工費	圓	給水區域		給水人口	當初計畫		現在		極度給水人口		一日一人給水量	平均	立米	最大	立米	水源	水壓ノ概算（一平方粍ニ付）	瓩

訂（靜岡令二一二號）

企業者	某市々	配水管延長	鐵管	米	鉛管	米	其他	米	計	米	給水戶數	專用栓引用戶數	共用栓使用戶數	放任計量公設	數	放任計量私設	數	計	數	給水區域內現住總戶口	戶數	戶	人口	人

企業者	某市々	栓	消火栓	兼用量水器	區用	消火栓	放任給水栓	計量給水栓	專用	公設	官衙學校	病院會社等用	其他	計	共用	公設	途上營業用	家事用	其他	計

訂（靜岡令二一二號）

說　明

一、本表ハ水道條例ニ依リ布設ノ認可又ハ許可ヲ得タルモノノ年度末現況ヲ記載報告スル樣式ヲ示シタルモノトス

二、企業者ノ欄ニハ市、町村、組合、私人ノ別ヲ記入スルモノトス次表モ亦同シ

三、改築又ハ增築等ニ關スル變更、災害ノ復舊ニ屬スル工事、認可、起工、竣功トモ其ノ年月日ヲ「※」印ヲ付シテ之ヲ別揭シ從テ其ノ工費モ布設總工費ノ欄ニ別記スルヲ要ス但シ竣功ノ分ハ決算總額ヲ揭ケ未竣功ノ分ハ一部竣功セルモノト雖豫算總額ヲ揭上スルモノトス

四、配水管延長中其ノ他ノ欄ニハ混凝土管、木管、土管等ヲ區分揭記スルモノトス

五、給水區域內現住總戶口ハ最近ノ事實ヲ揭ケ且其ノ年月日ヲ添記スルモノトス

第六〇號樣式

水道 其ノ二

何年度 市町村

企業者	濾過水量	給水總量	一人一日給水量 平均	一人一日給水量 最大	一人一日給水量 時間最大ニ對スルモノ
某市 何々	立米	立米	立米	立米	立米

企業者	水道費收入										
	水料									雜收入	合計
	消火栓使用料	給水量計給水 放任給水 專用	給水量計給水 放任給水 共用	給水量計給水 家事用	給水量計給水 營業用	給水量計給水 官衙學校病院會社等用	給水量計給水 其他	過年度水料	計		
某市 何々	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

企業者	水道費支出									
	布設費			維持修繕費			事務費			合計
	工事費	其他	計	維持費	雜給其他	計	俸給	雜給其他	計	
某市 何々	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

種別			某市何々
布設總工費		何年度	
		同年度	
		同年度	
		同年度	
		同年度	圓
	計	水源費	
		導水管費	
		浄水構場費	
		配水管費	
		建物築造費	
		何々	圓

種別			某市何々
財源		國庫補助金	
		縣費補助金	
		市町村費	
		寄附金	
		何々	
		何々	
	計		圓
國庫補助額		何年度	
		同年度	
		同年度	
		同年度	圓

説明

一、本表ハ水道其ノ一ニ掲出セル水道ノ一年度間ニ於ケル給水並ニ收支決算額ヲ記載スル樣式ヲ示シタルモノトス

二、水道費收支ハ其ノ年度ノ決算額ヲ掲記スルモノトス但シ雜收入中ニハ布設資金ニ屬スル收入ハ算入スヘカラス又災害復舊費ハ之ヲ維持修繕費中ヘ「△」印ヲ付シテ別掲スヘシ

三、布設總工費中ニハ起債ニ關スル一切ノ費用ヲ含マサルモノトス

四、布設總工費、財源及國庫ヨリ補助ヲ受クルモノハ左記附表ニ準シ作成添附スルヲ要ス但シ竣功ノ分ハ決算額ヲ掲ケ未竣功ノ分ハ全部豫算額ヲ塡記スルモノトス又増築及復舊ニ係ルモノハ夫々區分明記ヲ要ス尙附表ノ計額ハ必ス水道其ノ一ノ布設總工費ト符合スヘキモノトス

第六一號樣式

事務費及雜費	
豫備費	
小計	

年度別	年度	年度
同		
同		
計		

下水道

其ノ一　何　年度末現在

企業者	某市々	某何
認可又ハ許可		年月日
起工		年月日
竣功		年月日
築造總工費		圓
區域	排水區域内	
	面積	ヘクタール
	現住戸數	
	現住人口	
排水區域延長		
排水總量	一人一日汚水量	標準降雨强度（一時間）
		耗
排水方式		立米
吐口位置及處分方法、排出方法		
陶管		立米
何管		立米
暗渠		立米
開渠		立米
側溝		立米

市町村

訂（靜岡令二一二號）

其ノ二　何　年度

企業者	某市々	某何
收入	肥料收入	圓
	其他收入	圓
	計	圓
支出	築造費	圓
	工事費	圓
	其他	圓
	維持修繕費	圓
	修繕費	圓
	雜給其他	圓
	事務費	圓
	俸給	圓
	雜給其他	圓
	計	圓

訂（靜岡令一八三號）

說明

一、本表ハ下水道法ニ依リ築造ノ認可又ハ許可ヲ得タルモノノ年度末現況及一年度間ニ於ケル收支決算額ヲ記載報告スル樣式ヲ示シタルモノトス

二、企業者ノ欄ニハ市、町村、組合等ノ別ヲ記入スルモノトス

三、改築又ハ增築等ニ關スル變更、災害ノ復舊等ニ屬スル工事ノ認可、起工、竣功トモ其ノ年月日ヲ「※」印ヲ付シ之ヲ別揭シ從テ其ノ工費モ附表築造總工費等各欄ニ別記スルヲ要ス

四、排水方式ノ欄ニハ合流法或ハ分流法ノ別ヲ附記スルモノトス

五、吐口位置及處分方法、排出方法ノ欄ニハ何川、何濟若ハ何港灣等ト記シ其ノ地先町村名ヲ附記シ自然流出或ハ喞筒排水等ノ別ヲ明記スルモノトス

六、處分方法トハ其ノ儘河海溝渠ニ放流スルカ又ハ特種ノ處分方法ヲ講ジタル上放流スルカ等ノ區別ヲ揭記スルモノトス

七、築造總工費中ニハ起債ニ關スル一切ノ費用ヲ含マサルモノトス

八、築造總工費、財源及國庫ヨリ補助ヲ受クルモノハ左記附表ニ準シ作成添附スルヲ要ス但シ竣功ノ分ハ決算額ヲ揭ケ未竣功ノ分ハ全部豫算額ヲ填記スルモノトス又增築及復舊ニ係ルモノハ夫々區分明記スルコト

種別	某市	何々
種別	某町	何々

第六二號樣式

何年度	築造總工費									國庫補助金	財源				國庫補助額		年度別
	排水設備費	建物築造費	排水用喞筒費	何々	事務費及雜費	豫備費	小計	計			縣費補助金	市町村費	寄附金	何々	何々	計	
同年度																	同年度
同年度																	同年度
同年度																	同年度
同年度																	同年度
同年度																	同年度
計																	計

第六三號樣式

何年度	塵芥其ノ他搬出量			塵芥焼却設備			淨化裝置ヲ施シタル便所數	市街地建築物法施行規則第十二條ニ依リ水道ニ直結スル便所數
	塵芥汚泥	屎尿	掃除區劃內ノ戶數	設備數	焼却量			
同年度								
同年度								
同年度								
同年度								
同年度								
計								

何年　市郡　町村

訂（靜岡令二一五號）

何市	何市	何市	何年　市町村
			埋火葬
			墳墓地箇所數
			同上面積（アール）
			火葬場數
			埋葬死體數
			火葬死體數
（キログラム）	（キログラム）	（キログラム）	

說明

一、戶數、塵芥燒却設備數、淨化裝置ヲ施シタル便所數ハ年末現在ヲ揭クヘシ
二、屎尿搬出量ハ市町村ニ於テ其ノ處分義務ヲ負フモノニ限リ之ヲ記載スヘシ
三、塵芥燒却設備數中ニハ露天燒却設備ノ數ヲ計上スヘカラス
四、塵芥燒却量ハ其ノ年中ニ燒却シタル量ヲ記載スヘシ
五、淨化裝置ヲ施シタル便所數ハ淨化裝置ノ設備數ヲ以テ計算スヘシ
六、下水道ニ直結スル便所數ハ便所ト下水トノ連絡管數ヲ以テ計算スヘシ

第六四號樣式

何年　市町村	種痘成績	
	其一　定期種痘	
	被種痘者數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ數	
	種痘ヲ受ケサル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏シタル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏セサル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏シタル者ノ數ノ百分比	
	其二　臨時種痘	
	被種痘者數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ數	
	種痘ヲ受ケサル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏シタル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏セサル者ノ數	
	種痘ヲ受ケタル者ノ內ニ於ケル種痘ノ效ヲ奏シタル者ノ數ノ百分比	

訂（靜岡令二一二號）

		公種痘 善感人員	公種痘 不善感人員	公種痘 檢診未了人員	公種痘 計	私種痘 善感人員	私種痘 不善感人員	私種痘 計	未種痘人員
第一期	第一回								
	第二回								
第二期	第一回								
	第二回								

説明

一、定期種痘中ニハ種痘法第一條第二項及第十條ニ依リ定期種痘ト看做ス可キモノヲ含ム
二、市町村ニ於テ施行シタル種痘ハ之ヲ公種痘欄ニ其ノ他ハ總テ之ヲ私種痘欄ニ記入スヘシ
三、第一回欄ニハ其ノ定期第一回ノ種痘成績ヲ記入シ第二回欄ニハ前年若ハ其ノ年第一回ノ種痘不善感ナリシ爲更ニ種痘ヲ行ヒタルモノヲ記入スヘシ但シ猶豫不參等ニ依リ後ニ種痘シタル者ハ第一回ノモノハ第一回ノ欄ニ第二回ノモノハ第二回ノ欄ニ記入スヘシ
四、檢診未了人員ノ第一回欄ニハ其ノ定期第一回ノ種痘ヲ行ヒタル儘未タ檢診ヲ了セサルモノヲ記入シ第二回欄ニハ第一回ノ種痘不善感ナリシ爲更ニ種痘ヲ行ヒタルモ未タ其ノ檢診ヲ了セサルモノヲ記入スヘシ
五、未種痘人員ハ種痘簿又ハ種痘票ニ登載セラレタル要種痘者中其ノ定期種痘ヲ受ケサルモノ若ハ受ケタルコト不明ナルモノヲ記入（第一回欄）スヘシ

其二 臨時種痘人員

訂〔靜岡令一八三號〕

第六五號樣式

公立病院

其一 病院數、患者收容定員、患者數

何年 市町村	病院數	收容定員	患者數 前年ヨリ越	患者數 本年入院	患者數 退院	患者數 在院中死亡	患者數 年末現在	入院患者延數

説明

一、本表ニハ年末ニ現在スル公立病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲クヘシ
二、本表公立病院中ニハ結核病院、精神病院、癩療養所、施療病院、娼妓病院及傳染病院ヲ計上スヘカラス
三、傳染病患者收容定員及結核患者收容定員ハ他ト區別シ前者ニハ「×」印ヲ後者ニハ「〇」印ヲ附シテ之ヲ掲クヘシ
四、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ
五、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

訂〔靜岡令二一二號〕

其二 診療科別病院數

	市部 收容定員十人以上ノモノ	市部 收容定員三十人以上ノモノ	市部 收容定員五十人以上ノモノ	市部 收容定員百人以上ノモノ	市部 計	町部 收容定員十人以上ノモノ	町部 收容定員三十人以上ノモノ	町部 收容定員五十人以上ノモノ	町部 收容定員百人以上ノモノ	町部 計	村部 收容定員十人以上ノモノ	村部 收容定員三十人以上ノモノ	村部 收容定員五十人以上ノモノ	村部 收容定員百人以上ノモノ	村部 計
一般															
內科															

外科	
小兒科	
眼科	
産婦人科	
皮膚花柳病泌尿生殖器病科	
耳鼻咽喉科	
齒科	
其他	
合計	

說明

一、診療科名中「一般」ノ欄ニハ二種以上ノ診療科ヲ有スル病院ヲ計上スヘシ

第六六號樣式

私立病院

其一　病院數、患者收容定員、患者數								
病院數	收容定員	患者數						
		前年ヨリ越	本年入院	退院	在院中死亡	年末現在	入院患者延數	

何年　市町村

訂〔靜岡令二一二號〕

說明

一、本表ニハ年末ニ現在スル私立病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ揭クヘシ

二、本表私立病院中ニハ結核病院、精神病院、癩病院、施療病院ヲ計上スヘカラス

三、私立病院中公益法人ノ經營ニ係ルモノハ其ノ各項ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ揭クヘシ（其二之ニ倣フ）

四、私立病院ニシテ外國人ノ經營ニ係ルモノアルトキハ其ノ各項ヲ他ト區別シ「△」印ヲ附シテ揭クヘシ（其二之ニ倣フ）

五、病院數及病床數ハ年末現在ヲ揭クヘシ

六、傳染病患者收容定員、結核患者收容定員ハ他ト區別シ前者ニハ「×」印ヲ後者ニハ「〇」印ヲ附シテ之ヲ揭クヘシ

七、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ

八、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

訂〔靜岡令一八三號〕

其二　診療科別病院數

	市					部	町					部	村					部
	收容定員十人以上ノモノ	收容定員十人以上ノ人ノモノ	收容定員三十人以上ノ人ノモノ	收容定員五十人以上ノ人ノモノ	收容定員百人以上ノモノ	計	收容定員十人以上ノモノ	收容定員十人以上ノ人ノモノ	收容定員三十人以上ノ人ノモノ	收容定員五十人以上ノ人ノモノ	收容定員百人以上ノモノ	計	收容定員十人以上ノモノ	收容定員十人以上ノ人ノモノ	收容定員三十人以上ノ人ノモノ	收容定員五十人以上ノ人ノモノ	收容定員百人以上ノモノ	計
一般																		
内科																		
外科																		
小兒科																		
眼科																		
産婦人科																		

皮膚花柳病泌尿生殖器病科														
耳鼻咽喉科														
歯科														
其他														
合計														

説明

一、診療科名中「一般」ノ欄ニハ二種以上ノ診療科ヲ有スル病院ヲ掲クヘシ

第六七號様式

施療病院　何年　市町村

經營者別	名稱	所在地	患者収容定員	患者數					入院患者延數
				前年ヨリ越	本年入院	退院	在院中死亡	年末現在	

説明

一、本表ハ名稱ノ如何ニ拘ハラス施療ヲ目的トスル施設（結核病院、癩療養所、精神病院ヲ除ク）ニシテ一年中入院患者ノ延數凡ソ三分ノ二以上ニ對シテ施療ヲ行フト認メラルヘキモノヲ掲クヘシ假令施療ヲ目的トスル施設ナルモ施療患者數上記割合以下ナルモノハ之ヲ公私立病院表中ニ記載スヘシ

二、本表ハ年末ニ現在スル病院ニシテ患者収容定員十人以上ノモノヲ掲クヘシ

三、經營者別ノ欄ニハ市、町、村、私立等ノ別ヲ掲クヘシ

四、外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スヘシ

訂〔静岡令二一二號〕

訂〔静岡令二一二號〕

五、有料患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲クヘシ

六、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ

七、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

第六八號様式

結核病院（結核療養所ヲ含ム）　何年　市町村

經營者別	名稱	所在地	患者収容定員	患者數					入院患者延數
				前年ヨリ越	本年入院	退院	在院中死亡	年末現在	

説明

一、本表ハ年末ニ現在スル病院ニシテ患者収容定員十人以上ノモノヲ掲クヘシ

二、經營者別ノ欄ニハ市、町、村、私立等ノ別ヲ掲クヘシ

三、外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スヘシ

四、自費患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲クヘシ

五、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ

六、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

第六九號様式

精神病院　何年　市町村

經營者別	名稱	所在地	患者収容定員	患者數					入院患者延數
				前年ヨリ越	本年入院	退院	在院中死亡	年末現在	

説　明

一、本表ハ年末ニ現在スル精神病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲クヘシ
二、經營者別ノ欄ニハ市、町、村、私立等ノ別ヲ掲クヘシ
三、外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スヘシ
四、自費患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲クヘシ
五、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附スヘシ
六、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

第七〇號樣式

代用花柳病診療所

其一　診療所數（年末現在）		何年　市町村
其二　診療患者數		
黴毒淋毒軟性下疳	計	延人員
入院患者		
外來患者		

説　明

一、本表患者ハ代用花柳病診療所トシテ取扱ヒタル者ニ付調査スヘシ
二、一人ニシテ同時ニ二以上ノ疾病ヲ有スルモノハ之ヲ各項ニ記載シ最上位ノ項ヲ除キ其ノ他ノ項ニ「※」印ヲ附スヘシ但シ此場合「※」印ヲ附シタル數ハ合計中ニ算入スヘカラス

訂（靜岡令二一二號）

第七一號樣式

傳染病豫防法ニ依ル傳染病院隔離病舍、隔離所及消毒所　何年　市町村

其一　傳染病院								
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準スヘキモノノ設立ニ係ルモノ	計						
病院數	患者收容定員	病院數	患者收容定員	病院數	患者收容定員	病院數	患者收容定員	

其二　隔離病舍								
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準スヘキモノノ設立ニ係ルモノ	町村組合若ハ之ニ準スヘキモノノ設立ニ係ルモノ	計					
病舍數	患者收容定員	病舍數	患者收容定員	病舍數	患者收容定員	病舍數	患者收容定員	

其三　隔離所								
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準スヘキモノノ設立ニ係ルモノ	町村組合若ハ之ニ準スヘキモノノ設立ニ係ルモノ	計					
隔離所數	收容シ得ル人員	隔離所數	收容シ得ル人員	隔離所數	收容シ得ル人員	隔離所數	收容シ得ル人員	

其四　消毒所數	

訂（靜岡令二一二號）

一、本表ニ記載スヘキ事項ハ凡テ年末ノ調査トス

第七二號樣式

癩療養所（癩病院ヲ含ム）

經營者別	名稱	所在地	患者收容定員	患者數 前年ヨリ越	患者數 本年入院	患者數 退院	患者數 在院中死亡	患者數 年末現在	何年 市町村 入院患者延數

說明

一、本表ハ年末ニ現在スル療養所ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ揭クヘシ

二、經營者別欄ニハ市、町、村、私立等ノ別ヲ揭クヘシ

三、外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スヘシ

四、患者中費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔スルモノハ其ノ員數ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ揭クヘシ

五、本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ

六、入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

第七三號樣式

娼妓健康診斷

其一　遊廓數其他	何年 縣立病院
遊廓數	
健康診斷所數	
娼妓病院又ハ治療所數	
娼妓一日平均數	
健康診斷延人員	
同上中有病ト認メタル者	

說明

訂（靜岡令二一二號）

一、遊廓數、健康診斷所數、娼妓病院又ハ治療所數ハ年末現在ヲ揭クヘシ

二、遊廓ハ必スシモ一廓ヲ爲ササルモ娼妓稼業許可地ハ遊廓トシテ計算スヘシ

三、遊廓ハ現ニ娼妓稼業ノ事實アルモノヲ揭クヘシ

四、娼妓一日平均數ハ一ケ年間毎月末現在數ヲ以テ平均スヘシ

五、健康診斷延人員欄ニハ一ケ年間診斷シタル總人員ノ延數ヲ揭クヘシ

六、有病ト認メタル者ノ欄ニハ疾病ニ罹リ稼業ニ堪ヘサル者又ハ傳染性疾患アリト診斷シタル者ヲ揭クヘシ但シ一回ノ診斷ヲ一ト算スルコト

其二　有病ト認メタル者ノ病症別	何年 縣立病院
徵毒	
淋病	
軟下疳	
剝脫病	
傳染性皮膚病	
結核性疾患	
癩病	
トラホーム	
其ノ他	
計	

說明

一、一人ニシテ同時ニ二以上ノ疾病ヲ有スルモノハ之ヲ各項ニ記載シ最上位ノ項ヲ除キ其ノ他ノ項ニ「※」印ヲ附スヘシ此場合「※」印ヲ附シタル數ハ合計中ニ算入スヘカラス

訂（靜岡令二一九號）

第七四號樣式

娼妓病院

病院（年末現在）	患者收容定員	何年 縣立病院
		入院患者數 前年ヨリ越
		入院患者數 本年入院
		同上延人員

說明

一、傳染病患者收容定員ハ之ヲ他ト區別シ「△」印ヲ附シテ揭クヘシ

二、行政執行法第三條入院患者アルトキハ之ヲ他ト區別シ其ノ員數ニ「※」印ヲ附シテ掲クヘシ

第七五號樣式

病院ニ非ザル診療所

何　年十二月三十一日現在　警察署

	醫師ノ開設スルモノ		公共團體ノ開設スルモノ		醫師ニ非ザル者ノ開設スルモノ		合計		
	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	計
市部									
町部									
村部									
合計									

第七六號樣式

病院ニ非ザル歯科診療所

何　年十二月三十一日現在　警察署

	醫師ノ開設スルモノ		公共團體ノ開設スルモノ		醫師ニ非ザル者ノ開設スルモノ		合計		
	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	患者收容施設ヲ有スルモノ	患者收容施設ヲ有セザルモノ	計
市部									
町部									
村部									
計									

訂〔靜岡令二二九號〕

資源科

第一號樣式

自動車運轉手

何　年十二月三十一日現在　警察署

三十五歳以上								三十五歳未滿								合計
男						女	計	男						女	計	
兵役關係			兵役無關係者	計				兵役關係			兵役無關係者	計				
陸軍	海軍	計						陸軍	海軍	計						
備考																

說明

一、本表ハ現ニ免許證ヲ有スルモノニ付調査スヘシ

二、兵役關係者ノ欄ニハ國民兵役ニ在ルモノヲ計上スヘカラズ

第二號樣式

警察官吏兵役關係調

何　年十二月三十一日現在　警察署

			警視	警部	警部補	巡査		計
						巡査部長	巡査	
陸軍	既教	飛行兵及氣球兵						
		鐵道兵						
		電信兵						
		戰車兵						

訂〔靜岡令二二九號〕

關係者								備考
自動車手	工長	其ノ他	計	未教育補充兵	計	合計		

海軍關係者
兵役無關係者

說明

一、歸休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記載スヘシ
二、自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記載スヘシ
三、工長ノ欄ニハ各種工長ヲ記載スヘシ
四、其ノ他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ揭記スヘシ
五、海軍關係者欄ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ揭クヘシ
六、兵役無關係者欄ニハ陸軍及海軍ニ關係ナキモノヲ揭クヘシ
七、請願巡査ハ「×」印ヲ附シテ別揭スヘシ

何　年十二月三十一日現在　警察署

訂（靜岡令二二九號）

第三號樣式

病院

官公私立ノ區別	名稱	所在地	診療科名	患者收容定員	專屬醫師數	備考
					「レントゲン」設備ノ數	

說明

一、本表ハ名稱ノ如何ニ不拘患者收容定員十人以上ノ病院（醫院）ニ付調査記載スヘシ但シ軍用及縣立ノモノハ調査ヲ要セス
二、二種以上ノ診療科アルモノハ其ノ各科名ヲ列記スヘシ

訂（靜岡令二二九號）

第四號樣式

自動車

車輛番號　靜第　號

何　年八月末日現在　靜岡縣

所有者住所氏名又ハ名稱	縣　市 郡　町 村　番地
運轉路線又ハ區間	
車輛置場	靜岡縣　市 郡　町 村　番地
最初ノ使用年月	年　月
種類	自動車
型式	年型　氣筒
積載量	人 瓩
馬力數	馬力
構造裝置	輪車
備考	

說明

一、本票ハ現ニ使用スルモノ(帝室用、軍用及縣廳用ヲ除ク)ニ付調査記載シ二通提出スヘシ

二、所有者判然セサル場合ハ使用者ヲ所有者ト看做シ記載スヘシ

三、運轉路線又ハ區間ハ一定ノ路線又ハ區間ニ依ル運轉營業ノ爲ニ使用スル自動車ハ更ニ牽引自動車、液體運搬自動車、撒水自動車、患者運搬自動車、消防自動車等ニ區別スヘシ乘合自動車中、貨物自動車ニ在リテハ積載量、牽引自動車ニ在リテハ牽引シ得ル積載量、液體運搬自動車ニ在リテハ積載量ヲ要セス

四、最初ノ使用年月不詳ノ場合ハ最初車體檢査年月ヲ記載スヘシ

五、種類ハ乘用自動車、貨物自動車及特殊用途自動車ニ區別シ、特殊用途自動車ハ更ニ牽引自動車、液體運搬自動車、撒水自動車、患者運搬自動車、消防自動車等ニ區別スヘシ乘合自動車中、貨物自動車ニ在リテハ乘車定員、貨物自動車ニ在リテハ積載量ヲ記載スヘシ

六、型式ハ「フォード」二七年型四氣筒又ハ「ハドソン」二九年型超六氣筒等ノ如ク記載スヘシ

七、積載量ハ乘用自動車ニ在リテハ其ノ用途ニ應スル積載量ヲ記載スヘシ

訂(靜岡令一八三號)

八、馬力數ハ氣筒直徑ノ平方吋ニ氣筒數ヲ乘シタルモノヲ二、五ヲ以テ除シタル商ヲ揭クヘシ

九、構造裝置ハ乘用自動車ニ在リテハ四輪車箱型、幌型、貨物自動車ニ在リテハ、六輪車箱付自動荷卸裝置付、牽引自動車ニ在リテハ裝軌式、裝輪式、裝輪裝軌併用式、半裝軌式ノ如ク記載スヘシ

第五號樣式

自動自轉車	
車輛番號	靜第　號
所有者住所氏名又ハ名稱	縣　市 郡　町 村　番地
型式	年型　氣筒
氣筒內容積	立方糎
構造裝置	
備考	

何　年八月末日現在　靜岡縣

說明

一、本票ハ現ニ使用スルモノ(帝室用、軍用及縣廳用ヲ除ク)ニ付調査記載シ二通提出スヘシ

二、サイドカー、フロントカー及リーヤカーノ類ハ自動車取締令適用ノ如何ニ不拘該カー附トシテ調査スヘシ

三、型式ハ「インデイアン」二十七年型二氣筒ノ如ク記載スヘシ

雜

四、氣筩ノ内容積ハ立方糎ヲ以テ表示スヘシ
五、構造裝置ハ單車、乘用、荷物側車附及荷物後車附等ノ如ク記載スヘシ

第一號樣式

電燈事業　其ノ一

昭和　年（昭和　年度）　市郡　町（村）

會社名	
本社ノ所在地又ハ主タル事務所所在地	市郡　町村
資本金	圓
拂込資本金	
積立金（自創業至何年又ハ何年度末）	
興業費（同上）	
收	
前年（又ハ前年度）ヨリ繰越	
街燈點火料	
各戸點火料	
電力料	
何々	
支出	
發電所消耗品費	圓
諸給料	
旅費	
諸稅	
何々	
何々	
合計	
差引益（損）金	
配當金	
積立金	
役員賞與金	
後期繰越金	

訂〔静岡令一八三號〕

入	
合計	
金	
何々	
合計	
備考	

説明

一、本表ハ本縣内ニ本社（又ハ主タル事務所）ヲ有シ且ツ本縣内ニ配電區域ヲ有スルモノヽミニ付調査スヘシ
二、本表ハ各事業別經營者別ニ調製スヘシ
三、資本金、拂込資本金、積立金ノ三項ハ最近ノ決算期ニ於ケル現在額ヲ掲クヘシ
四、上欄ノ積立金ハ創業ヨリノ積算額ニ最近ノ決算期ニ於ケル積立金ヲ合算シタルモノヲ掲クヘシ
五、積立金ハ法定積立金其ノ他一切ノ積立金ヲ記載スヘシ
六、收入、支出、差引益（損）金ハ最近ノ決算期ヨリ前一年間ノ決算額ヲ通算シタルモノヲ記入スヘシ
七、興業費ハ創業以來ノ總額ヲ掲クヘシ、但シ同費中ニ消却セシ金額アラハ備考ニ其ノ金額ヲ明記スヘシ

訂〔静岡令一四五號〕

第二號樣式

電燈事業（其ノ二）

昭和　年事業年度末現在（　月　日末）　市郡　町（村）

會社名	
本社ノ所在地又ハ主タル事務所所在地	市郡　町村
市（郡）	
線路長	哩
線條長	哩
各戸所用	
戸數	
燈數	
點火料	圓

合計				
備考				

説明

一、本表ハ本縣内ニ本社(又ハ主タル事務所)ヲ有シ且ツ本縣内ニ配電區域ヲ有スルモノゝミニ付調査スヘシ
二、本表ハ各事業別經營者別ニ調製スヘシ
三、本表ハ最近ノ事業年度末現在ニ依リ調査スヘシ但シ點火料ハ最近一ケ年又ハ一ケ年度間ノ全額ヲ記載スヘシ

第三號様式

瓦斯事業 其ノ一　　昭和　年(昭和　年度)　市郡　町(村)

會社名		本社ノ所在地又ハ主タル事務所所在地	市郡　町(村)
資本金	圓		
拂込資本金			
積立金(自創業至何年又ハ何年度末)			
興業費			

收入		支出		差引益金(損金)	
前年(又ハ前年度)ヨリ繰越		瓦斯製造費		配當金	
瓦斯賣上代		給料		積立金	
副産物賣上代		諸税		役員賞與金	
燈具貸付料		利息		後期繰越金	
諸益		營繕費		何々	
		借地借家料		合計	
		諸損			
		何々			
合計		合計			

備考	

訂(静岡令一四五號)

訂(静岡令一四五號)

説明

一、本表ハ本社(又ハ主タル事務所)ノ所在スル市町村ニ於テ調査スヘシ
二、本表ハ各事業別經營者別ニ調製スヘシ
三、資本金、拂込資本金、積立金ノ三項ハ最近ノ決算期ニ於ケル現在額ヲ掲クヘシ
四、上欄ノ積立金ハ創業ヨリノ積算額ニ最近ノ決算期ニ於ケル積立金ヲ合算シタルモノヲ掲クヘシ

五、積立金ハ法定積立其ノ他一切ノ積立金ヲ記載スヘシ
六、收入、支出、差引益（損）金ハ最近ノ決算期ヨリ前一年間ノ決算額ヲ通算シタルモノヲ記入スヘシ
七、興業費ハ機械土地家屋等ニ要セシ費額ヲ總稱スルモノナリ

第四號様式

瓦斯事業　其ノ二

昭和　年事業年度末現在（　月　日末）　市 郡　町（村）

會社名	本社ノ所在地又ハ主タル事務所所在地 市（郡）	瓦斯管延長	燈火引用 戸數	燈火引用 燈數	燃料引用 戸數	燃料引用 燈數	機關引用 戸數	機關引用 基數	機關引用 馬力
合計									
消費石炭量（一箇年又ハ一箇年度内）									
備考									

說明

一、本表ハ本社（又ハ主タル事務所）ノ所在スル市町村ニ於テ調査スヘシ

訓（静岡令一四五號）

二、本表ハ各事業別經營者別ニ調製スヘシ
三、本表ハ最近ノ事業年度末現在ニ依リ調査スヘシ

訓（静岡令一四五號）

第五號様式

勞働賃金　市

職業別		給料以外ノ給與	三月 最高	三月 最低	三月 普通	六月 最高	六月 最低	六月 普通	九月 最高	九月 最低	九月 普通	十二月 最高	十二月 最低	十二月 普通
			錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
染織工業	製絲女工													
	綿絲紡績女工（精紡）													
	絹撚絲女工													
	機織女工 綿力織機													
	機織女工 絹手織機													
	莫大小編工 男													
	莫大小編工 女													
機械器具工業	旋盤工													
	仕上工													
	木型工													
	鑄造工													
	鍛冶工													

化學工業													飲食物工			
陶器轆轤工	硝子製造工	セメント製造工	煉瓦製造(型)工	瓦製造(型)工	和紙製造工	洋紙製造工	漆器塗師工	製革工	燐寸製造工		搾油工	製薬(工業薬)工	釀造工		精製糖工	製粉(小麥)工
									男	女			清酒	醬油		

訂(靜岡令一四五號)

業		雜工業				其ノ										
菓子製造工	罐詰工	製材(機械挽)工	製綱工	製本工	活版植字工	大工	左官	石工	ペンキ塗工	瓦葺工	煉瓦積工	疊工	指物工	下駄工	靴工	洋服仕立工

訂(靜岡令一四五號)

他	
日傭人夫 男	
日傭人夫 女	
仲仕	
漁夫	
下男（月給）	
下女（月給）	

説明

一、本表ハ静岡市、濱松市、沼津市ニ於テ調査報告スヘシ
二、本調査ハ種類毎ニ賃金ヲ最高、最低、普通ノ區別ニ依リ調査スルコト（普通賃金トハ普通一人前ノモノ、賃金ニシテ最高最低ノ平均ニアラス）
三、各工程ヲ經テ完成スルモノニアリテハ工程中ノ主タルモノニ就キ調査スルコト
四、稼高拂ノモノハ日給ニ換算シテ掲記スルコト
五、給料以外食費手當其ノ他物質上ノ給與ヲナスモノアルトキハ之ヲ金錢ニ換算シテ日給ニ合算スルコト但シ其ノ内容ヲ給料以外ノ給與欄ニ掲記スルコト
六、清酒ノ如キ季節ニ限リ作業スルモノハ其ノ季節間ノ給料ヲ平均シテ記入スルモノトス

第六號様式

卸賣物價　市

	名稱	單位	建物名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
穀菽及蔬菜類	米 玄上	一石														
	米 中	同														
	米 下	同														
	白米	同														
	大麥	同														
	裸麥	同														
	小麥	同														
	大豆	同														
	小豆	同														
	菜豆	同														
	豌豆	同														
	小麥粉	一袋														
	澱粉	百斤														
	甘藷	十貫														
	馬鈴薯	同														
飲料	清酒	一石														
	醤油	一樽九升入														
	味噌	一貫														

及調味料	食鹽	百斤
	鰹節(本節)	十貫
	白砂糖	百斤
	黒砂糖	同
	茶(煎茶)	百斤
肉類及魚類	牛肉	十貫
	豚肉	同
	生鶏	一貫
	鶏卵	十貫
	牛乳	一升
	生鯛	十貫
	生鮪	同
	生鰤	同
	生鯖	同
	鹽鮭	同
	繰綿	百斤
	紡績綿絲(二十手)	同

衣料品	生絲(上一番)	同
	大麻	同
	太織銘仙	一疋
	縞木綿	一反
	羽二重	同
	晒木綿	同
	白モスリン(卅番)	廿四碼一釜
	羅紗(軍艦)	一碼
建築材	石灰	一斗
	セメント	一樽
	煉瓦	千箇
	瓦	一坪
	亞鉛鐵板	百斤
	錻力板	一箱
	丸釘	一樽百斤
	角材　杉	四寸角二間物
	角材　扁柏	同

類			
材料	板	松（六分）	一尺幅一坪
		杉（四分）	同
	丸太	松	杭用一本
		杉	四間物一本
	苦竹		一束
肥料及飼料	過燐酸石灰		十貫
	硫酸安母尼亞		同
	智利硝石		同
	干鰯		十貫
	練粕		同
	菜種油粕		同
	大豆油粕		同
	鹹		百斤
雜	石油（燈油）		一箱二罐入
	石炭（塊炭）		一俵噸
	薪		十貫
	木炭		同

類			
菜種油			一石
大豆油			百斤
西洋紙			六十斤物百封度
半紙（改良）			一帖二十枚モノ百帖
模造紙	寸		一哥
畳表（琉球）			十枚
牛革			百斤

說明

一、本表ハ靜岡市、濱松市、沼津市ニ於テ調査報告スヘシ

二、本調査物品ノ建物ハ特ニ明記シタルモノ、外取引最モ多數ト認メラルヽモノ一種ヲ選ミ調査スルモノトス但シ建物ハ可成變更セサル樣注意スルコト

三、百斤ハ總テ十六貫トス但シ習慣上一斤百六十匁以外ノ量目ヲ以テ賣買スルモノハ必ス其ノ一斤ノ目方ヲ記入スルコト

四、建物ノ欄ニハ產地又ハ銘柄等品質ヲ示スニ足ル名稱ヲ記入スルモノトス

五、玄米、生絲ノ外ハ總テ中等品ノ價格ヲ記入スルモノトス

六、價格ハ總テ卸賣相場トス

七、一箇月中ニ物額ニ高低アルトキハ普通相場ヲ記入スルモノトス

第七號樣式

重要物產輸出額

昭和　年　市郡　町（村）

		生産			輸出			仕向先
		數量	價額		數量	價額		
漆器		一	圓		一	圓		
絹織物及絹綿交織物		一			一			
毛織物及毛交織物		一			一			
綿織物	計							
	其ノ他							
	小幅白木綿							
	小幅著尺物							
	小倉織	反			反			
	綾木綿							
	大幅縮							
	ポプリン							
	繻子織							
	大幅縞綿布							
	金巾							
	天竺	碼			碼			

（訂（靜岡令一四五號）

		生産			輸出			仕向先
		數量	價額		數量	價額		
樂器	オルガン	臺			臺			
	ピアノ							
	ハーモニカ	箇			箇			
ベヤ板		尺坪			尺坪			
西洋家具		一			一			
莚布		一			一			
紡績糸	綿糸	斤			斤			
	絹糸							
	麻類							
屑糸類	生糸	斤			斤			
	屑糸							
和紙	島ノ子	斤			斤			
	其ノ他	一			一			
西洋紙		封度			封度			
紙製品	紙テープ	一			一			
	其ノ他	一			一			
玩具	木製	一			一			

（訂（靜岡令一四五號）

具（セルロイド製）	｜		｜	
艶絲	束		束	
艶紐	｜		｜	
蜜柑	貫		貫	
乾蕈	斤		斤	
絲瓜	｜		｜	
蕃椒	斤		斤	
落花生				
櫻海老	貫		貫	
醤油	石		石	
大豆油	斤		斤	
再製茶	封度		封度	
備考				

説明

一、綿織物其ノ他織物類ハ其ノ年輸出向トシテ製出シタルモノヲ輸出ノ欄ニ掲記スヘシ

二、本表種目中農林省統計樣式、商工省統計樣式、本縣報告規程樣式ニ依リ其ノ産額ヲ調査スルモノハ其ノ數量及價額ヲ生産額欄ニ再掲スヘシ

訂（静岡令一四五號）

●縣報告規程改正ニ關スル件

統第三六六號知事官房統計課長通牒（昭和六年八月四日）

市町村長宛

本月四日訓令甲第六號ヲ以テ縣報告規程一部改正相成候ニ付テハ左記事項御留意取扱上遺漏ナキヲ期セラレ度

記

一、從來一事件又ハ一表毎ニ一紙ヲ用フルコトノ定メナリシモ改正ニ依リ該當事實ナキモノニ付テハ列記スルモ差支ナキコト、ナリタリ但シ列記報告ノ場合ハ必ス各科毎ニ一紙ヲ用ヒ且ツ報告期限同一ノモノ、ミニ限ラレタシ

二、從來規程第七條ニ依リ用紙ハ美濃判ノ紙ヲ用フルコトニ定メラレシモ同條ハ削除セラレタルニ依リ爾今樣式ニ適當ノ用紙使用自由ナルモ可成强靱ノモノヲ使用セラレタシ

三、樣式中庶務、地方、社會、土木、警察統計中内務報告例ノ改正ニ件ヒ改正セラレタルニ依リ調査報告ニ當リ留意アリタシ

四、農事科中在米見込高調ハ從來農務課主管ノ處統計課ヘ移管ト共ニ報告規程中ニ加ヘ又古麥殘存見込高調ハ郡市農會ノ調査ニヨリシモ今回市町村長ヨリ調査報告ノ事ニ改メ報告規程中ニ加ヘタリ

五、其ノ他ニ在リテモ若干改正セラレタルニ依リ取扱上留意セラレタシ

●一時借入金ニ關スル件

地第一三三三號内務部長通牒（昭和七年六月九日）

市町村長宛

標記借入金ニ關シ年度始メニ於テ豫メ所要額ヲ豫想シ之カ借入ノ議決ヲ爲ス向往々有之候處爾今其ノ必要ノ都度議決相成樣致度尚大正十五年訓令甲第七十六號縣報告規程ニ依ル一時借入金借入及償還報告ノ場合ハ借入ノ必要ナル事由詳細附記シ其ノ都度遲滯ナク御報告相成度

追而歳計現金ヲ多額ニ保管シアルニ不拘一時借入金ヲ爲シアルカ如キハ適當ナラサルニ付爲念

訂（静岡令二三七號）

昭和九年三月十七日
地第六四二號内務部長通牒

市町村長　市町村組合町村組合管理者
水利組合管理者宛

一時借入金ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ昭和七年六月九日地第一三三三號ヲ以テ及通牒置候次第モ有之候ヘ共最近ノ市町村會組合會ノ顚末報告ニ徴スルニ今尙年度開始前豫メ所要額ヲ豫想シ議決スル向往々有之候ヘ共右ハ適當ナラサルニ付其ノ必要ノ都度議決相成度尙左記事項御留意相成度

記

一、一時借入金ノ借入及償還ハ縣報告規程ニ依リ其ノ都度必ス報告ノコト

二、議決形式ハ静岡縣自治例規集第五章第一款第三節市町村債參照ノコト

●在米見積高調査ニ關スル件

統第一一五號知事官房統計課長通牒（昭和七年二月十三日）

標記ニ關シテハ客年九月十五日附縣訓令甲第七十六號ヲ以テ報告規程改正候處今般更ニ米穀需要供給狀況調査上三月一日現在ニ於ケル在米高調査必要有之趣ヲ以テ農林省農務局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付テハ報告規程農事科第一〇號樣式在米見積高調査ニ準據シ自今毎年三月五日限報告相成度

追而本年報告ノ分ニ限リ前年同期分記入ノ必要無之候ニ付申添候

（參照）報告樣式

昭和　年　月一日現在在米見積高調査

市町村長宛

種類別	昭和年分	前年同期分	比較增減
	石	石	石
内地米　生産者持			
内地米　米商人持			
計			
朝鮮米			
臺灣米			
外國米（保稅倉庫ノ在庫米ヲ除ク）			
合計			

說明

一、本調査ハ其目的米ノ需要供給ノ大勢ヲ知ルニ止マルモノニシテ正確ナル調査ヲ遂クルコトハ困難ナルヲ以テ敢テ精細ナル計數ヲ必要トセス

二、政府所有米（米穀需給調節特別會計法ニ屬スル米穀）ハ之ヲ算入セサルコト

三、籾及白米ハ玄米ノ容量ニ換算シ碎米ハ在庫ノ儘合算計上スルコト

但シ内地碎米ハ之ヲ算入セサルコト

●農作物等ノ被害報告ニ關スル件

農第三六六五號内務部長通牒（昭和四年十二月十二日）

市町村長宛

縣報告規程中農事科樣式第一號第二號竝山林科樣式第一號ノ被害報告記載方ニ關シテハ爾後左記ノ如ク御取扱相成度

追テ向後右ニ關スル被害相生シ候場合ハ遲滯ナク御報告有之度申添候

記

災害種類ハ

風害（暴風雨、吹雪、潮風ヲ含ム）

雨害（濕潤ノ害、霖雨其ノ他雨其ノモノニヨル害及濕潤ノ害）

水害（雨、暴風雨及其ノ他ニ原因スル洪水又ハ浸水ノ害）

旱害

霜（凍）害

雹害

雪害

早冷ノ害

病蟲害

火災

潮害

何々

ト區分記載シ區分シ難キ二以上ノ災害ニ付テハ其ノ主ナル災害ヲ災害種類欄ニ記載シ備考欄ニ災害ノ種類狀況ヲ記載スルコト

二、農作物種類ハ樣式第一號說明第六ニ依リ各別ニ記載セザル場合ハ食用、園藝、工藝農產物、果樹等包括名稱ニ一括スルモ差支ナシトスルモ水稻、陸稻、大麥、小麥、裸麥、桑、茶ハ必ズ區別シ又園藝農產物ハ少クトモ蔬菜及花卉果實ノ二種ニ區別シテ記載スルコト

昭和十年七月二十日
統第四三九號總務部長通牒

市町村長宛

災害報告ニ關スル件

農作物等ノ重大ナル被害ノ報告ニ關シテハ本縣報告規程中ニ定メタル樣式ニ依リ事件發生ノ都度卽日之ヲ報告可相成處之カ實行ニ關シテハ從來往々遺憾ノ向モ有之隨テ主務省ヘ報告上支障ヲ生ズル次第ト相成候條御今右報告ハ左記要項ニ依リ御取扱相成度

記

一、報告樣式

農事科第一號樣式　農作物被害

農事科第二號樣式　農用地被害

水產科第一號樣式　漁船ノ遭難

第一編　例規　第四章　統計、報告

山林科第一號樣式　林野被害

訂（靜岡令二三七號）

一、災害報告要項

（一）農用地、農作物、林野、漁船、家畜、農林水產用工作物等農林水產關係ニ付重大ナル被害アリタルトキハ次ノ順序ニ依リ之ヲ速報スルコト

一、災害發生ト同時ニ不取敢其ノ旨直チニ電報スルコト

二、右電報後被害狀況判明ノ都度遲滯ナク之ヲ電報スルコト

三、其ノ後ニ於テ被害見積數量、損害見積總價額ノ概數判明次第之ヲ取纏メ速報スルコト

（二）右報告ハ總務部統計課長宛トスルコト

訂（靜岡令二三七號）

●農作物ノ被害調査ニ關スル件

農第一二〇號内務部長通牒（昭和六年一月二十日）

沿革　昭和一〇年九月農第二一七九號改正

市町村長宛

農作物ノ被害調査ニ關スル件

農業保險等ノ基礎資料トシテ必要有之候趣ヲ以テ標記ノ件ニ關シ農林大臣官房統計課長ヨリ通牒有之候條左記各項參照ノ上調査報告上萬遺漏ナキヲ期セラレ度

追テ大正十五年十一月二十四日縣訓令甲第七十六號（報告規程）ニ依ル被害報告ハ從來通リ提出ヲ要スルモノニ有之本調査ハ右被害報告ヨリ調査ノ範圍稍廣キモノニ有之候條御了知相成度申添候

記

一、昭和六年一月一日以降ノ農作物ニ關スル被害ヲ第一號樣式ニ依リ調査記入ノコト（別ニ報告ヲ要セス）

〔二、第一號樣式ニ依リテ得タル資料ニ付毎年十二月末日迄ノ一ケ年分ヲ第二號樣式ニ依リ整理集計シ翌年一月末日迄ニ知事ニ報告スルコト〕

附

樣式第一號〔、第二號〕ノ用紙ハ本省ヨリ送付アリ次第交付ノ豫定

參照

農第二一七九號

昭和十年九月十九日

靜岡縣經濟部長

市町村長殿

農作物被害調査ニ關スル件通牒

標記ノ件ニ關シテハ昭和六年一月二十日付農第一二〇號通牒ニ基キ毎年調査報告相煩居候處本年分ヨリハ樣式第二號表ヲ廢止ノコトト相成候ニ就テハ爾今時々ノ災害ヲ第一號表ニ記入シ置キ翌年一月末日迄ニ送付相成度

訂〔靜岡令二三八號〕

樣式第一號

農作物被害調査票

昭和　　年

市町村名	道府縣	郡市	町村

災害種類	被害年月日	被害農作物ノ種類	被害程度	被害面積（町段）	損害見積高 數量（石）	損害見積高 價額（圓）	被害場所	備考
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					

注意

一……（別紙ノ通）

訂〔靜岡令一七五號〕

			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					
			七割以上收穫皆無					
			五割以上七割未滿減收					
			三割以上五割未滿減收					
			一割以上三割未滿減收					

（第五十一令國第）訂

（第五十一令國第）訂

様式第一號

（注意）

一　本調査ハ農作物ノ被害ノミニ付調査記載スヘシ

二　一箇所ノ被害面積一段歩以上ニ亙ルモノハ凡テ之ヲ調査シ其ノ都度本票ニ記載スヘシ但シ被害ノ程度カ當該面積農作物ノ減收見積數量又ハ價額ノ一割未滿ノ場合ニ於テハ調査ヲ要セス

三　本票ニハ每年一月一日ヨリ十二月末日迄ノ被害ヲ其ノ都度列記スヘシ

四　災害ノ種類ハ(一)風害(暴風雨、吹雪及潮風ノ害ヲ含ム)(二)水害(雨、暴風雨及其ノ他ニ原因スル洪水又ハ溢水ノ害ヲ含ム)(三)雨害及濕潤ノ害(霖雨其ノ他雨其ノモノニ因ル害及濕潤ノ害)(四)旱害(旱害ニ依ル鹽害ヲ含ム)(五)凍霜害(六)雹害(七)病害(八)蟲害(九)潮害(十)其ノ他ニ區別シ區分シ難キ二以上ノ災害ハ其ノ主タル災害ニ依リ記載スヘシ

五　被害年月日欄ニハ災害アリタル時日ヲ其ノ都度記載シ病蟲旱害等被害發生終了ノ時日明カナラサルモノハ其ノ見込年月日ヲ記載スヘシ

六　被害農作物ノ種類欄ニハ災害ヲ受ケタル農作物名ヲ種類每ニ記載スヘシ但シ同一災害ニ因リ多種ノ農作物災害ヲ受ケタル場合ニ於テハ下記ノ限度ニ於テ便宜一括スルヲ妨ケス

水稻、陸稻、大麥、小麥、裸麥、燕麥、茶、桑(春蠶期、夏秋蠶期別)、食用農作物果實、蔬菜及花卉、工藝農作物、綠肥用農作物、水稻苗、果樹苗、桑苗、其ノ他

七　被害ノ程度ハ當該被害面積中減收程度ノ異ナルニ從ヒ(イ)七割以上收穫皆無(ロ)五割以上七割未滿減收見込(ハ)三割以上五割未滿減收見込(ニ)一割以上三割未滿減收見込ニ區別記載スヘシ但シ同一種類ノ農作物ニ對スル一災害ノ被害ノ程度異ナル部分アルモ其ノ差著シカラサル場合ニ於テハ當該被害地域全體ノ被害割合ニ依リ其ノ程度ヲ單記スルヲ妨ケス

被害面積（以下各項ハ凡テ及損害見積高ハ）以上ノ被害程度別ニ記載スヘシ

八　被害面積欄ニハ各農作物ノ種類別及被害程度別ニ被害面積ヲ見積リ記載スヘシ

九　損害見積數量欄ニハ水稻、陸稻、小麥、大麥、裸麥、桑（春蠶期、夏秋蠶期）ノ六種ニ限リ當該農作物ノ其ノ年ニ於ケル作柄ヲ基準トシ當該災害ニ因リ直接生シタル減收數量ヲ見積リ石又ハ貫ヲ以テ記載スヘシ

一〇　損害見積價額欄ニハ各種災害ニ依リ直接受ケタル農作物ノ損害ニ付其ノ年ニ於ケル作柄ニ依リ災害ノ發生シタル減收數量ヲ見積リ之ニ災害當時ニ於ケル當該農作物ノ時價（災害當時ノ時價ナキモノハ最近三ケ年ノ平均價格）ヲ乘シタルモノヨリ被害後收穫スルニ至ル迄被害ナカリセハ當然要スヘキ施肥勞力其ノ他ノ費用ヲ見積リ控除シタルモノヲ損害見積價額トシテ記載スヘシ

一一　水害又ハ旱害ニ因リ水稻移植前本田作付不能トナリタル場合及移植後災害ヲ蒙リタルモ再植又ハ直播ヲナシタル場合ニ於テハ收穫皆無等ニ算入セス單ニ其ノ面積ヲ備考欄ニ記載シ再植又ハ直播シタル水稻ノ被害ハ普通ノ場合ト同一ニ取扱フヘシ水害又ハ旱害等ニ依ル作付遲延ノ爲生シタル損害アルトキハ當初ノ原因タル水害又ハ旱害ノ被害トシテ記載スヘシ

一二　桑ニ在リテハ樹ノ損害ト桑葉ノ損害トハ其ノ旨ヲ備考欄ニ明示スヘシ同時ニ兩者併發シタルトキハ同一欄ニ被害程度及損害見積高ヲ外書ヲ以テ併記シ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載シ置クヘシ

一三　桑ノ減收見積數量ハ春蠶期ニ在リテハ新梢量、夏秋蠶期ニ在リテハ葉量ヲ記載スヘシ

一四　同一耕地ノ同一作物ニ對シテ同一災害カ二回以上發生セル場合ニ於テハ重複セサル樣最後ノ被害アリタルトキニ評價セル全體ノ被害ヲ合セ記載シ其ノ旨ヲ備考欄ニモ記載スヘシ

一五　被害ノ場所欄ニハ災害ヲ受ケタル地域ノ部落名又ハ適當ナル地域名ヲ記載スヘシ

一六　養蠶期ニ於ケル桑ノ被害ニ付テハ之ニ伴フ養蠶ノ收繭減少見込高及同損害見込額ヲ、若シ損害ナキトキハ其ノ旨ヲ備考欄ニ記載スヘシ

一七　備考欄ニハ各欄記載事項ニ付説明ヲ要スルモノ其ノ他必要ト認ムル事項ヲ記載スヘシ

一八　該當事項ナキ欄ニハ斜線ヲ引クヘシ

訂（静岡令一七五號）

●米穀需要供給狀況報告ニ關スル件

統第四四四號知事官房統計課長通牒（昭和六年十月二十七日）

市町村長宛

標記調査ニ關シテ客月十五日付縣訓令甲第十號ヲ以テ報告規程一部改正候處今般在米高調査ニ關スル道府縣主任官協議會決議ノ趣旨ニ基キ在米見積高調査ノ調査範圍及內地新米喰込見積高調査ノ調査方法ハ左記第一及第二記載ノ通決定本年十一月調査報告ノ分ヨリ之ヲ實施スルコト、相成候旨農林省農務局長ヨリ通牒越候

記

第一、在米見積高調査ノ範圍ニ關スル事項

一、內地米ノ調査範圍

保管場所ノ如何ニ拘ラス所有者ニ依リ左ノ如ク區別スルコト

但シ（甲）、（乙）双方ニ該當スル者ノ所有米ハ之ヲ（乙）ニ計上スルコト

（甲）、生產者持ニハ左ニ掲クル者ノ所有米ヲ計上スルコト

（一）　米作者

（二）　米作ニ從事セサル地主

（三）　米穀ヲ生產スル試驗場及學校

（四）　地方公共團體、公共組合、產業組合（購買組合ヲ除ク）及公益法人

（乙）、米商人持ニハ左ニ掲クル者ノ所有米ヲ計上スルコト

（一）　米穀問屋（兼業者ヲ含ム）

（二）　白米小賣商（兼業者ヲ含ム）

（三）　米穀仲買商（兼業者ヲ含ム）

二、朝鮮米、臺灣米及外國米ノ調査範圍

前掲乙項ニ準スルコト

三、注意事項

（一）　左ニ掲クルモノハ在米高ニ計上スルコト

（イ）　生產者及米商人ノ自家用米

（ロ）　生產者及米商人ノ所有米ニシテ運送中ノモノ

（ハ）　神社佛閣ノ獻米、齋米、祠堂米（米作ニ從事セサル地主ニ準シ生產者持トシテ取扱フコト）

（ニ）　釀造其ノ他米穀ヲ原料トスル製造業者ノ所持米中原料米ヲ控除シタル米穀（製造業者カ同時ニ米穀生產者ナル場合ニハ生產者トシ、米商人ナル場合ニハ米商人トシテ取扱フコト）

（二）　左ニ掲クルモノハ在米高ニ計上セサルコト

（イ）　政府所有米

（ロ）　釀造其ノ他米穀ヲ原料トスル製造業者ノ原料米

（ハ）　（甲）、（乙）何レニモ屬セサル一般消費者ノ持米

（ニ）　未收穫米

（ホ）　屑米

訂（静岡令二三八號）

第二、內地新米喰込見積高調査ノ調査方法ニ關スル事項

一、內地新米喰込見積高ハ左ノ方法ニ依リ算出スルコト

（イ）縣内産新米ニ付テハ其ノ收穫高ヨリ移出高及現在高ヲ控除シテ算出スルコト但シ縣内産新米ニシテ再移入セラレタルモノアルトキハ之ヲ加算スルコト

（ロ）縣外産新米ニ付テハ其ノ移入高ヨリ現在高ヲ控除シテ算出スルコト但シ縣外産新米ニシテ再移出セラレタルモノアルトキハ之ヲ控除スルコト

1.縣内産米…新米收穫量－縣内産米ノ移出數量－縣内産米ノ在米高＝縣内産米消費高

2.縣外産米…縣外産米ノ移入數量－縣外産米ノ在米高＝縣外産米消費高

二、新米ノ收穫高ハ縣内ニ於ケル早、中、晩稻ノ作付面積及成熟期並收穫狀況ヲ考慮シテ見積ルコト

三、新米ノ移出入高ハ驛、港灣及船著場ニ付調査シ尚主ナル米穀商及米穀取扱業者等ノ意嚮ヲモ參酌シテ推定スルコト

訓（靜岡令二三八號）

●米穀用途別消費高調査ニ關スル件

農第二七〇三號内務部長通牒（昭和八年九月九日）

市町村長宛

米穀需給關係ノ調査上必要有之候條貴管内ニ於ケル米穀ノ用途別消費高別表樣式ニ依リ毎年十二月末日迄ニ報告相成度

追而調査ニ關シテハ左記事項ニ付御留意相成度申添候

記

一、産地別ノ内地米、朝鮮米及臺灣米ハ各其ノ白米及籾ヲ相當玄米ニ換算シ又外國米ハ之ヲ一括ノ上白米トシテ計上スルコト

尚右産地米ノ碎米ハ之ヲ別ニ計上シ此ノ内ニハ包含セシメザルコト

二、碎米ハ内地米、朝鮮米、臺灣米及外國米ノ各碎米ヲ合算シタルモノヲ計上スルコト

三、麹又ハ米粉ノ原料米ト共ニ又ハ單獨ニテ材料ニ用ヒタル製品ニ付テハ之ヲ其ノ麹又ハ米粉ヲ原料タリシ米ノ數量ニ還元ノ上併用ノ場合ハ原料米ト共ニ單用ノ場合ハ其ノ儘之ヲ計上スルコト

四、菓子ノ中ニハ團子ヲ包含セシムルコト

五、麹及米粉製造業者ノ使用スル原料米ハ別ニ報告樣式ノ麹及製粉ノ項ニ計上スルコト

六、本調査ノ年度ハ米穀年度（自前年十一月一日至其年十月末日）ニ依ルコト

尚注意事項中「一」ハ左記ノ通解釋相成度

内地米、朝鮮米、臺灣米ハ總テ玄米ニ換算シタルモノヲ、外國米ハ籾

訓（靜岡令二三八號）

テ白米ニ換算シタルモノヲ、合計ハ以上玄米及白米ヲ合算シタルモノヲ計上スルコト

様式

米穀ノ用途別消費高調査

第一表　　總括表

用途別 ＼ 産地別	内地米	朝鮮米	臺灣米	外國米	以上合計	碎米
種子						
飯米						
餅						
菓子						
飴						
清酒						
濁酒						
白酒						
味淋						
焼酎						
麥酒						
其ノ他酒						

單位石

訂（靜岡令二〇九號）

碎米ハ玄米、白米ヲ合算シタルモノヲ計上スルコト

第二表　　内地米

用途別 ＼ 月別	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計
味噌													
醤油													
酢													
甘酒													
糊													
飼料													
其他													
計													
麹													
製粉													

單位石

訂（靜岡令二〇九號）

用途別 ＼ 月別	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	計
種子													
飯米													
餅													
菓子													
飴													

清酒	濁酒	白酒	味淋	焼酎	麥酒	其ノ他酒	味噌	醬油	酢	甘酒	糊	飼料	其他	計	麹	製粉

訂〔靜岡令二〇九號〕

第三表　朝鮮米（樣式ハ第二表同樣以下諸表亦同シ）
第四表　臺灣米
第五表　外國米
第六表　碎　米

●災害ニ關スル臨時報告取扱方ニ關スル件

統第五五一號知事官房統計課長通牒（昭和九年十一月十三日）

市町村長宛

本縣報告規程中事件發生ノ卽日臨時報告トシテ提出可相成モノノ內左記ニ關シテハ從來關係主務課ニ於テ掌理致居候處爾今當課ニ於テ取扱フコトト相成候條御了知ノ上書類提出ニ際シテハ內容ノ正確ト期限格守トニ特ニ留意相成度

記

一、農事科第一號樣式　　農作物被害
一、同　　第二號樣式　　農用地被害
一、水產科第一號樣式　　漁船ノ遭難
一、山林科第一號樣式　　林野被害

●公學費表竝兒童就學獎勵費支出狀況調表調査方ニ關スル件

統第三九五號知事官房統計課長通牒（昭和八年八月一日）

沿革　昭和九年一月八統第四八〇號改正

訂〔靜岡令二二八號〕

市町村長宛

八月末日限リ報告可相成標記學事統計表中學校給食臨時施設費支出ハ左記ニ依リ取扱ハレタシ尙小學校費臨時國庫補助金ト市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金トハ夫々適宜ノ符號ヲ附シ公學費表收入ノ部國庫補助欄ニ登載セラレ度

記

一、學校給食臨時施設費支出ハ公學費表ニ於テハ「生徒兒童給費」欄ニ（食）印ヲ附シテ揭ゲ他ノ生徒兒童給費ト區別スルコト
一、兒童就學獎勵費支出狀況調表（第二十九號樣式）ニ於テハ學校給食臨時施設費ハ一般ノ就學獎勵金ト合算シテ揭グルコト
一、前二項共特別會計ト一般會計トノ區分アル市町村ニテハ夫々符號ヲ附シ區別スルヲ要ス
一、公學費表生徒兒童給費金額ト兒童就學獎勵費支出狀況調表ノ市町村支出金額トハ多クノ場合一致スル筈ニツキ注意スルコト右金額ノ一致セザル場合ハ其ノ事由ヲ附記セラレタシ

●官報報告規程

官第八八號（明治二十三年五月二十六日）
各部課長　知事官房「書記」　官報報告主任
官報報告委員

官報報告規程別紙ノ通之ヲ定ム

官報報告規程

第一條　官報報告事務ハ左ノ職員ヲシテ取扱ハシム官報報告主任「書記官」一名屬二名

第二條　官報報告原稿ヲ「官報局」ニ送附シ及ヒ官報報告ニ關スル事件ニ付各所ヘ往復スルハ官報報告主任「書記官」專行スルコトヲ得

但重要ノ件ハ知事ノ決裁ヲ受クヘシ

第三條　官報報告主任ノ外「第一部」「第二部」「警察本部」「收稅部」各課ニ官報報告委員二名乃至三名ヲ置キ原稿材料取調ニ從事セシム

第四條　官報報告委員ハ屬警部警部補「收稅屬書記」ノ內ヨリ各課長ノ推薦ニ據リ各部長之ヲ命シ其官氏名ヲ官報報告主任ニ通知スヘシ爾後異動アルトキ亦同シ

第五條　官報報告委員ハ常ニ官報報告主任ト協議シ事務ノ利便ヲ計ルヘシ

第六條　各課長ハ主管ニ屬スル報告ノ脫漏又ハ遲延ナキ樣常ニ注意スヘシ

第七條　官報報告事項ハ別ニ定ムルトコロノ項目ニ準據スルハ勿論ト雖トモ尙實際ニ就キ參酌シ該事項ニ拘泥セス報告必要ト認ムルモノハ細大洩サス報告スルヲ要ス

第八條　官報報告委員ノ取調タル報告案ハ課長部長ノ認印ヲ經テ通ヲ製シ直ヲニ官報報告主任ニ送付スヘシ

第九條　各部課ニ於テ稟議文書等取調ノ際官報報告ヲ要スル事件アルトキハ該稟議文書ノ欄外ヘ（要官報報告）ノ印ヲ押捺シ決裁濟ノ上ハ官報報告委員ニ於テ報告案ヲ製シ官報報告主任ニ送付スヘシ

第十條　官報報告主任ハ官報報告委員ヨリ報告案ヲ受クルトキハ速ニ調査ノ上發送ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條　官報報告主任ハ事ノ要否ニ依リ官報報告委員送附ノ報告案ヲ適宜取捨改竄スルコトヲ得

第十二條　官報報告委員ハ報告事項中ノ事件ニシテ別ニ關省院ヘ報告ヲ要スルモノアルトキハ（官報報告濟）ノ印ヲ押捺シ報告上重複ノ惧ナキヲ要ス其電信ヲ以テスルモノハ同文電報ヲ用ヒ官報報告主任ニ合議スヘシ

第十三條　官報報告ハ迅速ニシテ且事實ノ精確ナルヲ要ス左ノ諸項ニ依リ不都合ナキヲ務ムヘシ

一緊要ノ關係アル事項ニシテ至急報告ヲ要スルモノハ電報ニテ報告スヘシ

一凡報告事項ハ本末首尾ヲ貫通シ且一部分ニ偏セス可成全管內ノ情狀ニ就キ敍述スルヲ務ムヘシ

但一部分ニ屬スルモノト雖トモ其事項ノ重要又ハ較著ナルモノハ之ヲ報告スルヲ要ス

一官報原稿ニハ其事件ニ關係アル人名場所日時等ヲ詳記シ且贅長ニ渉ラスシテ要領ヲ失ハサル樣務ムヘシ

訂（靜岡令二二八號）

一官報原稿ニハ別ニ添書ヲ要セス發遣ノ年月日及縣名ヲ附記シ封緘ノ上通常郵便ニ付スヘシ

但印刷シタル月報等ノ類ハ帶封又ハ披封ニテ郵送スルモ妨ケナシ

一官報報告事務ハ通常文書取扱時間ニ關セス取扱フヘシ

（書式略ス）

訂（靜岡令一二七號）

●水利組合事務報告例

訓令甲第六十二號（大正十五年八月二十六日）

水利組合

水利組合管理者ハ別ニ規定アルモノヲ除ク外水利組合事務ニ關シ左ノ事件ニ付報告スヘシ

大正七年六月靜岡縣訓令甲第二十號水利組合事務報告例ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式

番號	事件	報告要件	報告期限
一	組合會議諸件	議決書（會議ノ狀況ヲ記載シタル書面）	即日
二	組合會議ノ再議又ハ再選擧ヲ行ハシメタル場合	事件ノ大要及其ノ理由	即日
三	組合會權限ニ屬スル事件ノ處分	事件及理由	即日
四	組合事務ニ關スル諸規定	可決ノ會議錄ノ謄本但シ會議事件トシテ報告スルモノヲ除クノ外認可又ハ認可ヲ受ケタル定款ノ寫	三日以內
五	組合吏員ノ懲戒處分	處分書謄本	即日
六	組合管理者ノ事務引繼	引繼書謄本	三日以內
七	告示	勝本（法令ニ規定アルモノニ限ル）	即日
八	財產調	第一號樣式	四半期末年度日限
九	組合費收納成績	第二號樣式	七月十日年度日限

第二號樣式

水利組合財產　大正何年末現在

地目	地段別	地價	地積	坪數	價格	有價證券種類	價額	水利組合名
土地		圓	坪		圓	現金	圓	
						其他	圓	
						價額現金計		

（訂（縣岡令一二七號））

組合費收納成績　大正何年度

何段別	家屋割	賦課額	徵收濟額	徵收未濟額			水利組合名
				滯納額	缺損額	計	賦課額ニ對スル徵收歩合
計				圓	圓	圓	
々	々						
何段別割	家屋割						

說明

一、賦課額及徵收額ハ其ノ年度ニ屬スル總額ヲ記入スヘシ

一、徵收未濟額ハ翌年度六月三十日現在ニ依リ調查スヘシ

一、過年度徵收未濟額ノアルトキハ其ノ額滯納人員ヲ年度ニ區分シテ備考ニ記入スヘシ

（訂（縣岡令一二七號））

●農會ニ於テ調査スヘキ農事ニ關スル報告樣式

告示第百三十六號（明治四十一年四月十日）
明治三十六年一本縣告示第八號農會ニ於テ調査スヘキ農事ニ關スル報告樣式左ノ通改正ス

報告樣式

一號

一毛作田地	二毛作以上作田地
桑樹果樹其他ヲ植付タルモノ	其他	計	普通裏作	綠肥裏作	計	合計
段別						

二號

田			畑		
段別					

三號

自作小作合			
田段別			
畑段別			

四號

牛		馬		
耕作用牛馬頭數				

五號

總戶數	專業農家	兼業農家	農家合計	自作農家	小作農家	自作兼小作農家	合計
戶數							

六號

五段未滿	五段以上一町以上	三町以上五町以上	十町以上五十町以上	合計
戶數				

七號

五段未滿	五段以上一町以上	三町以上五町以上	十町以上五十町以上	合計
戶數				

八號

五段未滿	五段以上一町以上	二町以上三町以上	五町以上合計
戶數			

九號

農學校、農事講習所又ハ之ニ準スヘキ者ヲ卒業シタル者				農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ講習ヲ受ケタル者	合計
小學程度	中學程度	高等學校程度	大學程度		
現在數					

調査ノ標準

一、一毛作トハ一年中ニ一回植付ケタルモノトスルコト（故障ノ爲メ收穫出來ストモ）

稻、其ノ他ノ苗代ハ一毛ニ數ヘサルコト（苗ヲ販賣スル場合ニモ）

桑樹、果樹其ノ他樹木ヲ植付ケタルモノハ一毛作ト看做スコト

訂（靜岡令一二七號）

訂（靜岡令一三七號）

二毛以上作トハ一年中ニ二回以上別種ノ作物ヲ植付ケタルモノナルコト（但同種ノ作物ト雖二回以上取穫スル場合ハ二毛以上作ト看做スコト）

一、牛馬耕田畑ハ耕起ニ牛馬ヲ用ヒタルモノノミヲ計上スルコト

一、第一號及第二號田畑ノ面積中ニハ休閑地ヲ計上セサルモノトスルコト

一、農事講習所又ハ之ニ準スヘキモノヲ卒業シタル者ハ小學程度、中學程度、高等學校程度、大學程度ヲ卒業シタルモノニ分類スルコト

農事講習會又ハ之ニ準スヘキモノハ五日間以上開催シタルモノトスルコト

一、自作農家及小作農家ニハ兼業農家トモ併セ計上スルコト

一、第七號農家戸數ハ區域内ニ現住スルモノヲ計上シ所有耕地ハ區域外ニ在ルモノト雖合算シ調査スルコト

一、第三號田畑面積中ニハ休閑地ヲモ計上シ第八號ノ調査ニ要スル面積ニモ同シク算入スルコト

一、第三號ノ面積合計ト第七號第八號ノ調査ニ要スル面積合計トハ必ス一致スルコトヲ要シ第五號第六號及第八號ノ戸數合計亦必ス一致スルヲ要スルコト

●農事ニ關スル調査ノ件

農第一三三二號内務部長通牒（昭和五年三月十五日）

縣郡市農會長　町村長宛

農事ニ關スル調査ノ件

標記ノ件ニ關シ農林大臣官房統計課長ヨリ左記ノ通リ通牒有之候條御了知相成度

貴部内農會長ニ對シ此旨御傳示相成度

統計第一一一號ノ二

昭和五年二月二十六日

農林大臣官房統計課長

靜岡縣知事殿

農事ニ關スル調査ノ件

首題ノ件ニ關シ兵庫縣農會ヨリ別紙寫ノ通リ照會有之左記ノ通リ回答致置候條御含ミノ上農會ヘ御移牒相成度候也

記

農會ニ於テ調査スル第一號表一毛作田地及二毛以上作田地ノ段別ヲ調査スルハ田地ノ作毛狀態ヲ調査スルコトヲ目的トシ其ノ年荒田地タリシ耕地ニ其ノ年中桑樹果樹等ヲ植付ケタル面積ハ之ヲ一毛作田地トシテ調査スルモノニシテ既ニ之等ノ樹木ヲ植付ケタル後ハ最早田ニ非ザルヲ以テ其ノ年末現在ヲ以テ調査スベキ第三號表ノ田段別ニハ算入セザルモノトス尚第一號田段別ニハ休閑地ヲ含マザルモ第三號ノ面積ニハ之ヲ含ムヲ以テ第一號田段別ヨリ桑樹果樹其ノ他樹木ヲ植付ケタル段別ヲ控除セル段別ト第三號ノ田段別トハ必ズシモ一致セザルコトニ注意ヲ要ス（別紙寫）

農事ニ關スル調査ノ件

昨年九月一日現在ヲ以テ施行セラレタル耕地調査ノ結果正確ナル耕地面積判明致候ニ付本縣統計課ニ於テハ農會法施行規則附則ニ關ル農會ノ農事ニ關スル調査第三號表ニモ右ノ調査ノ結果ニ基礎ヲ置キテ昭和四年度ヨリ嗣新ヲ加ヘシムルヤウ管内市町村農會ニ對シテ注意スベシトノ旨各市町村長宛通牒アリタルニヨリ本會トシテモ亦縣下各級農會ニ對シテ右ト同樣ノ趣ヲ通知シテ其ノ嗣新ヲ圖ラシメ居リ候然ル處實際調査ニ當リテ左記ノ疑義ヲ生ジ候ニ付テハ御多用中乍恐縮折返シ御教示相煩度此段及照會候也

記

昨年九月一日施行ノ耕地調査ニ於テハ桑樹果樹等ヲ栽植セルモノハ畑地トシテ扱ハレ居レリ

（農業調査員必携ニ「田トハ水田又ハ水田ノ原形ヲ有スルモノニシテ果樹桑樹等ヲ栽植シタルモノハタトヘ水田トシテノ原形ヲ有スルモ之ハ畑トシ田段別ニ計上セザルコト」ニナリテレリ）

然ルニ統計課ヨリノ指示ニ從ヒテ農會調査ノ第三號表田段別ヲ耕地調査ノ數字ニ基キテ調査スルトキハ此ノ田合計段別ト一毛作田ニ桑樹果樹ヲ栽植シタル段別ヲ算入シタル第一號表ノ田合計段別トノ間ニ開キヲ見ルコトヽナル此ノ兩表ノ不一致ヲ如何ニ扱フベキヤ

●海底沈沒船舶ノ位置狀況報告方

訓令甲第二十四號（明治三十五年九月六日）

〔郡役所〕

海底沈沒船舶ハ沈沒位置ノ狀況及當該船舶ノ大小等ニ依リ固ヨリ其場合チ一ニセスト雖トモ他ノ船舶ニ對シテハ通常暗礁ニ等シキ妨害ヲ與フルモノナルカ故ニ其精確ナル位置ヲ海圖水路誌類ニ記入シテ一般船舶ニ警戒ヲ與ヘ又其曳揚ヲ了シタルトキハ速ニ之ヲ海圖水路誌類ノ上ヨリ削除シテ其通告ヲ爲ス等ハ共ニ水路航海保安ノ上ニ於テ極メテ必要ナルコトナリトス就テハ自今沿海ニ於テ右等ノ場合有之候節ハ出來ヘキ限リ精査シ別紙樣式ニ依リ報告スヘシ

訂〔靜岡令一八五號〕

沈船報告記載例

報告者	一原報告者アルトキハ其職氏名
區名	
船主、船名	
船ノ種類、長吃水噸數	
位置	一物體ノ角度ヲ以テ示スストキハ可成三物體以上ノ角度ヲ用ユ但シ二角度ナルトキハ沈船ヨリ該物體ニ向ヒ右方角左方角ナルヤヲ明記スヘシ 一物體ノ方位ヲ以テ示ストキハ可成三方位以上トシ若シ二方位ナルトキハ其物體ヨリ沈船迄ノ距離ヲ記スヘシ 一萬已ムヲ得スシテ右ノ諸法ニ據ル能ハサル事情アルトキハ經緯度若クハ島嶼山頂等ノ切合重合等ノ法ニ據ルヘシ 一當部刊行ノ海軍海圖ヲ有スルトキハ圖上ニ點記シ本報告ト共ニ送付スルコト
船體ノ現狀	一船體水面上ニ現レ居ルトキハ潮時ニ對シ現ハルヘキ細狀 一水面下ニ在ルトキハ潮時ニ對スル其水深 一浮標、旗、燈火、或ハ番船等假設シアルヤ否
沈沒點ノ水深及海底質	一潮時ニ對シ沈沒點ノ水深及海底質可成其附近ノモノヲモ併記スルヲ要ス
載貨	一石炭、石油、若クハ兵器等
沈沒當時ノ情況	一大氣模樣一海流若クハ潮流ノ方向及其強弱ノ模樣 一其他當時ノ諸事情ヲ可成詳記スルヲ要ス
沈船變狀	一變狀アリタルトキハ速ニ前記ノ例ニ據リ其詳狀ヲ報告スルコト 一浮標番船等ノ變更アルトキモ之ニ準ス

沈船除去（一沈沒船ヲ除去シタルトキ若クハ流失シタル時ハ速ニ其旨報告スヘシ）

年　月　日　〔郡長〕名

縣知事宛

●海難事件ノ顚末等報告方

調令甲第二十五號（明治三十八年六月九日）

市役所　警察署　〔同分署〕　町村役場

船舶ノ海難ニ付テハ明治三十五年六月靜岡縣訓令甲第十六號ヲ以テ及訓令置キタル處右遭難ノ狀況ニ關シテハ當廳ニ於テ急速之ヲ詳知ノ要有之ニ付明治二十六年三月遞信省訓令第一號該當事項ハ其ノ都度至急報告スヘキ海難事件ノ顚末ハ可成詳細ニ取調迅速ニ管轄地方海員審判所理事官ニ送致スル樣取計フヘシ

●清水港灣資源調査規程

縣令第九十五號（昭和四年十二月二十四日）

清水港灣資源調査規程左ノ通定ム

清水港灣資源調査規程

昭和四年十一月　日　內務省令第四十一號港灣資源調査規則第二條ニ依ル報告書ハ翌年三月末日迄ニ清水港務所ヲ經由ノ上知事ニ提出スヘシ

●市町村産業統計調査員設置規程準則

統第五五九號知事官房統計課長通牒（昭和三年十一月二十二日）

市町村長宛

産業統計調査員設置規程ニ關スル件

標記調査員設置規程準則左記ノ通リ相定メ候間特別ノ事情ナキ限リ本規程ニ準據シ改廢ナキト共ニ未設置ノ市町村ニアリテモ該準則ニ依リ速ニ設定相成樣致度

記

第一條　市町村產業統計調査員設置規程準則

產業ニ關スル統計ヲ調査スル爲本市町村ニ左ノ調査區ヲ設ケ各調査區ニ調査員（一名乃至二名）ヲ置ク

一、何調査區（大字何々ヨリ何々ニ至ル區域）

一、何調査區（大字何々ヨリ何々ニ至ル區域）

一、何調査區　一同

第二條　統計調査員ハ調査區內ノ情況ニ精通シ調査員タルニ適スルモノヨリ市町村長之ヲ選任ス

第三條　統計調査員ノ任期ハ（三ケ年）トス但シ再任ヲ妨ケス

補缺ノ爲任命セラレタル調査員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第四條　統計調査員ハ市町村長ノ指揮監督ヲ承ケ擔當調査區內ニ於テ左ノ職務ヲ行フ

一、農林省統計調査ニ關スル事項

一、商工省統計調査ニ關スル事項

一、靜岡縣報告規程中產業統計調査ニ關スル事項

一、其他統計ニ關シ市町村長ヨリ命セラレタル事項

第五條　統計調査員第四條ノ職務ヲ行フ場合ハ市町村長ノ交付セル用紙ヲ用ヒ主トシテ實地ニ就キ調査ヲ行フヘシ

第六條　統計調査員疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ノ爲所定ノ期間內ニ其ノ職務ヲ執行シ又ハ完了シ能ハサルトキハ直ニ市町村長ニ屆出テ指揮ヲ請フヘシ

第七條　統計調査員更迭シタルトキハ直ニ其ノ保管ニ屬スル關係法規、

訂（靜岡令一八五號）

書類、其ノ他職務上必要ノ事項ヲ後任者ニ引繼クヘシ

第八條　統計調査員調査書類調製ノ際ハ特ニ數字ノ正確明瞭ヲ旨トシ且單位ノ呼稱及數位ヲ明ニシ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外左記ニ依リ取扱フヘシ

一、數量ノ單位ニシテ地方慣行ノモノカ樣式所定ノモノト異ナル場合ニ於テハ樣式所定ノ單位ニ之ヲ換算スヘシ

一、取引ノ慣行ニ於テ一斤ヲ百六十匁トシテ計算セサル場合ト雖本調査ニ於テハ總テ之ヲ百六十匁トシテ計算スヘシ

一、單位未滿ノ數ハ之ヲ四捨五入スヘシ

一、符號ハ左ニ示ス所ニ依ルヘシ

●　單位ヲ示ストキ但シ單位以下ニ端數ヲ附セサルトキハ之ヲ略ス

、　單位以上三位每ノ數位ヲ示ストキ

○　記入スヘキ數位ニ滿タサルトキ

－　記入スヘキ該當事實ナキトキ

第九條　統計調査員調査ヲ完了シタルトキハ之ヲ前回ノ調査又ハ關係事項ト比較考究シ增減ノ事由其ノ他特ニ注意スヘキ事項ヲ所定ノ報告書ニ附記シ期限迄ニ之ヲ市町村長ニ報告スヘシ

第十條　統計調査員市町村長ヨリ說明又ハ再調査ヲ命セラレタルトキハ直ニ調査ノ上答申スヘシ

第十一條　統計調査員ニハ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ手當ヲ給ス

第十二條　統計調査員ハ職務上知得シタル個人、法人又ハ組合等ノ業務ニ關スル事項ヲ故ナク他ニ漏洩スヘカラス

第十三條　統計調査員ハ被調査者ニ對シ必要ナキ質問ヲ發シ又ハ誤解ノ虞アル言動ナキ樣注意スヘシ

第一編　例規　第四章　統計、報告

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

訂（靜岡令二一二號）

●產業統計調査員竝市町村統計主任任免報告ニ關スル件

統第八〇號知事官房統計課長通牒（昭和七年七月十二日）

市町村長宛

標記ノ件ニ關シテハ農林省統計報告規則第五條竝商工省統計報告規則第五條ニ依リ其ノ都度報告可相成處之カ報告無キ向尠ナカラス整理上差支候條報告洩ノ向ハ至急左記樣式ニ依リ御報告相成ト共ニ爾今變更ノ都度必ス御報告相成度

尙市町村統計主任異動アリタル場合ハ市町村統計事務處理手續第十一條ニ依リ相違ナク御報告相成度

記

擔當調査區	免職年月日	履歷ノ大要	職業	年齡	住所	氏名	生年月	舊調査員氏名

●都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定セラレタル町村ノ町村長退職、就任若ハ死亡竝町村會議員ニシテ都市計畫靜岡地方委員會委員ヲ命セラレタル者ノ資格消

滅若ハ死亡等ノ場合報告方ノ件

（都第一二三號内務部長通牒（昭和八年十一月十一日）

町村長宛

標記ノ件事件發生ノ都度左記ニ依リ御報告相成度

記

一、町村長ニ在リテハ退職、就任若ハ死亡ノ年月日、職、氏名

二、町村會議員ニ在リテハ任期滿了其ノ他町村會議員タルノ資格消滅シタル事由、年月日、職、氏名

●方面事業助成團體ニ關スル報告方ノ件

（社第五〇七號學務部長通牒（昭和九年五月三十一日）

市町村長宛

貴市町村内方面事業助成團體ニ關シ爾今前年度分ニ付キ左記樣式ニ依リ調査ノ上其ノ筋ヘ報告ノ都合モ有之候條每年四月末日迄ニ無相違御報告相成度

追而昭和八年度分ニ付テハ來ル六月十日迄ニ御報告相成度申添候

記

團體名稱	設立年月日	組織	資産		經費								事業種類及成績	所在地
			總額	内基金	收入			支出						
					縣費補助	市町村補助	其他	計	事務費	事業費	其他	計		
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		

注意

一、收入及支出ハ前年度決算ニ依リ記載スルコト但シ決議機關ノ議決ヲ經サルモノハ年度末現計ニ依ルコト

二、職員數欄ハ會長一、副會長一、理事三、評議員一〇、幹事三、書記二等ノ如ク記載スルコト

三、事業種類及成績欄ハ生活扶助五件一五〇圓生業資金貸付三件六〇圓兒童保護四件二〇圓醫療救護三件四五圓職業周旋五件人事相談一三件其他八件一五圓等ノ如ク記載ノコト

四、社會事業協會其ノ他ノ團體ニシテ方面事業ノ助成ヲ併セ行フモノニ付テハ經費ヲ左側ニ記載シ事業種類及成績欄ニハ方面事業助成ノ事業ノミニ就キ記載ノコト

五、既設ノ團體ニシテ廢止シタルモノハ其ノ團體名及廢止年月日ヲ報告スルコト

第四項ノ團體ニシテ方面事業ノ助成ヲ中止シタル場合ハ其ノ旨報告スルコト

（訂（靜岡令二二一號）

●市町村報等印刷物提出方ノ件

（地第二六二三號内務部長通牒（昭和四年十一月二十一日）

市町村長宛

市役所町村役場ニ於テ自治訓練納稅改善等地方改良ヲ目的トシ一般ニ配付シタル市町村報時報其ノ他之レニ類スル印刷物ハ其ノ配付ノ都度配付先ノ大要町村會議員區長或ハ一般等配付部數等ヲ添記シ地方課ヘ御送付相成度

追テ本年既ニ配付濟ノモノニ付テハ本文ノ例ニ依リ本月末日迄ニ御送付相成度

●資源ニ關スル標準用語ノ件

（統第一一七號知事官房統計課長通牒（昭和六年四月十四日）

市町村長　警察署長　農事試驗場長　工業試驗場長
水産試驗場長　蠶業試驗場長　畜産場長　測候所長
蠶業取締所長　土木出張所長　清水港務所長
警察病院長宛

資源ニ關スル用語ハ廣ク國民生活活動ニ緊切ナル關係ヲ有シ之カ統一ヲ爲スコトハ平時社會生活上活動能率ノ向上ヲ期スル所以而已ナラス特ニ有事ニ處スルニ於テ其必要ヲ感セシムル所ナルヲ以テ政府ニ於テハ資源審議會ニ諮リ其ノ答申ヲ俟ツテ次第ニ各種資源ニ關シ平易簡明ヲ旨トシ普通ノ慣用語ヲ尊重シ以テ時代ノ要求ニ適合スル標準用語ヲ決定セムコトヲ期スル趣ニ有之今回之カ藥品ニ關スルモノヲ閣議ノ決定ヲ經別紙ノ通本年一月三十一日内閣告示第一號ヲ以テ公布セラレ且同時ニ之カ使用普及方ニ關シ別記ノ通内閣訓令及首相臨時代理摩明ヲ發セラレ總テ該用語ニ依ル旨ヲ公布セラレシ次第ニ有之候然レトモ用語統一ノ實行普及ノコトハ獨リ中央政府ノ努力ノミニ依リテ其ノ效果ヲ收ムルコト能ハサルハ勿論ノ義ニシテ今回内務省ヨリ使用普及方ニ關シ通牒有之候ニ付テハ右告示ノ趣旨ニ依リ貴市町村（署、場、所、院）ニ於テハ此等標準用語ヲ率先シテ使用シ尚公共團體及一般民間ニ對シテモ是カ實行普及方ヲ督勵相成ト共ニ民間ヨリ官廳ニ提出スル書類等ニハ可成標準用語ヲ使用セシメ候樣特ニ御配慮相煩度

追テ別紙内閣告示第一號標準用語ハ本年一月三十一日官報ニ依リ御參照相成度尚標準用語ハ決定ノ都度之ヲ官報ニ告示可相成ニ付申添候

内閣訓令號外

各官廳

資源ニ關スル標準用語ノ使用普及ニ關スル件

資源ニ關スル用語ハ廣ク國民ノ生活活動ニ緊密ナル關係ヲ有シ、之カ統一ヲ促進スルコトハ平時社會生活上活動能率ノ向上ヲ期スル所以ノ途ニシテ又有事ニ處スルニ於テ特ニ其ノ必要ヲ感セシムル所ナリ。仍テ政府ハ資源審議會ニ諮リ其ノ答申ヲ俟ツテ次第ニ各種資源ニ關スル標準用語ヲ決定セシコトヲ期シ先ツ藥品ニ關スルモノヲ決定シ本日内閣告示第一號ヲ以テ之ヲ公布シタリ。爾今各官廳ニ於テハ此等標準用語ノ使用普及ニ力ヲ致シ、率先シテ之カ使用ヲ勵行スルト共ニ廣ク關係各方面ニ勸奬シテ一般ニ其ノ使用ニ習熟セシムルニ努メ以テ用語統一ノ趣旨ヲ徹底セシムルニ付萬遺憾ナキヲ期スヘシ。

昭和六年一月三十一日

内閣總理大臣臨時代理

（訂（靜岡令二三四號）

標準用語普及を望む

外務大臣　男爵　幣原喜重郎

幣原首相臨時代理聲明

三十一日政府は資源に關する用語統一の第一著手として藥品に關する標準用語を決定告示したが、元來資源に關する用語は國民の生活活動に密接なる關係を有し之が統一を促進することは社會生活上活動能率の向上を期する所以の途であつて特に有事に處するについて其の必要を感ぜしむる所である。よつて政府においては資源審議會に諮り其の答申をまつて次第に各種資源につき平易簡明を旨とし普通の慣用語を尊重し以て時代の要求に適合する標準語を決定せんことを期し今回先づ藥品に關して各方面の權威者をも參加せしめ慎重審議を重ねたる結果選定せられたる用語に基き閣議に於て藥品標準用語を決定し廣くこれを公示するに至つた次第である。

しかし用語統一の要は畢竟右標準用語が實際に普く使用せらるゝことに存するが故に、政府に於ては各官廳に對して率先してこれが使用を勵行することを訓令したのであるが國民各位に於かれても、用語統一の趣旨の存する所を諒得せられ爾今努めて政府の決定公示する標準用語を使用せられ相率ゐて本事業の完成に協力せられんことを冀ふ次第である、特に公私各團體及び言論機關等に關係を有せらるゝ各位に對しては夫々その機關を通じて本事業の目的達成に付格別の努力を惜まれざらんことを切望する所である。

●總動員準備上必要ナル研究、發明、考案、發見及之ニ基ク新規事業ノ特報ニ關スル件

統第二二一號知事官房統計課長通牒（昭和八年四月二十日）

市町村長　中等學校長　各關係長宛

各研究機關ニ於ケル研究情況ニ付テハ毎年定時的ニ御報告相煩シ居リ候處今般更ニ時局ニ鑑ミ總動員準備上必要ナル研究、考案、發見及之ニ基ク新規事業ニ關シ左記該當事實アルトキ又ハ之ニ關シ特ニ見聞セル事實アルトキハ隨時速カニ特報相煩シ度

記

一、研究（完了セルモノ）
　1、題目
　2、研究者及所屬研究機關名
　3、研究ノ内容概要
二、發明及考案
　1、題目
　2、發明者及考案者竝ニ其ノ住所
　3、發明及考案ノ内容概要
三、發見（特ニ鑛物資源等ニ付）
　1、發見者及其ノ住所
　2、發見ノ内容概要
四、新規事業（發明、研究等ヲ新ニ工業化セル場合）
　1、事業者及所在地
　2、事業ノ内容概要

（註）内容ニ付テハ判明セル範圍内ニテ可ナリ

訂（靜岡令二三四號）

●壯丁特種職業調査ニ關スル件

兵第一八三號兵事官通牒（昭和十年二月九日）

町村長宛

記

昭和　年壯丁特種職業調査表

特業區分	本籍人員	出寄留人員
鐵道ノ測量建設ニ從事シタル者		
鐵道ノ運輸業務ニ從事シタル者		
鐵道ノ工場業務ニ從事シタル者		
鐵道ノ機關手同助手檢車手ニ從事シタル者		
自動車發動機類ノ製造修理ノ技能ヲ有スル者		
寫眞術ヲ修得シタル者		
金屬技工ノ技能ヲ有スル者		
患者ノ取扱ニ慣レタル者		
機械氣罐ノ取扱ニ慣レタル者		
鍛冶、機械、鑄造製罐工業ニ從事シタル者		
船大工		
割烹ノ職ニ慣レタル者		

何町村

訂（靜岡令二三四號）

毎年其ノ年受檢壯丁ノ特種職業ヲ調査シ左記樣式ニ依リ二月十五日迄ニ報告相成度

堰	鑿	工				
土木建築業務ニ從事シタル者						
電信電話ノ通信業務ニ從事シタル者						
電氣機時計機械修理ノ技能ヲ有スル者						

備考

一、同一人ニシテ二種以上ノ特業ヲ有スル者ハ主業ノミヲ墨書シ兼業ハ當該相當欄ニ朱書スルモノトス

二、本表外選兵上必要ナル特業該當者アル場合ハ餘欄ニ夫レ〳〵記入スルモノトス

製圖ノ技能ヲ有スル者

訂〔靜岡令二三四號〕

第五章　儀式

●新年紀元節天長節祝日參賀順序及同心得

靜岡縣訓令乙第三四五號（大正十年十月二十七日）

知事官房　内務部　警察部

新年紀元節天長節祝日參賀順序及同心得左ノ通定ム

參賀順序

第一　判任官

第二　判任官待遇者

參賀心得

一　諸員ハ參賀式擧行時限二十分前迄ニ知事官房ニ至リ參賀名簿ニ署名スヘシ當日止ムヲ得サル事故ニ依リ不參セントスル時ハ擧式時限迄ニ其ノ旨屆出ツヘシ

一　參賀順序第一ノ諸員ハ第一鈴ニ依リ第二ノ諸員ハ第二鈴ニ依リ一同式場前ニ集リ掛員ノ指導ニ從ヒ式場ニ參入著席スヘシ

一　知事出場著席

一　御眞影ノ幕ヲ揭ク（諸員敬禮）

一　諸員總代一步前進シ　御眞影ニ奉對シ最敬禮ヲ行フ此ノ時諸員一同最敬禮

一　總代知事ノ直前ニ進ミ敬禮ヲ行ヒ（此ノ時一同敬禮知事一步前進）賀詞ヲ述ヘ敬禮（諸員一同敬禮）

賀詞ハ左記ニ依ル

新年ノ賀詞　謹ミテ新年ヲ賀シ奉ル

紀元節ノ賀詞　謹ミテ紀元節ヲ賀シ奉ル

天長節祝日ノ賀詞　謹ミテ天長節ヲ賀シ奉ル

一　知事及總代席ニ復ス

一　御眞影ノ幕ヲ垂ル（一同敬禮）

一　知事退場

一　諸員順次退場

訂〔靜岡令二二一號〕

●拜賀及賀表差出ニ關スル件

號外（明治十二年十月十三日）

〔各郡〕

新年拜賀紀元節天長節拜賀之節各郡判任官ハ本年本縣甲第九十六號布達雛形ニ準シ賀表可差出此旨相達候事

（本縣甲號第九十六號布達雛形ハ二十六年宮内省達乙第七號ニ依リ自然消滅）

但安倍郡及ヒ出岡中ノ者ハ拜賀トシテ縣廳ヱ出頭數シ賀表ヲ差出ニ及ハス

〔郡役所〕

●地方廳勳章授與式

庶第七四二號（明治二十一年五月二十二日）

地方廳勳章授與式別紙ノ通定メラル

地方廳勳章授與式

一地方所在ノ者ヘ勳章授與スル爲メ賞勳局總裁ヨリ各省大臣ヲ經テ敍勳者人名竝勳章勳記等ヲ地方長官ヘ傳達セシトキハ左ノ式ニヨリ之ヲ執行スヘシ

一勳章地方廳ニ到達スレハ授與ノ日時ヲ定メ大禮服著用參廳アルヘキ旨長官ヨリ受章者ニ達ス

但受章者非役無位ナレハ通常禮服燕尾服著用スヘシ

一地方長官以下大禮服著用

一該府縣廳下府縣廳所在ニ同勳等ノ先敍者アルトキハ式場ニ列セシム其人員ハ四人ヲ以テ限トス

一當日廳中便宜ノ處ニ式場ヲ設ク班列圖ノ如シ

一掛屬官勳章ヲ式場ノ按上ニ置ク

一屬官受章者ヲ引テ長官ノ前ニ進ミ共ニ敬禮ス長官辭令勳章ヲ授ク「書記官」勳記ヲ授ク受章者斜ニ面シテ之ヲ受ケ敬禮ス屬官受章者ヲ引テ式場ヲ退ク各退散

一長官事故アルトキハ「書記官」之ヲ代理ス

一敍勳者府縣廳懸隔ノ地ニ在住ノ輩ハ島司若クハ郡區長ヲシテ授與セシム

但本條ノ場合ニ在リテハ先敍者ノ列立ヲ要セス勳章ハ函ノ儘勳記ハ封緘ノ儘授ケシム

一勳章領票ハ本人記名調印ノ上地方長官ヨリ最前傳達ヲ受ケタル官廳ヘ進達セシム尤島司若クハ郡區長ヨリ授與ノ節ハ該島司又ハ郡區長ヨリ最前傳達ヲ受ケタル官廳ヘ直ニ進達スルモ便宜タルヘシ

●國旗ニ關スル件

官第七〇八號知事官房祕書課長通牒（昭和五年十二月二十七日）

縣立中等學校長　市町村立小學校長
市町村長　各區長宛

國旗ノ制式及揭揚方法ニ關シ別紙ノ通通牒有之候ニ付爲念

（別紙）

內閣文甲第二〇號
昭和五年十二月十五日
內閣書記官長　鈴木富士彌

文部次官中川健藏殿

國旗ニ關スル件

本年六月九日地文一〇號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ次第モ有之候處國旗ノ制式及揭揚方法等ニ關シテハ從來一般的準則ヲ缺キ從テ自ラ區々ニ渉リ將來何等カ準則制定ノ要ヲ被認候ヘ共差當リテハ明治三年太政官布告第五十七號、大正元年閣令第一號ニ則リ且ツ爾來ノ慣行ニ鑑ミ大體左記要綱ニ依ルヲ妥當ノ如ク思料セラレ候條御了承相成度此段不取敢及回答候

記

國旗ノ制式

一、國旗縱橫ノ比率及日章ノ直徑比率竝ニ其ノ旗面ニ於ケル位置ハ祝意ノ場合タルト弔意ノ場合タルトヲ問ハス何レモ明治三年太政官布告第五十七號ニ定ムル國旗寸法ノ比率ニ準據スルヲ妥當トスヘシ

二、竿頭ノ球ト旗トノ間隔ハ祝意ノ場合ニハ之ヲ絕對ニ存セス弔意ノ場合ニハ大正元年閣令第一號ニ準據シ竿球ハ黑布ヲ以テ之ヲ蔽ヒ且ツ旗ノ上部ニ黑布ヲ附ス

國旗揭揚ノ方法

一、國旗一旒揭揚ノ場合ハ門內ヨリ見テ右（門外ヨリ見テ左）ニ揭揚スルヲ望マシク已ムヲ得サレハ左（門外ヨリ見テ右）ニ揭揚スルモ可ナルヘシ

二、國旗二旒揭揚ノ場合ハ併立、交叉隨意ナルヘキモ之ヲ一定セントスル趣旨ヨリセハ併立スルヲ望マシク時宜ニ依リ交叉スルモ可ナルヘシ交叉スル場合ハ門內ヨリ見テ左（旗竿ノ本右）ノ國旗ヲ內側トスルヲ可トスヘシ

三、特ニ外國ニ敬意ヲ表スル爲外國國旗ヲ國旗ト共ニ揭揚スル場合ニハ併立交叉隨意ナルヘキモ一定セントスル趣旨ヨリセハ交叉スルヲ望マシク時宜ニ依リ併立スルモ可ナルヘシ而シテ併立スル場合ハ國旗ヲ門內ヨリ見テ左（門外ヨリ見テ右）ニ揭ケ交叉スル場合ハ國旗ヲ門內ヨリ見テ左（旗竿ノ本ハ右）ニ揭ケ旗竿ハ內側トスルヲ可トスヘシ

昭和八年二月二十三日
社教第三四號學務部長通牒

第一編　例規　第五章　儀式

訂（靜岡令二〇一號）

國旗揭揚ニ關スル件

市町村長　學校長　青年訓練所主事宛

國旗ハ一國精神ノ象徵トシテ最モ嚴肅ナル考ヲ以テ取扱ハシムルハ國民精神作興上緊要ノ義ト思料セラレ候且ツ之カ揭揚モ國家ノ祝祭日ハ素ヨリ地久節、陸軍記念日、海軍記念日等凡ソ國民的ノ記念日ニハ當然揭揚致スヘキ義ニ候條是等御含ミノ上之カ取扱上萬遺憾無之樣特ニ御配慮相煩度

追而國旗ノ制式ハ明治三年ノ太政官布告ニ揭揚法ハ昭和五年十二月內閣ヨリ各省次官ヨリ發セラレタル通牒ニ基キ縣公報第九百八十四號登載昭和五年十二月二十七日官第七〇八號ヲ以テ通牒相成居候條爲念

●通常服ニ關スル件

官第三二三號知事官房祕書課長通牒（昭和六年六月二十五日）

各廳長　市町村長　小學校長宛

通常服ニ關シ左記ノ通宮內大臣ヨリ通牒ノ旨內務大臣祕書官ヨリ通知越シ候條夫々周知方御取計相成度候

記

宮內大臣官房宮發第二八七號
祕書課
昭和六年六月三日

內務大臣　安達謙藏殿

宮內大臣　一木喜德郎

從來皇室諸令其ノ他ニ於テ指示スル通常服トハ「フロックコート」ノ義トセラレ候處自今「モーニングコート」モ通常服トセラルルコトト相成候條此段及通牒候

第六章　位階、褒賞

●位階令竝位階令施行細則施行ノ件

官第七一五號官房主事通牒（大正十五年十一月二十五日）　町村長宛

客月二十一日官報號外ヲ以テ公布セラレ候位階令竝位階令施行細則本月十日ヨリ施行セラレ候ニ就テハ右施行上萬遺漏ナキヲ期セラレ度殊ニ左記事項篤ト御留意相成度

記

一、位階令施行細則第七條ニ規定シタル報告ノ事務ニ付テハ特ニ遺漏ナキ樣注意セラレタキコト

二、位階令第七條ニ該當スル有位者アル場合ニ於テハ其ノ品位ヲ保ツコトニ能ハサル事情又ハ體面ヲ汚辱スル行爲ヲ詳細ニ具シ遲滯ナク內閣總理大臣ニ報告スルコト但シ有爵者又ハ爵ヲ襲クコトヲ得ヘキ相續人ナルトキハ之ヲ宮內大臣ニ報告スルコト

●金圓物件寄附及施與者報告手續

訓令甲第二十六號（明治三十八年六月三十日）　〔郡役所〕　市役所　町村役場

公益ノ爲メ金圓物件寄附及施與者報告手續左ノ通定ム

但明治十九年四月本縣丙第四十四號金穀物品獻納寄附及施與取扱手續ハ之ヲ廢止ス

金圓物件寄附及施與者報告手續

取調表

（金圓ノ例）

寄附（施與）年月日	本籍現住所	族籍	官職位勳功學爵位	姓名
寄附（施與）ノ目的				
寄附（施與）金額				

（物件勞力ノ例）

寄附（施與）年月日	本籍現住所	族籍	官職位勳功學爵位	姓名
寄附（施與）ノ目的				
寄附（施與）物件種類數量				
價格單價				

備考

一何々、、、、、、

記載例

一寄附施與金圓物件又ハ勞力等價格五百圓未滿ノ者ト同五百圓以上五千圓未滿ノ者ト同五千圓以上ノ者トハ之ヲ各別ニ調製スヘシ

但高等官及高等官ノ待遇ヲ受クル者從六位以上勳六等以上ノ者又ハ華族ノ身分ヲ有スル者ニシテ寄附施與金圓物件勞力等價格百圓以上

訂〔靜岡令一三〇號〕

第一條　公署學校病院道路橋梁其他濟貧恤窮等一般公益ノ爲メ金圓物件又ハ勞力ヲ寄附及施與シタルモノアルトキハ左ノ區別ニ依リ當廳ヘ報告スヘシ

一郡費支辨ノ事業ニ係ルモノニ付テハ其寄附ヲ受ケタル郡ヨリ報告スヘシ

一市町村費支辨ノ事業ニ係ルモノニ付テハ其寄附ヲ受ケタル市町村ヨリ報告スヘシ

一濟貧恤窮等ノ爲メ施與シタルモノニ付テハ之ヲ取扱ヒタル郡市町村長ヨリ報告スヘシ

第二條　前條ノ報告ハ寄附及施與ニ係ル金圓物件勞力等全部受領シタル上之ヲ爲スヘシ其年賦又ハ月賦等分納ニ係ルモノ亦同シ

第三條　寄附又ハ施與ヲ爲シタル者褒賞下賜以前ニ於テ死亡シ又ハ重罪ノ刑ニ處セラレ其他本籍、現住所、族籍、姓名、官職、位、勳、功、學位、爵等異動アリタルトキハ直ニ當廳ヘ報告スヘシ

但死亡ノ場合ニ於テハ其相續人、相續人ナキトキハ遺族ノ本籍、現住所、族籍、姓名、其他官、職、位、勳、功、學位、爵ヲ併記スヘシ

第四條　郡市町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ對シ寄附ヲ受ケタル場合議會ノ議決ヲ經若ハ上級官廳ノ許可ヲ得タルモノニ就テハ其旨報告書ニ記載スヘシ

第五條　市町村費支辨ノ事業ニ對シ市町村內ノ部落ヨリ負擔以外ニ金圓物件又ハ勞力ヲ寄附シタル場合ハ必ス其負擔以外ニ提供シタル旨報告書ニ記載スヘシ

第六條　報告書ニハ左ノ雛形ニ準據シ取調表ヲ調製添付スヘシ

訂〔靜岡令一三〇號〕

寄附（施與）金額	寄附（施與）ノ目的	寄附（施與）年月日	本籍現住所	族籍	官職位勳功學爵位	姓名
壹、〇〇〇圓	何郡（市）何町（村）立何々學校建築費	明治何年何月何日	何縣何郡（市）何町（村）何番地	華（士）族平民	何々	何某
參〇〇〇〇	何々警察署敷地購入費	、、、、、	何縣何郡（市）何町（村）何番地			何町（村）

備考

一何々、、、、、、

（物件勞力ノ例）

寄附（施與）物件種類數量	價格單價	寄附（施與）ノ目的	寄附（施與）年月日	本籍現住所	族籍	官職位勳功學爵位	姓名
白米五石	六七圓五〇〇	明治何年何月何日何郡（市）何町（村）火災ノ際罹災者救助	明治何年何月何日	何縣何郡（市）何町（村）何番地	華（士）族平民	何々	何某
人夫拾人	五〇〇〇	何郡（市）何町（村）何道路修繕土石運搬	、、、、、	何縣何郡（市）何町（村）何番地			何會社
	貳五〇						

ノモノハ更ニ別紙ニ調製スヘシ

一金額ヲ示スニハ寄附施與金額及價格欄内圓位ニ横線ヲ畫シ圓ノ字ヲ記シ數字ヲ以テ掲記シ千位ニハ「コンマ」ヲ附シ且數字中一二三ハ壹貳參ノ字ヲ用フヘシ

一物件及勞力ハ必ス其種類數量等ヲ詳記シ一種類毎ニ價格及單價ヲ記載スヘシ又其種類多數ナルトキハ別ニ明細書ヲ添付スヘシ

一價格及單價ハ必ス寄附施與受領當時ノ時價ヲ記載スヘシ諸公債其他ノ有價證券同シ

一水火風震等ノ如キ非常事變ノ際ニ於ケル施與ニ付テハ其罹災ノ年月日ヲ掲記スヘシ

一寄附及施與ノ目的ハ必ス明瞭精確ニ記載シ且寄附及施與年月日ハ其金圓物件勞力等ヲ受領シタル時ヲ掲記スヘシ

一公私法人ノ寄附及施與ニ係ルトキハ其法人名ノミヲ記シ代表者ヲ記スニ及ハス其他ノ團體ノ寄附及施與ニ係ルトキハ必ス代表者ノ右肩ニ「何々代表者」又ハ「總代」ト明記スヘシ

一數人又ハ數箇町村共同シテ寄附及施與シタルモノハ一人又ハ一箇町村別ニ内譯ヲ掲記スヘシ

一右ノ外必要ナル事項ニシテ表中ニ記載スル能ハサルモノハ總テ備考中ニ掲載スヘシ

●衞生功勞者表彰規程

告示第二百二十四號（大正七年六月十八日）

衞生功勞者表彰規程左ノ通定ム

衞生功勞者表彰規程

第一條　市町村、郡市醫師會、市町村衞生組合其ノ他ノ公共團體若ハ其ノ吏員、會員、組合員、團體員又ハ其ノ他ノ者ニシテ左記各號ノ一ニ該當スルトキハ本規程ニ依リ之ヲ表彰ス

一、公衆衞生上適切ナル施設ヲ爲シ其ノ功績顯著ナルモノ

二、傳染病豫防上必要ナル施設ヲ爲シ又ハ之カ設備ノ完成事業ノ遂行ニ盡力シ其ノ功績顯著ナルモノ

三、飲料水竝下水溝渠改良ニ關シ適切ナル施設ヲ爲シ又ハ之カ施設ノ完成事業ノ遂行ニ盡力シ其ノ功績顯著ナルモノ

四、衞生團體ノ發達ニ盡力シ又ハ衞生思想ノ涵養ニ關シ適切ナル施設ヲ爲シ又ハ之ヲ助成シタルモノ

五、各種救療事業ノ普及發達ニ盡力シ又ハ私財ヲ以テ之ヲ助成シ其ノ功績顯著ナルモノ

第二條　表彰ハ表彰狀及金銀木杯又ハ金圓ヲ授與スルモノトス

第三條　功勞者ニシテ表彰前刑事被告人ト爲リ又ハ懲戒處分ニ依リ其ノ職ヲ免セラレタルトキハ表彰ヲ行ハサルモノトス

第四條　功勞者表彰前ニ死亡シタルトキハ授與金ハ左ノ順位ニ從ヒ其ノ家ニ在ル親族ニ之ヲ給ス但シ同順位間ニ在リテハ其ノ親等ノ最モ近キ者ヲ先ニシ同親等間ニアリテハ男ハ女ニ同性間ニ在リテハ長ハ幼ニ先ツ

一、配偶者

二、直系卑屬

三、直系尊屬

四、兄弟姉妹

訂（靜岡令一三〇號）

●發明者表彰規程

告示第百六十二號（大正十二年五月四日）

發明者表彰規程左ノ通定ム

發明者表彰規程

第一條　產業上有效ナル發明ニシテ左記各號ノ一ニ該當シ特ニ有益ト認メタルモノニ對シテハ本規程ニ依リ其ノ發明者ヲ表彰スルコトアルヘシ但シ發明者ハ本縣下ニ生活ノ本據ヲ有スル者ニ限ル

一、特許法ニ依リ特許ヲ得タルモノ

一、實用新案法ニ依リ登錄ヲ受ケタルモノ

一、前各號ノ外產業上嶄新、新規ナル考案工夫ニシテ有效ナル發明ト認メタルモノ

第二條　〔郡〕、市、町、村長又ハ實業ニ關スル團體ノ理事者ニ於テ表彰ヲ受ク得ヘキモノナリト認メタルトキハ左ノ事項ヲ詳記シ之ヲ知事ニ具申スヘシ

一、發明者ノ氏名、住所及其ノ履歷

二、發明ノ名稱竝其ノ說明

三、發明ノ動機及其ノ經過

四、發明ノ效果

五、特許、實用新案登錄ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ登錄年月日及番號

六、其ノ他調查上參考ト爲ルヘキ事項

前各號ノ外寫眞、見本又ハ模型ノアルモノハ之ヲ添附スヘシ

第三條　表彰ハ縣費豫算ノ範圍内ニ於テ表彰狀ニ金員又ハ物品ヲ添ヘ之ヲ彰功ス

第四條　表彰ヲ行ヒタルトキハ之ヲ告示ス

被表彰者ノ申請ニ依リ其ノ物件ニ對シテハ相當ノ紹介ヲ爲スコトアルヘシ

附　則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

訂（靜岡令一七五號）

●昭和五年行幸記念表彰資金規程

告示第一號（昭和六年一月八日）

昭和五年行幸記念表彰資金規程左ノ通定ム

昭和五年行幸記念表彰資金規程

第一條　昭和五年　天皇陛下本縣下行幸ニ際シ下賜セラレタル金六千圓ヲ基金トシテ昭和五年行幸記念表彰資金ヲ設置ス

第二條　本資金ハ永久ニ之ヲ保存シ資金ヨリ生スル收入ハ自治、敎育、統計、產業、土木、警察、衞生、社會事業、其ノ他ニ關シ成績拔群ナル公私團體若ハ個人ニ對シ授與スヘキ最高表彰ノ資ニ充テ仍殘餘ヲ生シタルトキハ之ヲ資金ニ編入シ又ハ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第三條　本資金ハ郵便官署若ハ確實ナル銀行ニ預入レ又ハ公債證書トシテ管理スルモノトス

附　則

本規程ハ昭和五年度ヨリ之ヲ施行ス

●公益ノ爲金品竝土地建物其ノ他ノ物件寄附者行賞ニ關スル件

官第三九七號知事官房祕書課長通牒（昭和四年十月二十四日）

市町村長宛

公益ノ爲金品竝土地建物其ノ他ノ物件ヲ寄附シタル者行賞ノ爲報告ノ際ハ今後必ス左記書類ヲ添附相成度

記

一、寄附採納決議書謄本　壹通

（但シ千圓以上ニ亙ル寄附ノ場合ハ貳通）

●寄附者行賞ニ關スル添附書類ノ件

官第六八五號知事官房祕書課長通牒（昭和七年十二月二十日）

市町村長　官國幣社宮司寺

從來公益ノ爲金員物件等寄附シタル者ニ對スル賞與上申ニ際シテハ寄附申込書、決議書、採納許可書等ハ特種ノ場合ヲ除キ其ノ必要ナカリシモ近來賞勳局ニ於テ尊常ノモノニ對シテモ添附方照會有之候條今後右寄附ニ對シテハ物件タルト金員タルトヲ問ハズ總テ添附相成樣致度爲念

第七章　雜則

●靜岡縣普通試驗細則

告示第四百七十四號（昭和二年七月十九日）

靜岡縣普通試驗委員ハ靜岡縣普通試驗細則ヲ左ノ通定メタリ

靜岡縣普通試驗細則

第一條　試驗ハ筆記及口述トス

筆記試驗ヲ分チテ第一次筆記試驗及第二次筆記試驗トス

第二條　第一次筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ第二次筆記試驗ヲ受クルコトヲ得ス　第一次筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第三條　筆記試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　國語
二　漢文
三　數學（算術）
四　地理（日本地理、外國地理）
五　歷史（日本歷史）
六　憲法
七　行政法

以上ノ科目ハ必須トス

一　民法（總則）
二　刑法
三　經濟學

以上ノ科目ハ受驗者ヲシテ豫メ其ノ一ヲ選擇セシム

第四條　第一次筆記試驗ハ前條第一號乃至第五號第二次筆記試驗ハ同第六號第七號及選擇科目中受驗者ノ選擇シタル科目ニ就キ之ヲ行フ

第五條　口述試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　憲法
二　行政法
三　選擇科目中受驗者ノ選擇シタル科目

第六條　試驗ハ各科目百點ヲ以テ滿點トシ平均六十點以上ヲ合格トス但シ一科目四十點未滿ノモノアルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條　試驗ノ期日場所及科目ハ豫メ官報、本縣公報及本縣下ニ於テ發行スル二種以上ノ新聞紙ニ試驗委員長之ヲ公告ス

第八條　試驗ヲ受ケントスル者ハ受驗願書（第一號樣式）ニ左記書類竝ニ出願前一年內ニ帽ヲ脫シテ撮影シタル手札形寫眞（裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ）ヲ添ヘ試驗委員長ニ提出スヘシ

一　履歷書（第二號樣式）
二　戶籍抄本

受驗願書ニハ選擇科目ヲ記載スヘシ

第九條　受驗手數料（貳圓）ハ收入印紙ヲ用ヒ受驗願書ニ貼附スヘシ但シ消印スヘカラス

第十條　受驗願書、添附書類及受驗手數料ハ試驗ヲ受ケサルコトアルモ之ヲ返付セス

第十一條　受驗者試驗當日開試ノ時間迄ニ出席セス又ハ試驗中途ニテ退場シタルトキハ其ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十二條　受驗者ハ試驗委員長ノ告示其ノ他試驗委員ノ指示ヲ遵守スヘシ

第十三條　普通試驗ノ合格者ニハ合格證書（第三號樣式）ヲ附與シ且其ノ氏名ヲ官報及本縣公報ニ公告ス

第十四條　本則ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ試驗委員長之ヲ定ム

第一號樣式　受驗願書式（用紙美濃紙）

貳圓收入印紙消印スヘカラズ

受驗願書

一、選擇科目（　　）

私儀普通試驗相受度候ニ付別紙履歷書戶籍抄本及寫眞相添へ此段相願候也

年　月　日

氏　　名印

靜岡縣普通試驗委員長氏名殿

第二號樣式　履歷書式（用紙美濃紙）

履歷書

本　籍

現住所

族　籍　戶主又ハ戶主トノ續柄

氏　　名

生年月日

學事

一、何年何月　何學校卒業

一、何年何月　ヨリ何年何月迄何地何々ニ就キ何學ヲ修ム

職　業

一、何年何月何日　何官拜命（月俸何圓）

一、何年何月何日　退官又ハ退職

賞　罰

一、何年何月何ニ依リ何賞（若ハ何罰）ヲ受ク

右之通相違無之候也

年　月　日

氏　　名印

記載注意事項

イ　學事ハ最後ニ卒業セシ學校若ハ目下在學中ニ屬スルモノハ其ノ學校名ヲ記載スルコト

ロ　賞罰ハ經歷上特ニ重要ナル事項ニ限リ記載スルコト

第三號樣式　合格證書式

合格證書

族　籍

氏　　名

生年月日

右ハ本縣施行ノ普通試驗ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日

靜岡縣普通試驗委員長位勳　氏　　名印

訂（靜岡令一七五號）

●官紀ノ肅正行政ノ改善ニ關スル件

靜岡縣訓令甲第十七號（昭和九年八月七日）

知事官房　內務部　學務部　土木部
警察部　警察署　縣立學校　試驗場
種畜場　測候所　農業取締所
鑛極定所　土木出張所　清水港務所
財務出張所　奬文館　三方原學園
縣立病院　官園農社　縣社　市役所
町村役場

官紀ノ肅正行政ノ改善ニ關シ今回左記ノ通內閣訓示號外及內務省訓令號外ヲ以テ官吏ノ戒ムヘキ所ヲ訓示セラルヽ所アリ右ハ獨リ官務ニ從フ者ノミナラズ苟モ職ヲ公ニ奉ズル者ノ齊シク依遵スヘキ所ナルヲ以テ銳意之カ趣旨ノ徹底ヲ期シ協力倂同シテ最善ノ成果ヲ擧グルコトニ努ムベシ

記

內務省訓令號外

警視總監
北海道廳長官
各府縣知事

官紀ノ肅正行政ノ改善ニ關シ今回內閣訓示號外ヲ以テ官吏ノ戒ムヘキ所ヲ訓示セラルル職ニ官務ニ從フ者ハ淸廉殿直一意其ノ職司ニ精勵シ訓示ノ趣旨實現ニ邁進スベシ殊ニ地方行政ノ局ニ當ル者ハ其ノ職務ノ關係上民間ト接觸スルコト最モ多キヲ以テ深ク其ノ擧止ヲ愼シミ常ニ公明ナル心事ト懇切ナル態度トヲ以テ事ニ當リ一般ナシテ之ニ親シミ之ヲ信ズルノ念ヲ厚カラシムルニ勉ムルヲ要ス謂フ迄モナク地方行政ノ要諦トスル所ハ之ヲシテ克ク地方ノ實情ニ卽セシムルニ在ルヲ以テ其ノ衝ニ當ル者ハ進ンデ民情ヲ審カニシ恒ニ思念ノ基礎ヲ公同ノ利害ニ置キ周到ノ考究ト用意トヲ竭クシ行政ヲシテ眞ニ國民生活ト緊密融合セシメンコトヲ期スベシ

以上ハ獨リ官務ニ在ル者ノミナラズ職ヲ公ニ奉ズル者ノ亦齊シク依遵スベキ所ナルヲ以テ管下市町村其ノ他ノ團體ニ對シテモ洽ク此ノ趣旨ヲ徹底セシメ以テ綱紀ノ肅正ト行政ノ振張トニ勉ムベシ

昭和九年七月二十八日

內務大臣　後藤文夫

內閣訓示號外

各官廳

今回揣ラズモ大命ヲ拜シ內閣ヲ組織スルニ際シ施政ノ大綱ヲ表明スル所アリ中ニ於テ特ニ官紀ノ肅正ト行政ノ改善トニ就テ言及セリ此ノ二項ノ徹底ニ關シテハ固ヨリ政府ニ於テ周到ノ方策ヲ講ズベシト雖モ一般官吏ノ協同ニ俟ツベキ所ナルニ顧ミ玆ニ所見ヲ述ベ進ムベキ途ヲ明ニセントス

政治ノ嚴肅公正ヲ確保シ政界ノ情弊ヲ矯メ國政ニ對スル國民ノ信賴ヲ高ムルニ就テハ先ヅ官紀ノ肅正ヲ以テ其ノ要ト爲サザルベカラズ官吏ハ深ク思ヲ此ニ致シ其ノ職司ニ應ジテ其ノ本分ヲ恪守シ忠順公正私心ヲ去リ私利ヲ離レ權勢ニ屈セズ情實ニ惑ハズ廉潔剛直ノ精神ト公明正大ノ態度トヲ以テ其ノ職責ノ遂行ニ勉メザルベカラズ殊ニ世事複雜ニシテ人心曲

訂（靜岡令一二三號）

●國體ノ明徴ニ關スル件

昭和十年八月八日
閣議決定
内閣總理大臣
岡田啓介

●選擧肅正同盟結成方ニ關スル件

昭和十年八月十七日
地第一八九〇號
警務部長通牒

●國際聯盟脫退ニ關スル詔書ノ聖旨方奉戴

昭和八年四月五日
告第一號
内閣告示

旨奉詔書ノ聖

昭和八年四月五日
内閣告示第一號

例規

第一編　例規

第七章　雜則

第一編　例規
第七章　雜則
三百三十五

例規
第一編
第七章　雜則
三百三十四

國ハ其ノ旨趣ニ賛同シ創設以來十有三年終始誠意ヲ以テ其ノ事業ニ協力シ來レリ然ルニ日支案件ノ一タヒ聯盟ニ附託セラレテヨリ十七箇月ニ亘リシ本件審議ノ經過ニ徴シ又其ノ結末トシテ本年二月二十四日臨時總會ノ採擇セル報告書ニ據ルニ聯盟カ帝國ノ正義公道ニ基キ現實ノ事態ニ即シテ東洋ノ平和ヲ確保スルノ外他意ナキ態度ヲ正視セサルコト判明シ且帝國ト多數聯盟國トノ間ニ於ケル國際聯盟規約等ノ解釋ニ就キ重大ナル意見ノ相違アルコト亦明白トナリ玆ニ帝國ト聯盟トハ平和維持ノ方策殊ニ東洋ノ平和確立ノ根本方針ニ關シテ全ク其ノ所信ヲ異ニスルコト瞭然タルモノアルニ至レリ是ニ於テ政府ハ東洋平和ノ確立ニ關スル帝國ノ使命ト滿洲國ノ獨立ヲ尊重シテ其ノ健全ナル發達ヲ促進スヘキ帝國ノ責任トニ稽ヘ更ニ我カ國運ノ將來ニ就テ愼重熟慮ヲ重ネタル後遂ニ斷乎トシテ聯盟ヲ離脫スルノ已ムナキヲ確信スルニ至レリ

然リト雖モ國際平和ノ增進ト世界文化ノ發達トニ貢獻スルハ帝國ノ傳統ニシテ且不動ノ國策ナリ向後モ尙依然トシテ人類ノ安寧福祉ヲ目的トスル國際事業ニ參與協力スルノ方針ヲ一貫シテ何等渝ハル所ナシ又敢テ東洋ニ跼蹐シテ偏安ヲ事トスルモノニアラス益友邦ノ諒ヲ敦クシ正義公道ヲ世界ニ宣布セムコトヲ期スルヤ固ヨリ言ヲ俟タス列國モ亦必スヤ帝國ノ採レル既定ノ根本方針カ世界ノ平和ヲ增進スヘキ唯一ノ方途タルコトヲ自覺スルニ至ルヘキヲ確信シテ疑ハサルナリ

但現下世界ノ各國ハ何レモ不安ノ深刻ナルモノアリ帝國亦其ノ圈外ニ超然タル能ハス加之東亞ノ複雜ナル政局ニ直面シテ滿洲國ノ建設事業完成ニ協力シ更ニ進ミテ日滿支三國和協ノ基ヲ開キ極東ノ康寧ヲ確立スルノ重責ヲ荷フ其ノ任太タ重ク正ニ是レ朝野奮起スヘキノ秋ナリ古來我カ國民ハ艱難ニ遭遇スルヤ必ス之ヲ克服シ轉禍爲福ノ成果ヲ收メサルナシ是レ國史ノ示ス所ニシテ國運ノ興隆窮リナキ所以實ニ此ニ存ス今此ノ難局ニ逢著シ我カ官民深ク詔書ノ　聖旨ヲ肝銘シテ擧國一心皆其ノ本務ニ勵精シ大ニ綱紀ヲ張リ殿ニ荒怠ヲ戒メ固陋ノ偏見ニ囚ハレス矯激ノ思想ニ惑ハス質實剛健自力更生ノ意氣ヲ以テ帝國使命ノ遂行ニ勇往邁進セハ　明治天皇ノ偉業ハ昭和ノ聖代ニ於テ更ニ一段ノ恢弘ヲ加フル所アルヘク由テ以テ人類ノ幸福ニ寄與シ　聖旨ニ副ヒ奉ル所アルハ本大臣ノ深ク全國民ニ期待スル所ナリ

昭和八年三月二十七日　　內閣總理大臣　子爵　齋藤　實

●戶籍ノ抄本ヲ以テ戶籍ノ謄本ニ代用方ノ件

庶第一二〇八號內務部長通牒（昭和八年十一月十一日）

市町村長　縣立學校長宛

標記ノ件ニ關シ曩ニ（大正十四年三月二十七日地第四〇二號）及通牒置候處右ニ關シ今般內務大臣官房文書課長ヨリ別紙寫ノ通リ司法次官ヨリ申越有之タル趣キニ付之カ趣旨ノ徹底ニ努メラレ候樣御配意相成度候

（寫）

內務省司書第五號

昭和八年十月十二日　　內務大臣官房文書課長

各地方長官殿

戶籍ノ抄本ヲ以テ戶籍ノ謄本ニ代用方ノ件

訂（靜岡令二三七號）

標記ノ件ニ關シテハ大正十四年三月十九日付內務省司書第一號ヲ以テ及通牒置候次第モ有之候處右ニ關シ今般司法次官ヨリ重ネテ別紙寫ノ通申越ノ次第有之候ニ付テハ右夫々關係ノ向ヘ御通達ノ上之カ趣旨ノ徹底ニ努メラレ候樣御配意相成度依命此段及通牒候也

司法省民事局民事甲第九三七號

昭和八年九月二十五日　　司法次官　皆川治廣

內務次官潮惠之輔殿

戶籍ノ抄本ヲ以テ戶籍ノ謄本ニ代用方ノ件

貴廳御主管ノ事務ニ關シ絕對ニ戶籍ノ謄本ヲ必要トスル場合ノ外可成戶籍ノ抄本ヲ以テ代用セラレタキ旨大正十四年一月十二日付民事第一三〇三四號ヲ以テ及御照會置候處其ノ趣旨今尙徹底セサル向アルヤニテ當務者ヨリ之カ勵行方稟請有之候條貴廳所管各官廳及學校等ニ對シ更ニ右趣旨御通達方御取計相成度此段及照會候也

●廢兵器無償下附願出ニ關スル件

地第一四六八號總務、學務部長通牒（昭和十年六月二十日）

市町村長宛

從來市町村長在鄉軍人分會等ヨリ願出ラルル廢兵器無償下附ニ關スル書類ノ形式ニ付テハ別段定メラレタルモノ無之從テ之カ體裁區々ニ渉リ取扱及詮議上不便尠カラザルニ付自今別紙樣式ニ依リ願出ツル樣示達方今般海軍省副官ヨリ申越候趣ヲ以テ其ノ筋ヨリ通牒有之候條部內一般ニ周知方御取計相成度

地發乙第一二九號

昭和十年五月二十八日　　內務省地方局長

北海道廳長官

各府縣知事殿

廢兵器無償下附願出ニ關スル件

從來市町村長在鄉軍人分會等ヨリ願出テラルル廢兵器無償下附ニ關スル書類ノ形式ニ付テハ別段定メラレタルモノ無之從テ之カ體裁區々ニ渉リ取扱及詮議上不便尠カラサルニ付自今別紙樣式ニ依リ願出ツル樣示達方今般海軍省副官ヨリ申越有之候ニ付御部內一般ニ周知方御取計相成度此段及通牒候也

別紙

年　月　日

出願人住所氏名印（市町村長、學校長、若ハ帝國在鄉軍人會分會長等公共團體代表者）

海軍大臣宛

廢兵器無償下附ノ件出願

一、出願理由
一、備付場所　　記載ノコト
一、工事完成期日
一、下附希望品名

一、縣廳及最寄鎭守府經由ノコト
一、要スレハ設計略圖添附ノコト
備考　設計其ノ他變更ノ場合モ本樣式ニ準ズルコト
（圖略ス）

訂（靜岡令二三七號）

●旅客運賃割引ノ件

文第五九號知事官房文書課長通牒（昭和九年十月二十五日）

市町村長　警察署長　公私立學校長
公私立青年訓練所主事宛

首標ノ件ニ關シ今般内務大臣官房文書課長ヨリ左記ノ通リ通牒有之候條可然御取計相成度

記

官公衙カ主催トナリ帝國在鄕軍人會員、消防組員、消防署員、青年團員、青年訓練所生徒又ハ學校ノ學生、生徒、敎員ノ大會ヲ開催スルトキハ九月二十二日官報掲載ノ通四百名以上往復旅行ヲ爲ストキハ二、三等旅客運賃ノ二割ヲ、千名以上ノトキハ三割ヲ、一萬名以上ノトキハ四割ヲ低減スルコト、相成候間關係ノ向ニ御通報相成度

追而本件ノ運賃割引ハ其ノ都度主催者ノ申出ニ依リ當方（鐵道省）ト協議ノ上決定スヘキモノニ付併セテ御了知相成度

●非常災害對策ニ關スル件

社第八七六號學務、總務、土木、警察部長通牒（昭和十年八月三十日）

市町村長宛

標記ノ件ニ關シテハ客年八月二十三日社第八七六號ヲ以テ依命通牒致置キタル次第モ有之貴職ニ於テモ十分御留意ノ事トハ存候得共客秋ノ關西地方風水害又ハ本年七月ノ縣下靜岡、淸水地方ノ震災ヲ始メトシ昨今全國各地ニ頻々トシテ悲慘ナル災害勃發シ多クノ生命財産ヲ失ヒ幾多ノ悲慘事ヲ惹起シ精神的物質的ニ與フル打擊ハ洵ニ尠少ナラズ。之等災害ハ何レモ突發的ノモノナルヲ以ツテ其ノ被害ヲ出來得ル限リ小ナラシメンカ爲ニハ常ニ周到ナル注意ヲ繞シ一朝有事ノ場合ニ善處スル用意ヲ怠ラザルト共ニ之ヲ未然ニ防止スルノ對策ヲ講究スルノ要アリ。殊ニ非常災害ニ遭遇シタル場合ノ措置ノ如キ豫メ之ヲ想定シ各方面協力シテ災害時ノ演習ヲ行ヒ時々訓練ヲ爲スガ如キハ最モ緊要ノ事ニ有之候條左記各項御參照ノ上萬遺憾ナキヲ期セラレ度

記

一、避難救護關係

一、危險狀況ヲ迅速ニ部内ニ報告スル方法ノ研究

二、安全地帶ノ選定及避難方法ノ研究練習

三、救濟物品（食料、飮料水、被服、寢具燈火）ノ準備及配給方法ノ研究

四、負傷者ノ治療手段

五、通信連絡、物資運輸方法ノ考究

六、罹災救助ノ基本調査（調査表ハ別紙樣式ニ依リ調査シ置クコト）

以上ノ各方法ヲ最モ敏速且圓滑ニ行フニハ市町村ニ特ニ災害救濟團體等ヲ設クルヲ適切ト認メラルヽニ付出來得ル限リ市町村ノ事情ニ適應セル團體ヲ作ル事尙賀茂郡下田町非常災害對策計畫書、救護員心得ハ大體適當ナルモノト認メラルルニ付參考迄ニ添附ス

二、水防關係

一、水害豫防組合及水防組合等ニ於テハ水防設置規程ノ定ムル材料ノ整備ヲナスコト

二、右組合ノ設置ナキ町村ニ於テハ水防設備規程ニ準據シ可成組合ヲ

訂〔靜岡令二三八號〕

設置シ若ハ之ニ準シ左ノ準備ヲナスコト

(1)水防用具材料

材料（中聖牛、機械網鐵線、蛇籠、棕梠繩、杉太丸、空俵、二子繩、鐵線、松明、持溜石等

器具（旗、高張提灯、手提電燈又ハ瓦斯燈、鋸、鉈、斧、鎌、ペンチ、振鈴、掛矢、竿等

(2)　右ノ點檢及數量ノ充實

(3)　人員ノ整備

三、警察署長、土木出張所長及市町村長ハ相互ニ連絡ヲ緊密ニシテ水防組、水防組ノ在ラサル町村ニ在リテハ消防組等ニ對シ隨時水災防禦ニ關スル訓練ヲ爲スコト

訂〔靜岡令二三八號〕

樣式

罹災調査表

調査番號	第　　號	職業	戸數割　一ヶ年　圓　錢
住所		被害種別	
男	女	老	幼
計			
續柄 世帶主	氏名	男女別	年齡
人畜死傷者ノ有無			
田畑浸水又ハ流失被害段別		農産物被害見積額	
避難先			
保險會社名		保險金額	圓
其ノ他ノ參考			

備考

一、被害種別欄ハ全流失半流失、床上浸水床下浸水、全潰、半潰等ノ別記入ノ事
二、年齢欄ハ滿年ニ依ルコト
三、田畑浸水又ハ流失被害段別欄ハ田畑ニ夫々區別スルコト
四、農産物被害見積額欄ハ米、麥等夫々區別スルコト
五、戸數割ヲ賦課セサル市町村ハ之ニ代ルヘキ稅ノ賦課額ヲ記入スルコト
六、本表ハ一戸一葉使用ノ事

下田町非常災害對策計畫書

下田町ハ非常災害對策トシテ左記ノ通リ計畫ス

但シ下田町ハ地勢上水防關係ハ比較的稀薄ナレバ主トシテ海嘯地震火災等ヲ對照トス

第一　避難救護

(一)　危險ノ速報

イ、半鐘ヲ亂打スルコト
ロ、サイレンヲ長鳴スルコト
ハ、要所ニ掲示スルコト
ニ、各區ニ布達スルコト
ホ、警備員ガ速報スルコト
ヘ、海嘯ノ虞アル場合ハ城山公園蓮杖臺ニ在ル見張所ニ於テ警備員警戒シ速報ニ任ズルコト

(二)　安全地帶ノ選定及避難方法ノ研究練習

イ、避難所トシテ左ノ通リ選定シ之ヲ町民ニ周知セシム

區別	避難所	避難スベキ住民地域
1	稻田寺、海善寺幼稚園	須崎町、連尺町、新田町、嚴小路町
2	海善寺八幡神社	長屋町、町店町、紺屋町、池之町
3	了仙寺長樂寺	大工町、彌次川町、坂下町、七軒町
4	大安寺、本覺寺天理教會	中原町、原町、伊勢町、二丁目、三丁目、上田町、廣岡町

ロ、各家庭ニ於テ避難方法ニツキ糧食、衣服、避難所、婦女老幼病者ノ救護等各自研究ノ上、平素家族ニ徹底セシメ置クヤウ時々注意スルコト
ハ、毎年九月一日ノ震災記念日ニ於テ左記事項ヲ行フコト
1、非常災害對策ニ關スル印刷物ヲ配付スルコト
2、避難法等ニ付講話ヲナスコト
3、非常災害對策計畫ニツキ實地演習ヲナスコト
4、災害豫防ニ關シ功勞アリタル下田奉行今村傳四郎正長公ノ墳墓ニ各種團體及町民一班參拜スルコト

訂〔靜岡令二三八號〕

5、酒ナシデートシ粗食ニ甘ンジ災害ヲ追憶シ平素ノ生活ヲ戒ムルコト

(三)　救濟物品ノ準備及配給方法

イ、非常時ニ於ケル食料品供給者ヲ毎年町內商店ヨリ指定シ置キ毎月在庫高ノ左記科目ニヨリ調査シ置クコト

一、米、麥其他雜穀　二、味噌　三、醬油
四、鹽　五、罐詰　六、漬物

ロ、非常時ニ於テ救急藥ノ供給ヲ受ケントスヘキ藥種商ヲ町內ニ選定シ置クコト

ハ、避難所附近井水ノ水質檢査ヲナシ飲料ニ適否ノ表示ヲナシオクコト

ニ、非常時ニ於テ町內ヨリ救濟物品ノ徵發ヲナシ能ハザル時ハ近鄕町村ヨリ供給ヲ乞フコト

ホ、非常時ニ於テハ女子靑年團員ニ焚出ノ任ニ當ラシムルコト

ヘ、非常時ニ於ケル救濟品ノ配給ハ別項記載ノ食糧係ヲ通ジテ之ヲ行フコト

(四)　負傷者ノ治療手段、病者ノ救療方法

イ、下田町消防組救護係ヲシテ應急手當ニ當ラシム
ロ、下田町醫師會ニ嘱シ本部詰醫療班竝ニ巡回醫療班ヲ組織シ、救療係ヲ助手トシテ救療ニ任セシム

(五)　通信連絡物資運輸方法

イ、平素町內竝ニ町外自動車業者ヨリ乘用車五臺、トラック十臺ノ供給ヲ指定シ置キ非常時ニ際シテハ速カニ本部ニ集合セシム

訂〔靜岡令二三八號〕

ロ、通信連絡係ヲ任命シ置キ內五名ハオートバイ、其他ハ自轉車係トシ非常時突發ト共ニ本部ニ集合セシム

ハ、非常時突發ニ際シテハ連絡係ヲシテ速カニ近鄕及縣廳ニ之ヲ報告シ救援ヲ求メシム

ニ、下田町オートバイクラブニ非常時ニ於ケル協力ヲ嘱シ置クコト

(六)　罹災救助基本調查方法

イ、豫メ罹災者連名簿用紙ヲ作成シ置キ非常時突發ト共ニ消防組係員(別紙計畫ニヨル)ヲシテ各避難用紙ニツキ罹災者連名簿ヲ作ラシム

ロ、庶務係ニ於テ別紙樣式ニヨリ豫メ用意セル基本調查用紙ヲ以テ基本調查ヲナサシム

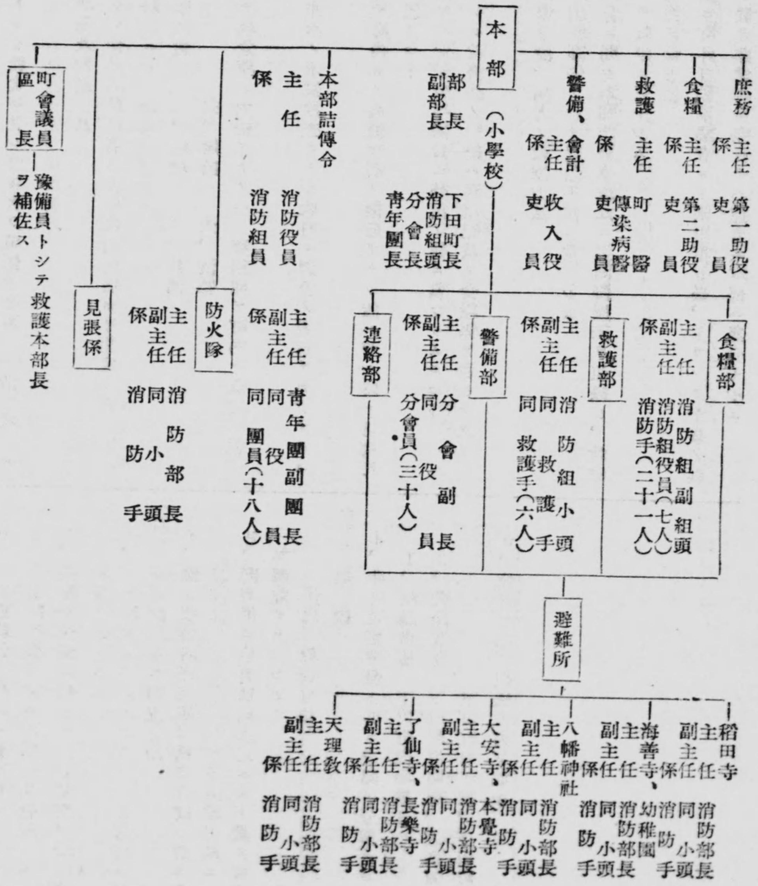
第二　救護方法

(一)　組織

イ、非常災害突發ト共ニ左記ノ分掌ニヨリ救護本部ヲ組織ス

1、救護事務　下田町役場擔任
2、救護實務　下田町消防組、在鄕軍人　下田町分會
　下田町靑年團、下田町女子靑年團分擔

ロ、救護本部ノ組織左表ノ如シ



訂〔靜岡令二三八號〕

（二）各係ノ任務

1、事務部

（一）庶務係

イ、救護計畫ニ關スル件

ロ、通信連絡ニ關スル件

ハ、其他庶務一班

（二）食糧係

イ、救護用品ノ蒐集ニ關スル件

ロ、救護用品ノ配給ニ關スル件

ハ、運輸ニ關スル件

ニ、救護所ニ關スル件

（三）救護係

イ、傷病者救療ニ關スル件

ロ、行方不明者、死亡者ニ關スル件

ハ、衞生ニ關スル件

（四）警備、會計係

イ、警備ニ關スル件

ロ、會計ニ關スル件

2、救護實務部

（一）食糧部

イ、救護用品（食料、衣服、飲料水）ノ蒐集ニ關スル件

ロ、救護用品ノ配給ニ關スル件

ハ、救護用品ノ輸送ニ關スル件

（二）救護部

イ、傷病者ノ救療ニ關スル件

ロ、行方不明者死亡者ニ關スル件

ハ、衞生ニ關スル件

（三）警備係

イ、警備ニ關スル件

ロ、風紀ニ關スル件

（四）連絡係

イ、通信連絡ニ關スル件

各係ノ執務計畫順序ニ關シテハ別ニ細則ヲ以テ定ム

（三）係ノ任命

各係ノ任期ハ一ケ年トシ毎年九月一日更新スルモノトス但シ再任ヲ妨ゲズ

救護員心得

一般心得

一、救護員ハ避難ニ當リテハ一般避難者ヲ保護シ殊ニ老幼病者ヲ救援收容シナガラ避難スルコト

二、服裝ニ注意シ直ニ救護員トシテ奉務シ得ルヤウアリテナイコト

三、平素周到ニ用意シ置キ沈著敏捷ニ活動スルコト

四、各自ノ家族等ノ避難收容ヲ終ツタ時ハ直チニ本部小學校ニ集合シ救護員ノ任ニツクコト

本部心得

一、第一ニ災害ノ狀況ヲ精査シ警察ト連絡ノ上縣廳及近村ヘ連絡報知

訂〔靜岡令二三八號〕

スルコト

二、計畫書ニ基キ救護員ヲ督勵連絡シツツ救護計畫ノ樹立ト實施ニ努ムルコト

三、救護員ノ召集集合狀況ニ留意スルコト

食糧係

一、豫メ指定シアル自動車ヲ徵發スルコト

二、自動車用ガソリンヲ徵發スルコト

三、荷車ヲ集メルコト

四、避難者名簿ニヨリ救護物品ノ配給計畫ヲ樹テルコト

五、豫テ用意シアル商人ヨリ食糧品ノ徵發ヲナスコト

六、迅速ニ救護品ヲ配給スルコト

七、近鄉ヘ救護物資ノ補給ニツキ連絡スルコト

救護係

一、避難ニ際シテハ特ニ傷病者ノ救護ニ留意スルコト

二、救療物品ヲ徵發スルコト

三、擔架及擔架代用戶板ヲ徵發スルコト

四、避難所及町内ヲ巡視シ應急處置ヲナシ重症者ハ本部ニ收容スルコト

五、町内ノ衞生狀態ヲ調査スルコト

六、清潔、衞生保持對策ヲ樹テルコト

七、避難所巡回救療班ノ巡回ヲナスコト

八、救療物資ノ補充計畫ヲナスコト

警備係

一、本部集合ト共ニ訓練所備付ノ銃ヲ執リ主任ノ命ニ依リ各部署ニツクコト

二、警戒線ニ警戒ヲ要スル人物現レタルトキハ誰何シ不審ナルモノハ本部ニ連行スルコト

三、町内ヲ巡察シ落伍者、盜賊其他ノ保安狀況ヲ調査スルコト

四、流言蜚語ノ嚴重取締ヲナスコト

連絡係

一、避難ニ當リテハ自轉車等ヲ携行セス身輕ニテ他人ヲ救護スルコトヲ專念スルコト

二、避難民收容後自轉車又ハオートバイヲ徵發シ本部ヘ集合スルコト

避難所係

一、避難民連名簿ヲ速カニ造リ本部ヘ報告スルコト

二、焚出ノ準備ヲナスコト（釜、臿、餅箱、餅箱代用戶板等）

三、傷病者ヲ本部ヘ報告スルコト

四、離散セル家族ヲ集合スルヤウ配慮スルコト

防火隊

一、防火器具ノ準備ト人員ヲ整備スルコト

二、火災ノ程度ニヨリ本部ヘ救援ヲ求ムルコト

見張係

一、本部ノ命ヲ待チ部署ニツクコト

二、海嘯發見ノ時ハ警鐘ヲ打ツト共ニ大聲ヲ發シ急告スルコト

第一編　例規（終）

訂（靜岡令二三八號）

第二編

議員選舉

第二編　議員選舉

第一章　衆議院議員

●衆議院議員選舉事務取扱規程

靜岡縣訓令甲第十八號（昭和三年七月九日）

沿革　昭和一〇年一二月訓令甲第二五號改正

（總務部　警察部　警察署　市役所　町村役場　選舉長　開票管理者　投票管理者）

昭和二年六月靜岡縣訓令甲第二十一號衆議院議員選舉事務取扱規程左ノ通改正ス

衆議院議員選舉事務取扱規程

第一章　總則

第一條　本規程ニ於テ選舉法トハ衆議院議員選舉法ヲ施行令トハ衆議院議員選舉法施行令ヲ施行規則トハ衆議院議員選舉法施行規則ヲ謂フ

第二條　本規程ニ於テ不在投票トハ衆議院議員選舉法第三十三條ノ投票ヲ謂フ

第二章　選舉人名簿

第三條　選舉人名簿用紙ハ名簿調製期日前市町村長ニ之ヲ交付ス

第四條　市町村長選舉人名簿縱覽ノ場所ヲ告示シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

前項ノ告示ハ別記第一號樣式ニ依ルヘシ

第五條　選舉人名簿ニ登載セラレタル者ニシテ其ノ名簿調製期日後左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ市町村長ハ直ニ選舉人名簿ニ其ノ年月日及事由ヲ附箋スヘシ其ノ變更ヲ生シタルトキ其ノ他選舉人名簿整理上必要アル場合亦同シ

一　死亡

二　選舉權ノ喪失

三　住居又ハ氏名ノ變更

選舉人名簿ノ縱覽開始後誤記又ハ誤載アリタルコトヲ知リタルトキハ其ノ旨附箋スヘシ

第六條　選舉人名簿ニ登載セラレタル者投票區域外ニ住居ヲ移シタルトキハ選舉人名簿ヲ管理スル市町村長又ハ投票管理者ハ其ノ旨轉住地ノ市町村長ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ住居ヲ移シタル者ニシテ第五條第一項第一號乃至第三號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ選舉權ヲ喪失シタル者其ノ後選舉權ヲ有スルニ至リタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ管理スル市町村長又ハ投票管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

選舉人名簿ニ登載セラレタル者縣外ニ住居ヲ移シタルトキハ選舉人名簿ヲ管理スル市町村長又ハ投票管理者ハ轉住地ノ當該行政廳ニ對シ前項ニ定ムル事項ニ付通知ヲ求ムヘシ

第七條　施行令第五條第二項ノ規定ニ依ル報告ニハ修正ニ關スル告示ノ寫及決定書又ハ確定判決書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　選舉人名簿確定シタルトキハ市町村長ハ直ニ左ニ揭グル事項ヲ處理スヘシ

一　卷末ニ施行規則第一條別記樣式確定文ヲ記載スルコト

二　綴合目ニ契印ヲ押捺シ餘白ニハ斜線ヲ引キ職印ヲ押捺スルコト

三　登載人數及點字投票不在投票又ハ施行令第二十七條第二項ニ依ル投票者ノ見込數ヲ別記第二號樣式ニ依リ知事ニ報告スルコト

市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタルトキハ市町村長ニ於テ各投票區ノ投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

第十二條　投票所ヲ市役所、町村役場以外ニ設クル場合ニ於テハ成ルヘク門戸アル場所ヲ選定スヘシ

第十三條　投票管理者投票所ノ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第十四條　市町村長ハ豫メ點字投票ノ印ヲ調製シ置クヘシ

第十五條　投票函及點字器ハ豫メ市町村長ニ不在投票者ニ交付スヘキ投票用紙特別投票者證明書用紙及封筒ハ選擧期日ノ公布又ハ告示前其ノ他ノ投票用紙及假投票用封筒ハ選擧ノ際投票管理者ニ交付ス

市町村長又ハ投票管理者前項ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ箇數又ハ枚數ヲ調査シ受領書ヲ知事ニ提出スヘシ

假投票用封筒及不在投票用封筒ハ施行規則第三條別記樣式各備考ニ依リ豫メ［投票所］印ヲ押捺シタルモノヲ交付スヘキニ付投票管理者之ヲ選擧人ニ交付セムトスルトキ當該欄ニ投票所名ヲ記入スヘシ

施行令第七條第二號ノ規定ニ依リ指定セラレタル投票管理者ニシテ市町村長ニ非サル者ハ選擧ニ際シ其ノ市町村長ヨリ投票函、點字器及點字投票ノ印ヲ受領スヘシ

第十六條　投票所ハ別記第三號樣式ニ準シ選擧人ノ多寡ニ應シ適宜之ヲ掛酌シ受付所、選擧人控所、選擧人名簿對照及投票用紙交付所、投票

訂（靜岡令二四一號）

第十一條　投票管理者ハ其ノ市町村吏員ノ中ニ就キ投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタルトキハ市町村長ニ於テ各投票區ノ投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

第十二條　投票所ヲ市役所、町村役場以外ニ設クル場合ニ於テハ成ルヘク門戸アル場所ヲ選定スヘシ

第十三條　投票管理者投票所ノ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第十四條　市町村長ハ豫メ點字投票ノ印ヲ調製シ置クヘシ

第十五條　投票函及點字器ハ豫メ市町村長ニ不在投票者ニ交付スヘキ投票用紙特別投票者證明書用紙及封筒ハ選擧期日ノ公布又ハ告示前其ノ他ノ投票用紙及假投票用封筒ハ選擧ノ際投票管理者ニ交付ス

市町村長又ハ投票管理者前項ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ箇數又ハ枚數ヲ調査シ受領書ヲ知事ニ提出スヘシ

假投票用封筒及不在投票用封筒ハ施行規則第三條別記樣式各備考ニ依リ豫メ［投票所］印ヲ押捺シタルモノヲ交付スヘキニ付投票管理者之ヲ選擧人ニ交付セムトスルトキ當該欄ニ投票所名ヲ記入スヘシ

施行令第七條第二號ノ規定ニ依リ指定セラレタル投票管理者ニシテ市町村長ニ非サル者ハ選擧ニ際シ其ノ市町村長ヨリ投票函、點字器及點字投票ノ印ヲ受領スヘシ

第十六條　投票所ハ別記第三號樣式ニ準シ選擧人ノ多寡ニ應シ適宜之ヲ施行令第九條ノ規定ニ依リ投票管理者及其ノ代理者故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定ムルヲ要スト認ムルトキハ前項ニ準ス

記載所竝投票場所等ヲ設備スヘシ

投票所ニハ振鈴又ハ擊柝及正確ナル時計ヲ備フヘシ

投票記載所ニハ筆、硯、墨及點字器等ヲ備フヘシ

第十七條　投票管理者投票所入場券及到著番號札ヲ交付セムトスルトキハ別記第四號樣式ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第十八條　投票管理者選擧人ヲシテ本人ナル旨ヲ宣言セシムル場合ニ於テ作製スル宣言書ハ別記第五號樣式ニ依ルヘシ

第十九條　投票管理者投票函ヲ閉鎖シタルトキハ其ノ內蓋及外蓋ノ鍮ハ各別ニ之ヲ强靱ナル封筒ニ入レ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ爲シ其ノ封筒ノ表面ニ內蓋ノ鍮又ハ外蓋ノ鍮ノ別、投票區名、送致者名ヲ記載スヘシ

第二十條　投票管理者投票函ヲ開票管理者ニ送致スル場合ニハ左ノ書類及物件ヲ提出スヘシ

一　別記第六號樣式ニ依ル送致書

二　同第七號樣式ニ依ル有權者調

三　同第八號樣式ニ依ル不在投票調

四　同第九號樣式ニ依ル投票用紙、特別投票者證明書用紙及封筒ノ精算書

五　剩餘又ハ汚損ノ投票用紙、特別投票者證明書用紙及封筒

六　選擧法第三十一條、施行令第二十一條又ハ同第三十四條ノ假投票アルトキハ其ノ拒否又ハ不受理ノ理由書竝證憑

前項ノ場合ニ於テ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人ハ別記第十號樣式ニ依ル差出書ヲ提出スヘシ

第二十一條　施行令第七條第二號ノ規定ニ依リ指定セラレタル投票管理者ニシテ市町村長ニ非サル者ハ投票終了後投票ニ關スル書類、點字器及點字投票ノ印ヲ其ノ市町村長ニ送致スヘシ

第二十二條　天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ所定ノ期日迄ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ旨及送致見込日時ヲ適宜速達ノ方法ヲ以テ開票管理者及知事ニ報告スヘシ

訂（靜岡令二四一號）

第四章　不在投票

第二十三條　投票管理者施行令第二十九條ノ規定ニ依リ投票用紙、投票用封筒又ハ特別投票者證明書ヲ交付シ又ハ郵送シタルトキハ直ニ其ノ旨選擧人名簿ニ附箋シ選擧ノ期日前之ヲ返還シタルトキハ附箋ニ其ノ旨記載スヘシ

第二十四條　投票管理者施行令第二十八條第一項但書ノ規定ニ依リ召集令狀ヲ提示シタル選擧人ニ投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタルトキハ別記第十一號樣式ニ依リ召集令狀ノ餘白ニ其ノ旨記載シ署名スヘシ

施行令第二十八條第三項ノ規定ニ依ル疏明ニ關シテハ投票管理者ハ別記第十二號樣式ニ依ル疏明書ヲ徵スヘシ

第二十五條　投票管理者又ハ特別投票管理者必要アルトキハ施行令第二十七條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ投票管理者ニ就キ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求シ得ヘキ時間又ハ施行令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ投票ヲ爲シ得ヘキ時間ヲ定メ別記第十三號樣式ニ依リテ之ヲ告示シ其ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

前項ノ告示ヲ爲シタルトキハ其ノ時間內ニ非サレハ投票用紙及投票用

封筒ノ交付ヲ爲シ又ハ投票ヲ爲サシムルコトヲ得ス

第二十六條　特別投票管理者ハ第十六條ノ規定ニ準シ投票記載ノ場所ヲ設備スヘシ

第二十七條　施行令第三十二條第三項又ハ第四項ノ想定ニ依ル投票ノ送致ハ確實ナル方法ニ依リ且投票所ヲ閉ツヘキ時刻迄ニ到達スル樣便宜速達ノ措置ヲ爲スヘシ

第二十八條　投票管理者ハ選擧人カ投票ニ使用セサリシ投票用紙及投票用封筒ヲ選擧期日後速ニ返還セシメ之ヲ知事ニ送致スヘシ

第二十九條　施行令第三十四條第三項前段ニ依リ投函シタル投票ノ投票用封筒ハ投票ニ關スル書類トシテ之ヲ取扱フヘシ

第五章　開票

第三十條　開票管理者開票ノ場所及日時ヲ告示シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第三十一條　開票管理者タル市長ハ市吏員ノ中ニ就キ開票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

知事ノ指定シタル官吏開票管理者タル場合ニハ知事ニ於テ開票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定ス

第三十二條　開票管理者投票函ノ送致ヲ受ケタルトキハ有權者及投票人ノ總數ヲ調査シ之ヲ知事ニ速報スヘシ

第三十三條　開票管理者投票函ノ送致ヲ受ケタルトキハ內蓋及外蓋ノ鎰ヲ入レタル封筒ノ封印ヲ檢シ各送致者ヲシテ封筒ヲ開披シ鎰ヲ取出サシメ更ニ其ノ者ヲシテ之ヲ他ノ封筒ニ入レ封印ヲ施サシメ其ノ表面ニ內蓋ノ鎰又ハ外蓋ノ鎰ノ別、投票所名、送致者名ヲ記載セシメテ之ヲ受領シ其ノ儘之ヲ確實ニ保管シ投票函ヲ開ク前開票立會人立會ノ上封印ヲ檢シタル後封筒ヲ開披スヘシ

第三十四條　開票管理者ニ於テ受理スヘシト決定シタル不在投票ノ投票用封筒ハ開票ニ關スル書類トシテ之ヲ取扱フヘシ

第三十五條　開票管理者ハ開票終了後遲滯ナク左ニ揭クル事項ヲ處理スヘシ

一　議員候補者ノ得票數ヲ知事ニ速報スルコト

二　左ノ書類又ハ物件ヲ知事ニ提出スルコト

(一)　別記第七號樣式ニ準シテ調製セル有權者調集計書

(二)　剩餘又ハ汚損ノ投票用紙特別投票者證明書用紙及封筒

(三)　別紙第九號樣式ニ準シテ調製セル投票用紙、特別投票者證明書用紙及封筒精算集計書

(四)　別記第十四號樣式ニ依ル開票調

(五)　知事ノ指定シタル開票管理者ニ在リテハ投票、投票錄、施行令第三十三條ノ顚末書及開票錄其ノ他ノ開票ニ關スル書類

(六)　市長タル開票管理者ニ在リテハ開票錄ノ謄本

三　知事ノ指定シタル開票管理者ニ在リテハ投票函ヲ町村長ニ返付スルコト

第六章　選擧會

第三十六條　選擧長選擧會ノ場所及日時ヲ告示シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第三十七條　選擧長選擧法第六十七條第五項ノ規定ニ依リ議員候補者ノ屆出、推薦屆出若ハ議員候補者タルコトヲ辭スルノ屆出又ハ議員候補

訂（靜岡令二四一號）

者ノ死亡シタルコトノ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出シ且其ノ選擧區內ノ警察署長ニ通知スヘシ

第三十八條　選擧長前條ノ告示ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ告示カ選擧期日ノ前日迄ニ投票管理者ニ到達セサル虞アル場合ニ於テハ便宜速達ノ措置ヲ爲スヘシ其ノ告示ヲ選擧ノ期日ニ於テ爲シタル場合亦同シ

前項ノ規定ハ施行令第五十條第一項及第三項ノ規定ニ依リ開票管理者ニ對シテ爲ス通知ニ之ヲ準用ス

第三十九條　選擧長ハ議員候補者其ノ屆出後住居ヲ他ノ市町村ニ移シタル場合ニ於テハ之ヲ屆出シメ且施行令第五十條第一項ニ準シテ新住居地ノ市町村長及其ノ選擧區內ノ開票管理者竝警察署長ニ通知スヘシ

第四十條　選擧長及關係開票管理者ハ協議ノ上議員候補者ノ被選擧權ノ有無ヲ調査スヘシ

第四十一條　第三十一條ノ規定ハ選擧會場ノ事務ニ從事スヘキ者ノ指定ニ之ヲ準用ス

第四十二條　選擧會ノ參觀ヲ求ムル選擧人アルトキハ選擧長ハ選擧人タルノ證憑ヲ提出セシムヘシ但シ市長選擧長タル場合ニ於テハ其ノ保管スル選擧人名簿ニ登載セラレタル選擧人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　選擧長選擧ノ顚末ヲ知事ニ報告スル場合ニハ選擧錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

選擧長官吏タル場合ニ於テハ前項ノ報告書ト共ニ選擧錄、選擧法第四十九條第三項ノ報告書類竝其ノ他ノ選擧會ニ關スル書類ヲ知事ニ提出スヘシ

第四十四條　選擧長選擧法第七十三條第三項ノ規定ニ依リ當選承諾ノ報告ヲ爲ス場合ニ於テハ當選承諾書ノ寫ヲ添附スヘシ

訂（靜岡令二四一號）

第七章　補則

第四十五條　投票管理者、開票管理者又ハ選擧長ニ於テ爲ス告示ハ各其ノ所屬廳ノ公告式ニ準スヘシ

市長選擧長タル場合ニ於テ前項ノ告示ヲ爲シタルトキハ其ノ選擧區內ノ市町村長ニ其ノ謄本ヲ送付スヘシ

市町村長前項ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ謄本ヲ當該市町村ノ公告式ニ準シ公告スヘシ

第四十六條　投票所、開票所及選擧會場ノ門戶ニハ各別記第十五號樣式ニ依ル標札ヲ揭クヘシ

第四十七條　投票管理者、開票管理者及選擧長ハ各其ノ事務ニ從事スル者ヲシテ投票所、開票所又ハ選擧會場ノ門戶及出入口等ノ取締ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ警察官吏ノ派遣ヲ求ムヘシ

第四十八條　投票錄、施行令第三十三條ノ顚末書、開票錄及選擧錄ハ各其ノ調製義務者ニ於テ其ノ謄本ヲ調製シ選擧人又ハ議員候補者ノ請求アリタルトキ之ヲ閱覽セシムヘシ

選擧長又ハ開票管理者官吏タル場合ニ於テハ選擧錄又ハ開票錄ノ謄本ハ知事ニ於テ之ヲ閱覽セシム

第四十九條　市町村長又ハ警察署長ニ於テ選擧事務長又ハ選擧委員ノ選任ノ屆出ニ添附スヘキ選擧權ヲ有スル者ナルコトノ證明ノ請求ヲ受ケタル場合其ノ者カ選擧權ヲ有スル者ナルコトヲ確認シ得ルトキハ直ニ證明書ヲ交付シ又ハ奧書證印ヲ爲スヘシ

前項ノ證明ハ別記第十六號樣式ニ依ルヘシ

第五十條　議員候補者ノ得票數選舉法第六十八條第二項ノ規定ニ該當セス且施行令第五十一條第二項ノ期間經過ニ依リ供託原因消滅シタルコトノ證明ハ知事之ヲ爲ス但シ知事ノ指揮ヲ得テ選舉長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　投票函、點字器及點字投票ノ印ハ市町村長ニ於テ之ヲ保管シ投票函及點字器修繕ノ必要アルトキハ其ノ旨及所要經費ヲ知事ニ報告スヘシ

附　則（昭和十年訓令甲第二十五號）

本規程ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

第二號樣式

衆議院議員選舉人名簿確定報告

名簿登錄人數	點字投票者見込數	不在投票者見込數	施行令第二十七條第二項ニ依ル投票者見込數

右及報告候也

昭和　年　月　日

何市(町村)長　氏　　名

知事宛

備考

一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタルトキハ投票區別ニ記載スベシ

別記

第一號樣式

名簿縱覽場所ノ告示

告示第　號

衆議院議員選舉法第十三條ノ規定ニ依リ（十一月五日ヨリ十五日間）何市役所（何町村役場又ハ何々）ニ於テ衆議院議員選舉人名簿ヲ縱覽ニ供ス

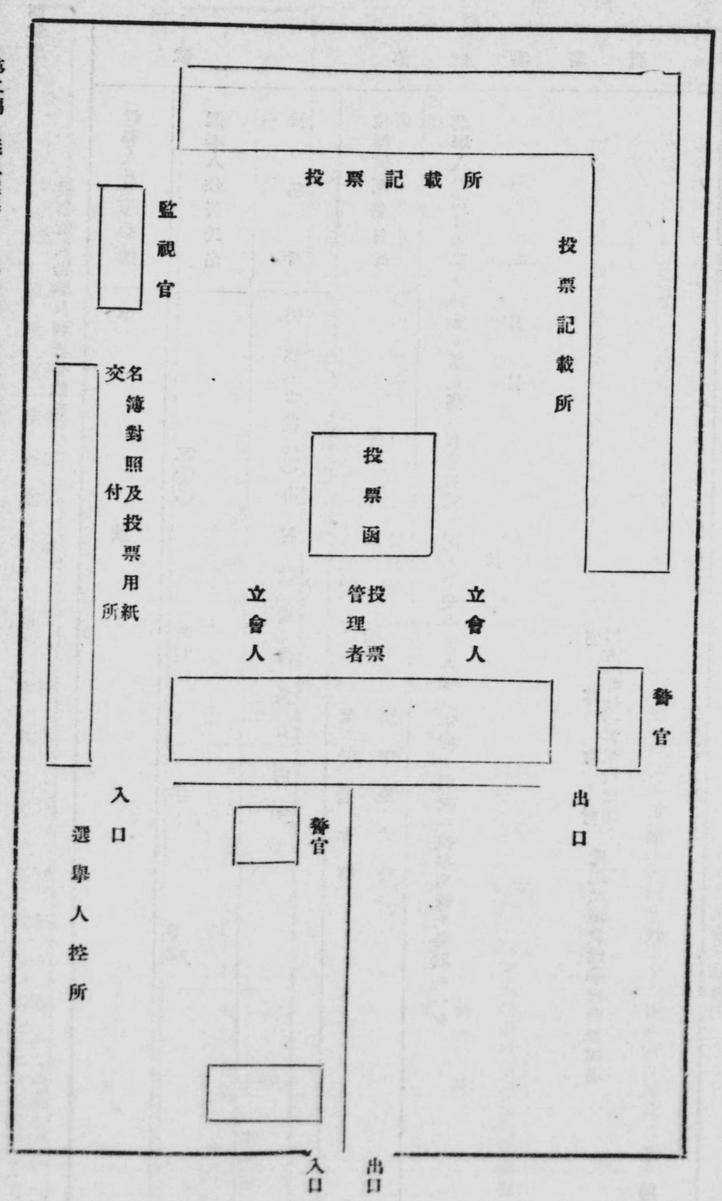
但シ縱覽時間ハ每日午前（九）時ヨリ午後（四）時迄トス

昭和　年　月　日　　何市（町村）長　氏　　名

訂（靜岡令二四一號）

第三號樣式

投票所圖面



訂（靜岡令一四七號）

第四號樣式

投票所入場券及到著番號札

選舉人名簿番號	第　　號
選舉人住居氏名	郡(市) 町村　　字　　番地 氏　　名
投票所	何郡(市役所)町村役場內又ハ何々
投票所開閉日時	年　　月　　日　自午前七時 至午後六時
第　　號	
番號著到	

選舉人ハ當日本券ヲ持參シ所定欄ニ到著番號ノ記入ヲ受ケテ入場シ本券ト引換ニ投票用紙ヲ受取ルヘシ

昭和　年　月　日

何郡
何市(町村)第何投票區　衆議院議員選舉投票管理者
町村

職氏名印

訂(靜岡令一四七號)

第五號樣式

宣言書

投票管理者　選舉法第二十五條第二項ニ依リ本人ナルヤ否ヲ確認スル能ハサルニ付何郡(市)何町(村)何誰ニ相違ナキコトヲ宣言スヘシ

選舉人　何郡(市)何町(村)ノ何誰タルニ相違ナシ依テ玆ニ宣言ス

第六號樣式

送致書

右御書取ノ上御讀聞カセ相成候處事實相違無之ニ付玆ニ署名候也

昭和　年　月　日　何投票所ニ於テ　何　某

第七號樣式

一、投　票　函　但シ外蓋ノ鑰封印ノ儘添附　壹箇

衆議院議員選舉有權者調（選舉期日現在）

名簿登載人數	同上ノ內選舉權ヲ有セサル者ノ數	死亡者	失格者	誤載者	確定判決ニ依リ入場シタル者ノ數	差引有權者數	同上內譯	投票者數	棄權者數	棄權歩合

訂(靜岡令二四一號)

一、投　票　錄　但シ宣言書何通衆議院議員選舉法施行令第三十三條ノ頭末書一通添附　壹通

一、選舉人名簿　何冊

一、衆議院議員選舉法施行令第三十六條ニ依リ送致スヘキ投票　何票

右投票立會人氏名ト共ニ送致候也

昭和　年　月　日

何郡
何市(町村)第何投票區　衆議院議員選舉投票管理者
町村

職氏名印

衆議院議員選舉開票管理者
官職氏名宛

第八號樣式

不在投票調

其ノ一　不在投票用紙及封筒ノ交付請求竝投票

施行令第二十六條各號ニ該當者

第一號該當者　第二號該當者　第三號該當者　第四號該當者　第五號該當者　第六號該當者　第七號該當者　第八號該當者

備考

一、特別投票者證明書ヲ交付シタル後當該選擧人ノ投票ヲ特別投票管理者ヨリ投票時限迄ニ送致ヲ受ケサル場合及選擧人ヨリ返還アリタル場合ハ其ノ數ヲ備考ト記載スルコト

二、不在投票ノ受理不受理關

受理	不受理	施行令第二十六條各號別	不受理ノ理由	選擧無效ナリト決定セルモノ	成規ノ投票用封筒ヲ用ヒサルモノ	所定ノ記載又ハ署名ナキモノ	（其他何々ノ事由ニ依ルモノ）
點字ニ依ラサルモノ		該第一當者號					
		該第二當者號					
		該第三當者號					
		該第四當者號					
		該第五當者號					
		該第六當者號					
		該第七當者號					
		該第八當者號					

三、不受理ト決定セシ不在投票關

シモノ受理	依點字ニ拒否セシモノ	拒否セシモノ	モノ
點字ニ依ラサルモノ			
拒否セシモノ			

第九號樣式

衆議院議員選擧投票用紙及封筒精算書

假投票用封筒	點字投票用紙	投票用紙	區別	受高	交付 總數	交付 內返還アリタルモノ	交付 內返還ナキモノ	殘 總數	殘 內使用ヘキモノ	殘 內使用サルモノ
							高		高	高

細別	出頭請求ニ依ルモノ 請求	出頭請求ニ依ルモノ 交付	出頭請求ニ依ルモノ 投票	郵便請求ニ依ルモノ 請求	郵便請求ニ依ルモノ 交付	郵便請求ニ依ルモノ 投票	召集令狀ノ提出ニ代ヘ提示ヲ以テノ證明書	疏明書ヲ徵シタルモノノ數	特別投票者證明書ニ依リ投票シタル旨ノ證明書ヲ交付シタル投票ノ數
員船									
他共									
員船									
他共									
保繼員道									
員取郵扱便									
共他									
者務選從舉事									
配者投者監票									
者締選從舉事									
軍陸人軍									
軍海人軍									

不在投票用封筒			
特別投票者證明書用紙			
特別投票者證明書封筒			

第十號樣式

差出書

一、投票函內蓋ノ鑰　壹箇

右封印ノ儘差出候也

昭和　年　月　日

何郡　町
何市(町村)第何投票區衆議院議員選擧投票立會人　名印

何郡(市)衆議院議員選擧開票管理者
官職　氏　名宛

第十一號樣式

召集令狀餘白記載例

衆議院議員選擧法施行令第二十八條第一項但書ニ依リ本召集令狀ヲ提示シ投票用紙及投票用封筒ヲ請求セルニ付昭和何年何月何日之ヲ交付シタリ

昭和　年　月　日

何郡　町　村
何市(町村)第何投票區衆議院議員選擧投票管理者　職　氏　名

第十二號樣式

疏明書

住居　何縣何郡(市)何町(村)大字何(町)何番地

職業　何々(成ル可ク明細ニ記載スルコト)

選擧人　氏　名

右ハ左ノ事由ニ依リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ至リ投票ヲ爲シ能ハサルモ(何々)ノ爲證明書ヲ提出スルコト能ハサルニ付其ノ旨玆ニ疏明候也

昭和　年　月　日

選擧人　氏　名

一、昭和何年何月何日午前後何時何丸(總噸數何噸)(積石數何石)ニ乘組ミ何港出帆何航路ヲ何地ヘ航海昭和何年何月何日午前後何時何港歸著

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何丸(總噸數何噸)(積石數何石)ニ乘組ミ何港出帆何地沖合ニ於テ何々漁業ニ從事シ(何々ニ從事シ)昭和何年何月何日午前後何時何港歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何驛發何鐵道何線鐵道列車ニ乘務シ昭和何年何月何日午前後何時何驛歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日午前後何時迄何郡(市)何町(村)(何々投票區)ニ於テ選擧事務(投票所監視)(選擧取締)(何々)ニ從事中〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日午前後何時迄演習召集(教育召集)ノ爲何部隊(何々)ニ召集中〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何艦船ニ乘組ミ何港出帆何地ヘ航海昭和何年何月何日午前後何時何港歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日(午前後何時)迄何郡(市)何町(村)大字何(町)何番地ニ於テ何々ノ業務ヲ營ム

訂〔靜岡令二四一號〕

右ハ左ノ事由ニ依リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ至リ投票ヲ爲シ能ハサルモ(何々)ノ爲證明書ヲ提出スルコト能ハサルニ付其ノ旨玆ニ疏明候也

昭和　年　月　日

選擧人　氏　名

一、昭和何年何月何日午前後何時何丸(總噸數何噸)(積石數何石)ニ乘組ミ何港出帆何航路ヲ何地ヘ航海昭和何年何月何日午前後何時何港歸著

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何丸(總噸數何噸)(積石數何石)ニ乘組ミ何港出帆何地沖合ニ於テ何々漁業ニ從事シ(何々ニ從事シ)昭和何年何月何日午前後何時何港歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何驛發何鐵道何線鐵道列車ニ乘務シ昭和何年何月何日午前後何時何驛歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日午前後何時迄何郡(市)何町(村)(何々投票區)ニ於テ選擧事務(投票所監視)(選擧取締)(何々)ニ從事中〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日午前後何時迄演習召集(教育召集)ノ爲何部隊(何々)ニ召集中〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時何艦船ニ乘組ミ何港出帆何地ヘ航海昭和何年何月何日午前後何時何港歸著〕

〔一、昭和何年何月何日午前後何時ヨリ昭和何年何月何日(午前後何時)迄何郡(市)何町(村)大字何(町)何番地ニ於テ何々ノ業務ヲ成ス可ク明細ニ記載スルコト)ニ從事中〕

訂〔靜岡令二四一號〕

府縣(北海道)何郡(市)何町(村)(町村名明ナラサルトキハ之ヲ省略スルモ妨ナキコト)ニ於テ其ノ例トスル所ニ從ヒ何々(職務又ハ業務ヲ成ス可ク明細ニ記載スルコト)ニ從事中〕

〔一、昭和何年何月(何日)ヨリ(昭和何年何月何日迄)頭書住居ノ地(何府縣(北海道)何郡(市)何町(村)(町村名明ナラサルトキハ之ヲ省略スルモ妨ナキコト)ニ於テ何々(職務又ハ業務ヲ成ス可ク明細ニ記載スルコト)ニ從事中〕

備考

一、歸著ノ豫定日時明確ナラサルトキハ大體ノ見込日時ヲ記載セシムヘシ

二、職業ノ記載ハ選擧人カ引續キ十日以上其ノ屬スル投票區所在ノ

第十四號樣式

衆議院議員選擧開票調

其ノ一　點字投票ニ關スル調

投票區名	點字投票				點字ニ依ル假投票				異議申立人別內譯
	總數	內譯 有效	內譯 無效	總數	內譯 受理セシモノ	內譯 受理セサリシモノ	本人ノ異議ニ依ルモノ	投票立會人ノ異議ニ依ルモノ	
何々投票區							投票セシムヘカラストスルモノ	投票セシムヘシトスルモノ	計
〃									
〃									
〃									
〃									
計									

備考　「點字ニ依ル假投票」中「受理セシモノ」ノ票數ハ「點字投票」中ニ算入スルモノトス

其ノ二　法第三十一條ノ假投票ニ關スル調

郡市外ニ於テ職務又ハ業務ニ從事スルヲ例トスル者ナルコトヲ明ナラシムヘシ

第十三號樣式

不在投票用紙竝同封筒ノ交付及投票時間ニ關スル告示

告示第　號

不在投票(衆議院議員選擧法第三十三條ノ投票)ニ要スル投票用紙及投票用封筒交付ノ請求及不在投票ヲ爲シ得ヘキ時間ヲ左ノ通定ム

毎日午前(九)時ヨリ午後(四)時迄

昭和　年　月　日

何郡　町　村
何市(町村)第何投票區衆議院議員投票
特別投票管理者　職　氏　名

投票區名	總數	受理不受理ニ依ル内譯 受理セシモノ	受理セサリシモノ	異議ニ依ル内譯 本人ノ異議ニ依ルモノ	投票立會人ノ異議ニ依ルモノ 投票セシムヘシトスルモノ	投票セシムヘカラストスルモノ	計
何々投票區							
〃							
〃							
計							

其ノ三　不在投票ニ關スル調

施行令第二十六條各號別　受理不受理及其ノ事由ノ決定

該當者	受理不受理及其ノ事由ノ決定
第一號該當者	投票管理者ニ於テ不受理ト決定セルモノニ付開票管理者ニ於テ受理スヘシト決定セルモノ
第二號該當者	投票管理者ニ於テ受理ト決定セルモノヲ選舉權アリト決定セルモノ
第三號該當者	投票管理者ニ於テ不受理ト決定セルモノニ付開票管理者ニ於テ不受理ト決定セルモノ
第四號該當者	（其ノ他何々ノ事由ニ依ルモノ）
第五號該當者	選舉權ナシト決定セルモノ
第六號該當者	成規ノ投票用封筒ヲ用ヒサルモノ
第七號該當者	所定ノ記載又ハ署名ナキモノ
第八號該當者	（其ノ他何々ノ事由ニ依ルモノ）

第十五號樣式

投票所標札

靜岡縣何郡（市）町（町村）第何投票區　衆議院議員選舉投票所

開票所標札

靜岡縣何郡（市）衆議院議員選舉開票所

訂〔靜岡令二四一號〕

靜岡縣第何區衆議院議員選舉會場

第十六號樣式

一、證明書ヲ交付スル場合

證明書

住居　職業　氏名

右ハ衆議院議員ノ選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ證明ス

昭和　年　月　日　何市町村長　何警察署長　氏　名印

二、奥書證印スル場合

右ハ衆議院議員ノ選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ證明ス

昭和　年　月　日　何市町村長　何警察署長　氏　名印

●衆議院議員選舉法第六條第三號ニ關スル件

庶第四六一號内務部長通牒（大正十五年八月十七日）

市町村長宛

大正十四年五月法律第四十七號衆議院議員選舉法第六條第三號ニ謂フ貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者トハ貧困ノ狀態ニ在ル者カ貧困ヲ原因トシテ國道府縣、市町村其ノ他公共團體又ハ私法人私人等ヨリ生活上全部又ハ一部ノ經濟的補助ヲ受クル者ノ義ニシテ左記第一號乃至第六號ニ揭クル如キモノヲ指稱シ第七號乃至第十九號ニ揭クルモノノ如キハ該當セサル趣其ノ筋ヨリ通牒越候

記

一、乞食ヲ爲ス者
二、恤救規則ニ依リ救助ヲ受クル者
三、養老院ニ收容セラルル者及養老院ヨリ院外救助ヲ受クル者
四、貧困ニ陷リテ舊子弟ヨリ生活上ノ扶助ヲ受クル者
五、養子トナリテ他ノ家ニ入リタル者カ貧困ニ陷リタル爲實家ヨリ生活ノ補助ヲ受クル者
六、生活ノ爲他ヨリ補助ヲ受クル者ノ世帶ニ屬スル者
七、軍事救護法ニ依リ救護ヲ受クル者
八、癈兵院法ニ依リ救護ヲ受クル者
九、罹災救助ヲ受クル者
一〇、恩給法等ニ依リ恩給又ハ遺族扶助料等ヲ受クル者
一一、工場法鑛業法傭人扶助令ニ依リ扶助ヲ受クル者
一二、各種共濟組合ヨリ給與等ヲ受クル者
一三、施藥施療ヲ受クル者
一四、學資ノ補助ヲ受クル者
一五、年末年始等ニ於テ何等カノ名義ノ下ニ施與ヲ受クル者
一六、傳染病豫防法ニ依リ生活費ヲ受クル者
一七、親戚故舊ヨリ體面維持ノ爲メ補助ヲ受クル者
一八、父兄ヨリ扶養ヲ受クル子弟或ハ子弟ヨリ扶養ヲ受クル父兄其ノ他民法上ノ家族タルト否トヲ問ハス同一世帶内ニ在ル者ヨリ扶助ヲ受クル者
一九、托鉢僧、雲水巡禮等

理由

訂〔靜岡令一九七號〕

一、乞食ヲ爲ス者ハ他ヨリ施與ヲ受ケテ生活ヲ爲ス者ナルカ故ニ本號ニ該當ス

二、恤救規則ニ依ル救助ハ貧困ニ因リ生活ノ爲メノ救助ナルコト明白ナルヲ以テ本號ニ該當ス

三、各種ノ養老院ニ收容セラレ又ハ養老院外ニ在リテ院外救助ヲ受クル者ハ貧困ニシテ自己ノ資產又ハ勞務ヲ以テ生活ヲ爲シ能ハサルカ爲救助ヲ受クル者ナレハ本號ニ該當ス

四、過去ニ於テ受ケタル師恩ニ報ユルノ動機ニ出ツルモノナリト雖其ノ扶助ハ舊師カ貧困ニ陷リ生活ニ窮スルカ爲ニ爲スモノナレハ本號ニ該當ス

五、養子トナリテ他ノ家ニ入リタル者後貧困ニ陷リ生活ニ窮スルカ故實家ヨリ扶助ヲ受クル場合ハ縱令民法上ノ扶養關係ニ在ル場合ト雖貧困ナルカ故ノ救濟ト見ルコト一般社會通念ナルヲ以テ本號ニ該當ス

六、家族制度ノ我國ニ於テハ家ヲ以テ一個ノ消費團體ト見ルヘク而シテ其ノ家內ニ在ル者ハ相互ニ扶養スヘキ道德上ノ義務アリ若シ家ニ在ル者ノ力ヲ以テ扶養シ得サルカ爲他ヨリ扶助ヲ受クル者アリトセハ其ノ家卽チ消費團體カ扶助ヲ受クルコトナク從ツテ其ノ團體ニ屬スル者ハ總テ貧困ナルカ爲生活上扶助ヲ受クルモノニシテ本號ニ該當スルモノトス（此處ニ世帶ト謂ヒタルハ消費團體ト認メラルル家ヲ指スモノニシテ民法上ノ家ト混同スルヲ虞レ世帶ト言ヒタリ）

七、軍事救護法ニ依ル救護ハ貧困ノ爲ニスル救助ニ非スシテ特別ノ勤務ニ對シ國家カ軍人ヲ優遇スルノ精神ニ出ツルモノナリ殊ニ法第十七條ハ明文ヲ以テ本法ニ依ル救護ハ他ノ法令ノ適用ニ付テハ貧困ノ爲ニスル救助ト看做ササル旨ヲ規定セルヲ以テ本號ニ該當セサルコト明瞭ナリ

八、衰兵院法ニ依ル救護ハ軍事救護法ニ依ル救護ト其ノ性質ヲ同シクス唯衰兵院法ニハ軍事救護法第十七條ノ如キ規定ナキモ法律制定ノ時期ヲ異ニスル關係上立法ノ精神ヲ明ニスル規定ヲ缺クニ止ル

九、罹災救助ハ貧富ノ別ナク非常災害ニ罹リタル者ニ對スル救助ニシテ貧困ナルカ爲ノ救助ニアラサルヲ以テ本號ニ該當セス

一〇、恩給法等ニ依ル恩給又ハ遺族扶助料等ハ之ヲ受クル者ノ貧困ナルト否トニ關セス故ニ本號ニ該當セス

一一、工場法鑛業法傭人扶助令ニ依ル扶助ハ之ヲ受クル者ノ貧困ナルト否トニ關係セス故ニ本號ニ該當セス

一二、各種共濟組合ヨリノ給與ハ相互共濟ヲ性質トシ其ノ之ヲ受クル者ノ貧困ナルト否トニ關係セス故ニ本號ニ該當セス

一三、施藥施療ハ一般生活ノ爲ニ非スシテ特種ノ目的ニ出ツルモノナルカ故ニ本號ニ該當セス

一四、學費ノ補助ハ一般生活ノ爲ニ非スシテ特種ノ目的ニ出ツルモノナルカ故ニ本號ニ該當セス

一五、設例ノ如キ施物ハ一般生活ノ爲ニ非スシテ特種ノ目的ニ出ツルモノナルカ故ニ本號ニ該當セス

一六、傳染病豫防法ニ依リ交通遮斷隔離ノ爲一時營業ヲ失ヒ自活シ能ハサル者ノ生活費ノ給與ハ一種ノ報償ニシテ貧困ナルカ爲ニ受クル救助ニ非ス故ニ本號ニ該當セス

一七、親戚故舊等ヨリ經濟的補助ヲ受クル場合ニ於テモ其ノ補助ニシテ生活ノ爲ニアラスシテ單ニ體面ヲ維持センカ爲ト認メラルル場合ハ本號ニ該當セス蓋シ一般生活ノ爲救助扶助ニ非サルカ故ナリ

一八、家族制度ヲ基本トスル我國ニ於テハ家ヲ以テ社會上消費團體ト見ルヘク而シテ其ノ消費團體タル家ノ中ニ在ル者ハ相互ニ扶養スル道德上ノ義務アリ故ニ同一家ノ中ニ在ル者ヨリ扶養ヲ受クル場合ヲ以テ貧困ノ爲ノ救助ト見サルコト社會通念ナリサレハ消費團體タル家ニ在ル親又ハ兄ヨリ扶養ヲ受クル子又ハ弟或ハ子又ハ弟ヨリ扶養ヲ受クル親又ハ兄ハ貧困ナルカ爲ニ扶養ヲ受クルモノニ非ス故ニ本號ニ該當セス又縱令親子兄弟各々建物ヲ異ニシテ生活スル場合ト雖唯單ニ建物ヲ異ニスルニ止マリ之ヲ包括シタルモノヲ社會上一個ノ消費團體ト見ルヲ妥當トスル場合ニ於テハ其ノ者相互的扶養モ亦本號ニ謂フ貧困ナルカ爲ノ生活上ノ救助扶助ニ非ス更ニ又民法上ノ扶養權利關係及親族關係ナキ者ト雖同一消費團體內ニアリト認メラルル者ニ關シテモ同樣ナリ（此處ニ謂フ世帶トハ前述ノ消費團體タル家ヲ指スモノニシテ民法上ノ家ト混同セラルルヲ虞レ世帶ト言フタリ）

一九、托鉢僧雲水巡禮等ハ宗教上ノ修養ノ爲メノモノニシテ貧困ノ爲ノ救助ニ非レハ本號ニ該當セス

●選擧法第六條第三號ニ關スル疑義ノ件

庶第一二〇二號內務部長通牒（昭和七年十月二十七日）

標記ノ件別紙ノ通通牒有之候條

（別紙）

內務省愛地第一〇二號
昭和七年十月十日

市町村長宛

內務省地方局長

各地方長官殿

選擧法第六條第三號ニ關スル疑義ノ件通牒

標記ノ件ニ關シ別紙甲號愛知縣知事照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲參考

訂（靜岡令一九七號）

（別紙）

甲號

地第一六〇〇號
昭和七年九月十六日

愛知縣知事　遠藤柳作

內務省地方局長殿

選擧法第六條第三號ニ關スル疑義ノ件

本年九月七日文部省訓令第十八號ノ趣旨ニ基キ貧困ナル學齡兒童ニシテ晝食ヲ缺キ或ハ甚タシク粗惡ノ食事ヲ攝スルモノニ對シ榮養食費トシテ一回分金五錢ヲ標準トシテ米及副食物又ハ現金ヲ方面委員ノ手ヲ經テ生計狀態ノ恢復スル迄保護者ニ支給セムトスル向アリ右ハ就學奬勵ノ爲ニシテ選擧法第六條第三號ニ該當セサルカ如ク拜セラルルモ本年二月一日內務省發地第一二號地方局長通牒ニ於ケル學用品ヲ支給スル場合ト異リ前述ノ如キ日常生活ヲ爲サシメムトスル爲ノ救助又ハ扶助ヲ爲スニ於テハ選擧法第六條第三號ニ該當スルモノト解スルノ外ナキモノト存セラルルモ斯クテハ不況時對策ノ施設ノ結果多數缺格者ヲ出スコトトモナリ聊カ疑義相生シ候ニ付何分ノ義御回答相成度

追テ文部省訓令第十八號ニ依レハ現品ヲ給與スヘキコトト相成居ニ付可成現品ヲ支給致度旨申居候モ副食物ノ如キハ出來得レハ現金ニテ支給セムトスル趣キニ付申添候

乙號（地方局長回答）　昭和七年十月十日

選擧法第六條第三號ニ關スル疑義ノ件回答

九月十六日地第一六〇〇號標記ノ件衆議院議員選擧法第六條第三號ニ該當セス

訂（靜岡令一九七號）

●救護法ニ依ル被救護者ト衆議院議員選舉法第六條第三號ノ缺格條項トノ關係ニ關スル件

庶第一一七號内務部長通牒（昭和七年二月四日）

市町村長宛

標記ノ件ニ關シ左記甲號愛媛縣知事照會ニ對シ乙號ノ通内務省地方局長ヨリ回答候條ニ付爲御參考

參照

甲號（愛媛縣知事照會）

昭和七年一月一日ヨリ施行セラレシ救護法ニ基ク被救護者ト衆議院議員選舉法第六條第三號トノ關係ニ付キ左記疑義有之候條此段及伺候也

追テ右疑義ニ關シ差掛リタル次第モ有之電信ニテ御回示相煩度候

記

一、選舉法第六條ニ揭クル選舉權及被選舉權ノ缺格條項中第三號「貧困ニ依リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者」ヲ救護法ニ依ル被救護者ニ適用スルニ當リテハ

イ、救護法第一條ニ依リ救護ノ種類如何ヲ問ハス同條第一號乃至第四號ノ該當者ハ包括的ニ缺格者トナスヘキヤ又ハ

ロ、第十條第一號ノ「生活ノ扶助」ヲ受クルモノノミテ缺格者トナスヘキヤ

二、前項イノ通トセハ救護法第十條第四號「生業扶助」ヲ受クルモノノ被救護期間ヲ定ムルニ付テハ

イ、給與ノ場合ハ其ノ時限リトシ別ニ期間ヲ其後ニ定メス

ロ、貸與ノ場合ハ其ノ償還ノ終了スル迄ヲ以テ期間ト解シ差支ナキヤ

乙號（地方局長回答）

本月二十一日地第九八號標記ノ件御照會ノ處衆議院議員選舉法第六條第三號ノ缺格事由ニハ救護法第十條第一項中ノ生活扶助ヲ受クル者ノミ之ニ該當スルモノト存候尤モ生活扶助ト雖モ學用品ノミノ救護ヲ受クル場合ノ如キハ包含セサル義ト存候御了知相成度

理由

衆議院議員選舉法第六條第三號ハ貧困ニ因リ生活ノ爲他ノ救助又ハ扶助ヲ受クル者ヲ缺格者ト爲スノ趣旨ニシテ其ノ救助又ハ扶助ノ體樣ハ日常生活其ノモノニ關スル場合ニ限ラルヘキモノナルカ故ニ日常生活其ノモノニアラスシテ特殊ノ目的ニ出ツルモノ例ヘハ施藥醫療等ノ如キハ右缺格事由ニ包含セサルモノトス救護法ニ於ケル救護ノ種類ニ付其ノ何レカ選舉法第六條第三號ニ該當スルヤニ付考究スルニ

(1)生活扶助　ハ日常生活ヲ爲サシムルカ爲金品ヲ給與スルモノナルヲ以テ生活扶助ヲ受クル者及其ノ世帶ニ屬スル者（選舉法第五條第一項ニ該當スル者）ハ本號ニ該當スル然レトモ學用品ハ日常生活其ノモノニ非サルヲ以テ學用品ノミノ救護ヲ受クル者ノ如キハ之ヲ包含セサルハ當然ナリ

(2)醫療及助產　ハ日常生活其ノモノノ爲ニ非スシテ特殊ノ目的ノ爲ニ出ツル救護ナルカ故ニ本號ニ該當セス

(3)生業扶助　ハ生業ニ必要ナル價格僅少ノ器具資料又ハ少額ノ資金ヲ給與又ハ貸與シ之ニ依リ勞働等ニ從事セシメテ生活ノ資料ヲ得シメントスルニ在ルモノニシテ其ノ目的ハ被救護者ニ獨立自營ノ精神ヲ失ハシメス出來得ル限リ勞働等ニ依リ生活セシメントスルニ在ルモノナレハ本號ニ該當セス

訂（靜岡令一九七號）

●選舉法令ノ施行ニ關スル件

地第一六七三號總務部長通牒（昭和十年七月十三日）

市町村長宛

這般改正セラレタル衆議院議員選舉法令ノ施行ニ關シ左記事項篤ト御留意相成度

追テ府縣制改正法律第十五條第四項昭和十年七月市制改正法律第十七條、同町村制改正法律第十四條改正ノ趣旨モ本文投票所增設ノ趣旨ト同樣御了知相成度

記

一、投票所ノ增設ニ關スル件

衆議院議員選舉法第二條及同施行令第七條改正ノ趣旨ニ鑑ミ、投票所ハ相成ヘクハ兒童ノ通學區域其ノ他便宜ナル區域ヲ單位トシテ可及的其ノ增設ヲ圖ル樣致度尤モ右ニ關シテハ投票管理者其ノ他投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ノ配置竝投票所ニ充ツヘキ場所及其ノ設備等ノ關係ニ付テモ考慮スヘキ義ニ付出來得ル限リ適當ノ方法ヲ講スル樣致度

二、選舉人名簿ノ分割ニ關スル件

今次改正ノ衆議院議員選舉法施行令第七條第三號ニ於テ新ニ選舉人名簿分割ノ途ノ開カレタルハ名簿調製期日後投票區ヲ分設スルノ必要ヲ生シタルカ如キ場合ニ付例外トシテ認メラレタルモノニシテ之カ爲名簿調製期日前ニ於テ豫メ爲シ置クヘキ必要ナル投票區ノ設置ヲ等閑ニ付スルカ如キハ改正ノ趣旨ニ副ハサルモノニ付注意ヲ要スルコト

郡市町村名	投票區名	投票區ノ區域
賀茂郡三濱村	第一投票區	子浦
	第二投票區	妻良
	第三投票區	伊濱

訂（靜岡令二四一號）

●衆議院議員及縣會議員選舉投票區劃

靜岡縣告示第九百十三號（昭和十年九月十七日）

沿革　昭和一〇年九月告示第九六一號、一〇月第一七六號、一二月第一三〇〇號改正

衆議院議員選舉法第二條第二項及府縣制第十五條第四項ノ規定ニ依リ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ其ノ區劃ヲ左ノ通定メタリ

本件ニ關スル從前ノ告示ハ之ヲ取消ス

同仁科村郡	第一投票區	濱、中、一色、築地、野畑	
	第二投票區	大澤里	
同岩科村郡	第一投票區	岩科、道部	
	第二投票區	岩地、石部、雲見	
同朝日村郡	第一投票區	吉佐美、大賀茂	
	第二投票區	田牛	
同稻梓村郡	第一投票區	箕作、宇土金、椎原、北湯ヶ野、横川、相玉、荒增、堀之内、落合	
	第二投票區	須原	
	第三投票區	加增野	
田方三島町郡	第一投票區	茅町、木町、茶町、國分町、六反田町、大中島町、小中島町、芝町、宮川町、久保町、田町、二日町、市ヶ原町、宮倉町、傳馬町、長谷町、新町、金谷町、宮町	
	第二投票區	幸原、德倉、一町田、澤地、萩、佐野	
同錦田村郡	第一投票區	谷田ノ内字臺崎ヲ除ク全部、中、竹倉、玉澤、川原ヶ谷ノ内字川原ヶ谷、字山田、塚原新田	
	第二投票區	谷田ノ内字臺崎、川原ヶ谷ノ内字小澤、字元山中、市山新田、三ツ谷新田、笹原新田、山中新田	
同修善寺町郡	第一投票區	修善寺	
	第二投票區	瓜生野、熊坂、堀切、大澤	

訂（靜岡令二三八號）

同西南村郡	第一投票區	仁田、大土肥、柏谷、畑毛、平井、上澤、間宮、塚本、肥田、日守、新田	
	第二投票區	丹那、畑、輕井澤、田代	
	第三投票區	桑原、大竹	
同上狩野村郡	第一投票區	湯ヶ島、持越、市山	
	第二投票區	門野原、吉奈、月ヶ瀨、田澤、矢熊	
同北狩野村郡	第一投票區	牧之鄕、柏久保、年川ノ内字長者ヶ原、字定間、字板橋ヲ除ク全部、大野ノ内字星山、字堂所	
	第二投票區	下畑、浮橋、田原野、大野ノ内字星山、字堂所ヲ除ク全部、年川ノ内字長者ヶ原、字定間、字板橋	
同對島村郡	第一投票區	八幡野、池、赤澤	
	第二投票區	富戸	
同小室村郡	第一投票區	川奈	
	第二投票區	吉田、萩、十足	
同中大見村郡	第一投票區	城、八幡、梅木、柳瀨、宮上、冷川ノ内字持越	
	第二投票區	德永、冷川ノ内字持越ヲ除ク全部	
高根村須走村組合駿東郡	第一投票區	高根村	
	第二投票區	須走村	

訂（靜岡令二三八號）

富士上井出村	第一投票區	上井出、根原、人穴、富士山御料地
	第二投票區	猪之頭、麓
同柚野村	第一投票區	大鹿窪、猫澤、上柚野、下柚野、鳥並
	第二投票區	上稻子、下稻子
同富士根村	第一投票區	小泉、杉田、大岩、村山ノ内字坂下、字芋久保、字下原、字日澤、字大久保、字鷺澤、字松葉、字前田、字金山、字中村、字濫ノ上、字根川、字セギ戸、字上ノ山、字中谷戸、字杉本
	第二投票區	粟倉、村山ノ内字坂下、字芋久保、字鷺澤、字下原、字日澤、字大久保、字松葉、字前田、字金山、字中村、字濫ノ上、字根川、字セギ戸、字上ノ山、字中谷戸、字杉本ヲ除ク全部
庵原郡小島村	第一投票區	小島、但沼、立花、小河内
	第二投票區	宍原
安倍玉川村	第一投票區	中澤、桂山、腰越、横澤、大澤、内匠、落合、長熊、森腰
	第二投票區	奥池ヶ谷、柿島、長妻田、油野、上落合、口仙俣、奥仙俣
同美和村	第一投票區	西ヶ谷、内牧、與左衞門新田、安倍口新田、中ノ郷、遠藤新田
	第二投票區	足久保口組、足久保奥組
	第三投票區	油山、松野、津渡野
同大河内村	第一投票區	相淵、蕨野、横山、平野、中平
	第二投票區	渡、有東木
志太郡	第一投票區	堀之内

訂〔靜岡令二三八號〕

德山村	第二投票區	田野口、下泉、壹町河内
	第三投票區	地名
同藥梨村	第一投票區	中ノ合、花倉、下之郷、時ヶ谷、上藪田、下藪田、高田
	第二投票區	西方、北方
同伊久身村	第一投票區	伊久美、身成ノ内字川口、字鍋島
	第二投票區	笹間渡、身成ノ内字川口、字鍋島ヲ除ク全部
同大津村	第一投票區	野田、落合、尾川、大草
	第二投票區	千葉
同東川根村	第一投票區	藤川、桑野山、上岸、田代、青部
	第二投票區	梅地
同島田町	第一投票區	河原町、稻荷島、向谷
	第二投票區	一丁目、宮小路、二丁目、扇町、三丁目、幸町、日ノ出上、日ノ出下、四丁目、柳町、大川端、横井、五丁目、大津小路、新田町、六丁目、七丁目、祇園町、高砂町、下島、御假屋、向島、宮川町、中河原、元島田、鶴ヶ谷、中溝
藤原郡吉田村	第一投票區	吉田ノ内字上組、片岡ノ内字前川、字中之坪ヲ除ク全部、川尻、神戸、大幡
	第二投票區	吉田ノ内字上組ヲ除ク全部、片岡ノ内字前川字中之坪
同上川根村	第一投票區	崎平、千頭ノ内字千頭、奥泉ノ内字土本、字吉木
	第二投票區	犬間、奥泉ノ内字奥泉、字八木、字小山

訂〔靜岡令二四一號〕

	第三投票區	千頭ノ内字大間、字湯山、字東側
同五和村郡	第一投票區	横岡、横岡新田、竹下、牛尾、島、番生寺、志戸呂、大代、牧之原
	第二投票區	高熊、福用、神尾
同中川根村郡	第一投票區	久野脇
	第二投票區	下長尾、上長尾、水川
	第三投票區	藤川
小笠池新田村郡	第一投票區	池新田
	第二投票區	門屋、鹽原新田、合戸
周智水窪町郡	第一投票區	山住ノ内字大寄ヲ除ク全部、奥領家ノ内字草木、字大野、字大澤、字遠木澤、字針間野、字大嵐ヲ除ク全部、地頭方ノ内字向市場、字向島、字上村、字久頭合、字押澤、字桂戸、字竹之島
	第二投票區	奥領家ノ内字草木、字大野、字大澤、字遠木澤、字針間野、字大嵐、地頭方ノ内字地双、字有本、字兩久頭、字小又、字瀬戸尻、字戸中、字根、字下田、字時原、山住ノ内大寄
同城西村郡	第一投票區	奥領家、相月ノ内字中芋堀、字向坂外、字松島、字切開、字鵜、字横吹
	第二投票區	相月ノ内字相月、字立原、字上日余、字下日余
同氣多村郡	第一投票區	氣田、宮川、豐岡ノ内字赤岡、字山路、字篠原
	第二投票區	石切、小俣京丸、豐岡ノ内字勝坂、字植田、字野尻

訂〔靜岡令二三八號〕

濱名郡		
磐田郡光明村	第一投票區	大谷、山東、船明
	第二投票區	只來、下百古里、上百古里、大平、横川
同龍川村郡	第一投票區	横山、月、伊砂、山中、相津、佐久、谷山、西雲名
	第二投票區	小川、東雲名
同龍山村郡	第一投票區	大嶽、戸倉
	第二投票區	瀨尻、下平山
同上阿多古村郡	第一投票區	西藤平、東藤平、阿寺
	第二投票區	芦窪、長澤、懷山
同下阿多古村郡	第一投票區	上野ノ内字相明、字高金、字杉ノ本ヲ除ク全部、兩島、青谷、渡ヶ島、来澤、日明
	第二投票區	石神、上野ノ内字相明、字高金、字杉ノ本
同浦川村郡	第一投票區	川合、浦川ノ内字川上、字吉澤ヲ除ク全部
	第二投票區	浦川ノ内字川上、字吉澤
同熊村郡	第一投票區	熊ノ内字澤丸、字柴、字峯、字高平、字熊平、字大地野、字坂野、字市場、神澤、大梨安
	第二投票區	熊ノ内字石打、字倉野
	第一投票區	茄子一色、新津、十軒新田、早出、細島新田、上島ノ内字二枚皮前、字追分、字追分西、字和地山、字小豆餅ヲ除ク全部、高林ノ内字大塚、字大柴原、字谷田、字長橋、字花ノ木、字五池川、字藥師谷、字馬ノ谷、字一ッ池、字四ッ池ヲ除ク全部、助信ノ内字山荒畑ヲ除ク全部、島之郷ノ内字四ッ池平、字四ッ池、字大峡、字大崛、字谷口平、字大谷ヲ除ク全部

訂〔靜岡令二三八號〕

曳馬町	第二投票區	高林ノ内字大塚、字大柴原、字谷田、字長樽、字花ノ木、字上池川、字藥師谷、字馬ノ谷、字一ッ池、字四ッ池、中澤、一本杉、島之郷ノ内字四ッ池平、字四ッ池、字大峡、字大組、字谷口平、字大谷、上島ノ内字二枚皮前、字追分、字追分西、字和地山、字小豆餅	
引佐郡東濱名村	第一投票區	都筑、大谷、佐久米、駒場	
	第二投票區	大崎	
同郡都田村	第一投票區	都田	
	第二投票區	瀧澤、鷲澤	
	第一投票區	追手町、札ノ辻町、吳服町一丁目、吳服町二丁目、吳服町三丁目、吳服町四丁目、吳服町五丁目、兩替町一丁目、兩替町二丁目、兩替町三丁目、兩替町四丁目、兩替町五丁目、七間町一丁目、七間町二丁目、七間町三丁目、下石町一丁目、下石町二丁目、下石町三丁目、藤右衞門町、常慶町、水落町一丁目、水落町二丁目、水落町三丁目、東草深町一丁目、東草深町二丁目、東草深町三丁目、西草深町、御器屋町、安倍町、宮ヶ崎町、馬場町、富士見町、八千代町、車町、中町、金座町、茶町一丁目、茶町二丁目、上桶屋町、土太夫町、柚木町、錦町、葵町、片羽町、材木町、井宮町、安東一丁目、安東二丁目、安東三丁目、安東本町、北安東町、長谷町、北安東、安東柳町、淺間町一丁目、淺間町二丁目、丸山町、大岩宮下町、大岩町一丁目、大岩町二丁目、大岩、籠上、籠上新田、松富上組、松富下組、傳馬町新田、與一右衞門新田、上足洗

訂〔靜岡令二三八號〕

靜岡市	第二投票區	下魚町、江尻町、平屋町、下桶屋町、鍛冶町、寶町、鳥見町、紺屋町、江川町、新谷町、鷹匠町一丁目、鷹匠町二丁目、鷹匠町三丁目、東鷹匠町、横内町、太田町、傳馬町、譽田町、鑄物師町、臺所町、上横田町、院内町、下横田町、上八幡町、中八幡町、下八幡町、榮町一丁目、榮町二丁目、日出町、東町、相生町一丁目、相生町二丁目、晉羽町
	第三投票區	上石町一丁目、上石町二丁目、梅屋町、人宿町一丁目、人宿町二丁目、人宿町三丁目、本通一丁目、本通二丁目、本通三丁目、本通四丁目、本通五丁目、本通六丁目、本通七丁目、本通八丁目、本通九丁目、本通十丁目、本通西町、新通一丁目、新通二丁目、新通三丁目、新通四丁目、新通五丁目、新通六丁目、新通七丁目、新通川越町、安倍川町、研屋町、屋形町、大鋸町、西寺町、上大工町、通車町、幸町、寺町一丁目、寺町二丁目、寺町三丁目、寺町四丁目、西門町、川邊三友町、神田町、駒形通一丁目、駒形通二丁目、駒形通三丁目、駒形通四丁目、駒形通五丁目、駒形通六丁目、駒形通七丁目、芳町、木花町、駒形本町、駒形町、神榮町、天王町一丁目、天王町二丁目、橘町、清閑町、永樂町、櫻木町、羽衣町、彌勒町一丁目、彌勒町二丁目、彌勒町三丁目、南安倍町
	第四投票區	新富町一丁目、新富町二丁目、新富町三丁目、新富町四丁目、新富町五丁目、新富町六丁目、上新富町、田町、南田町、住吉町一丁目、住吉町二丁目、一番町、二番町、三番町、四番町、五番町、六番町、七番町、八番町、安西一丁目、安西二丁目、安西三丁目、安西四丁目、安西五丁目、水道町、末廣町、神明町、若松町、辰起町、北番町、三組町、柳町
	第五投票區	錢座、杏谷、千代田、上ヶ土新田、上ヶ土豐地新田、川合新田、川合、（川合新田、上ヶ土新田、下足洗新田）請新田、下足洗新田、南沼上、北沼上、淺畑沼新田

訂〔靜岡令二三九號〕

第六投票區	小黒一丁目、小黒二丁目、小黒三丁目、小黒四丁目、小黒五丁目、小黒六丁目、小黒七丁目、小黒八丁目、小黒、東若松町一丁目、東若松町二丁目、東若松町三丁目、東若松町四丁目、豐原町、曲金一丁目、曲金二丁目、曲金三丁目、曲金四丁目、曲金五丁目、曲金、柚木、長沼、古庄、栗原、國吉田、聖一色、池田、小鹿、春日町、瓦場町、春日町一丁目、春日町二丁目、春日町三丁目、南町一丁目、南町二丁目、南町三丁目、南町四丁目、旭町、森下町一丁目、森下町二丁目、森下町三丁目、南町、八幡本町一丁目、八幡本町二丁目、八幡本町三丁目、八幡本町四丁目、八幡本町五丁目、八幡本町六丁目、八幡本町七丁目、八幡本町八丁目、八幡山、八幡、有東	濱松市
第七投票區	高松、大谷、西平松、中平松、青澤、古宿、安居、根古屋	
第八投票區	泉町一丁目、泉町二丁目、泉町三丁目、泉町四丁目、泉町五丁目、天坪町、千歲町、福住町、宮本町、青木町一丁目、青木町二丁目、青木町三丁目、中原、中野新田、中島、西脇、西島、下島、石田、稻川町一丁目、稻川町二丁目、稻川町三丁目、西稻川町、中田町一丁目、中田町二丁目、中田町三丁目、馬淵町一丁目、馬淵町二丁目、馬淵本町、中田、見潟、中	
第九投票區	向敷地、手越、手越原、丸子新田、東新田、鎌田、寺田、上川原、下川原、丸子、宇津ノ谷、廣野、用宗、青木、大和田新田、石部、小坂	
第十投票區	福田ヶ谷、下、門屋、牛妻、鄕島、野田平、俵澤、油島、俵峰	
第十一投票區	池ヶ谷、南、有永、羽高、北、東、淺畑新田	
第一投票區	元目町、尾張町、池町、元城町、神明町、肴町、田町、鍛冶町、千歲町、平田町、松城町、紺屋	

訂〔靜岡令二三八號〕

	町、連尺町、利町、傳馬町、菜町、大工町、元魚町、旅籠町、驛町、成子町	濱松市
第二投票區	高町、三組町、鴨江町、中山町、菅原町、東伊場町、西伊場町	
第三投票區	和地山町、追分町、名殘町、上池川町、下池川町、山下町、龜山町、廣澤町	
第四投票區	板屋町、旭町、東田町、北田町、早馬町、常盤町、元濱町、中澤町、八幡町、松江町、新町、馬込町、船越町、野口町	
第五投票區	名塚町、領家町、中島町、向宿町、禰地町、天神町、相生町、佐藤町、木戸町	
第六投票區	淺田町、森田町、砂山町、北寺島町、寺島町、龍禪寺町、海老塚町	
第一投票區	三枚橋、上町、上香貫、下香貫、我入道	沼津市
第二投票區	本、城内、上土、大手町、八幡町、上本通町	
第一投票區	辻、江尻、江尻出作、入江、櫻橋町、櫻ヶ丘町、元追分、上清水	清水市
第二投票區	清水、萬世町一丁目、萬世町二丁目、松原町一丁目、松原町二丁目、松原町三丁目、富士見町一丁目、富士見町二丁目、入船町一丁目、入船町二丁目、入船町三丁目、港町一丁目、港町二丁目、港町三丁目、港町四丁目、築地町一丁目、築地町二丁目、築地町三丁目、日ノ出町一丁目、日ノ出町二丁目、新港町、下清水、船越町、南矢部、北矢部、村松、清水村松地先新田	
第三投票區	宮加三、駒越、增、蛇塚	
第四投票區	三保、折戸	

訂〔靜岡令二四〇號〕

●衆議院議員選舉法ニ依ル選舉區ノ選舉長指定

靜岡縣告示第三百八十四號（昭和三年七月九日）

大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法第五十八條第一項第三號ノ規定ニ依リ選舉區ノ選舉長ヲ左ノ通指定シ次ノ選舉ヨリ之ヲ施行ス

選舉區		選舉長
第一區	靜岡市	內務部長タル靜岡縣書記官
	淸水市	
	庵原郡	
	安倍郡	
	志太郡	
	榛原郡	
	小笠郡	
第二區	沼津市	學務部長タル靜岡縣書記官
	賀茂郡	
	田方郡	
	駿東郡	
	富士郡	
第三區	濱松市	靜岡縣勤務上席地方事務官
	磐田郡	
	周智郡	
	濱名郡	
	引佐郡	

●衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用額竝其ノ支給規程

靜岡縣令第七十二號（昭和二年十二月十五日）

衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用額竝其ノ支給規程左ノ通定ム

衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用額竝其ノ支給規程

第一條　衆議院議員選舉投票立會人、開票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當及宿泊料ノ五種トス

鐵道賃及船賃ハ大正九年五月大藏省令第十六號中判任官ノ鐵道賃及船賃ニ關スル規定ノ例ニ依リ車馬賃日當及宿泊料ハ左表ニ依リ之ヲ支給ス

第二條　車馬賃ハ里數、日當ハ日數、宿泊料ハ夜數ニ應シ之ヲ支給ス

第三條　車馬賃ハ總テ順路ノ行程ニ依リ其ノ總數ヲ通算シテ之ヲ支給ス

但シ通算上一里未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ切捨トス

附則

本令ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

大正十年六月靜岡縣令第六十一號衆議院議員選舉投票立會人及選舉立會人職務ノ爲受クヘキ費用額竝支給規定ハ之ヲ廢止ス

車馬賃（一里ニ付）	日當（一日ニ付）	宿泊料（一夜ニ付）
圓、四〇〇	圓、一五〇〇	圓、二五〇〇

●演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營竝ニ選舉公報ノ發行ニ關スル規程

靜岡縣令第四十五號（昭和十年十二月十四日）

衆議院議員選舉法施行令第八十七條及同第八十七條ノ九ノ規定ニ依リ演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營竝ニ選舉公報ノ發行ニ關スル規程左ノ通定ム

第一章　公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營

第一條　演說ニ依ル選舉運動ノ爲公立學校及衆議院議員選舉法施行令第七十六條ノ營造物（以下公立學校等ト稱ス）ノ設備ヲ使用セントスル者又ハ其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ヲ受ケント

スル者ハ別記第一號樣式ニ依リ使用ノ日ノ前日午後四時迄ニ之ヲ當該設備ノ管理者ニ申請スベシ

第二條　演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ヲ受ケントスル者衆議院議員選擧法施行令（以下施行令ト稱ス）第八十一條ノ二第四項及之ヲ準用スル同第八十三條第一項ノ規定ニ依リ自ラ施設ヲ加ヘントスルトキハ前條ノ申請書ニ其ノ旨附記スベシ

第三條　公立學校等ノ設備ハ午前零時ヨリ同八時迄ノ間ハ其ノ使用ヲ許可スルコトヲ得ズ、投票所ニ充ツベキ場所ニ付投票ノ日ノ前日午後一時以後亦同ジ

第四條　公立學校等ノ管理者其ノ設備使用ノ許可ニ際シ災害豫防又ハ損傷防止ノ爲必要アリト認ムルトキハ入場人員ノ制限其ノ他ノ條件ヲ附スルコトヲ得

使用者前項ノ條件ニ違反シタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第五條　施行令第八十一條ノ三第三項及之ヲ準用スル同第八十三條第一項ノ規定ニ依ル公立學校等ノ設備ノ使用ヲ爲サズ又ハ施設ノ公營ヲ受ケザルベキ旨ノ申出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六條　公立學校等ノ設備ヲ使用シタル者ハ許可時間内ニ後片付ヲ爲シ之ヲ管理者ニ引渡スベシ

前項ニ規定スル者演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ヲ受ケタルトキハ設備使用後直ニ之ヲ管理者ニ引渡スベシ但シ施行令第八十一條ノ二第四項及之ヲ準用スル同第八十三條第一項ノ規定ニ依リ自ラ加ヘタル施設ニ付テハ許可時間内ニ後片付ヲ爲スベシ

前二項ノ引渡ヲ終了シタルトキハ使用者ハ引渡書ヲ作製シ器物ノ損傷又ハ亡失ニ關スル事項竝ニ之ニ對スル賠償又ハ復舊ニ關スル事項ヲ記載シテ管理者ト共ニ記名捺印スベシ

第二章　選擧公報ノ發行

第七條　議員候補者選擧公報ニ政見等ノ揭載ヲ受ケントスル者ハ別記第二號樣式ニ依リ別ニ指定スル期限迄ニ之ヲ申請スベシ

前項ノ申請書ニハ揭載文三通ヲ添附スベシ

第八條　揭載文ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルベシ

一　印字器ヲ以テ記載スル場合ヲ除クノ外原稿用紙ヲ用ヒテ明確ニ記載スベシ

二　文字ノ記載ハ右上ヨリ始メテ縱書ト爲シ墨、「インク」又ハ複寫紙ヲ用フベシ

三　揭載文ノ標題、議員候補者ノ經歷、位階勳等、職業、住所、氏名、年齡等ノ文字ヲ合算シ字數三千ヲ超ユルコトヲ得ズ

四　漢字、國字及アラビヤ數字以外ノ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

五　議員候補者ノ氏名以外ノ振假名、傍書、圈點、伏字ノ爲ノ記號、圖表、揷繪、雜形、寫眞、其ノ他特殊ノ記號ヲ用フルコトヲ得ズ但シ句讀點、傍點、傍線、鉤、括弧、疑問符、感歎符及接續記號ハ此ノ限ニ在ラズ

六　加除訂正ヲ爲シタルトキハ其ノ部分ニ認印ヲ押捺スベシ

第九條　前條第四號又ハ第五號ノ規定ニ違反スルモノアルトキハ其ノ部分ハ之ヲ選擧公報ニ揭載セズ

揭載文ノ字數三千ヲ超ユルトキハ第一字目ヨリ計算シ第三千一字目以下ハ之ヲ揭載セズ但シ議員候補者ノ氏名ニ附スル振假名、句讀點、傍點、傍線、鉤、括弧、疑問符、感歎符及接續記號ハ字數ニ算入セズ

判讀シ難キ文字ハ之ヲ揭載セズ

申請書添附ノ揭載文互ニ相違スルトキハ其ノ内任意ノ一ヲ揭載ス

第十條　選擧公報ハ別記第三號樣式ニ依ル

議員候補者ハ選擧公報ノ用紙、活字ノ種類、行數、文字ノ配列、印刷ノ色合等ニ付指定スルコトヲ得ズ

第十一條　議員候補者第七條ノ申請ヲ取消ストキハ文書ヲ以テ其ノ旨申出ヅベシ

揭載文ノ變更ヲ求ムルトキハ第七條ノ例ニ依リ申請書ニ變更揭載文三通ヲ添附シテ之ヲ申請スベシ但シ變更部分僅少ナルトキハ其ノ部分ヲ明記シタル書面三通ヲ添附スルヲ以テ足ル

第七條ノ期限經過後ニ於テハ其ノ申請ヲ取消シ又ハ揭載文ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ズ

第十二條　選擧公報ノ印刷ニ付テハ政見等ノ揭載ヲ申請シタル議員候補者ニ對シ校合ヲ求ムルコトアルベシ此ノ場合議員候補者ハ代人ヲ差出スコトヲ得

前項ノ代人ハ其ノ代人タルコトヲ證明スベキ書面ヲ提示スベシ

第十三條　議員候補者選擧公報ヲ發送スベキ期限迄ニ議員候補者タルコトヲ辭シ又ハ死亡シタルトキハ其ノ申請シタル揭載文ヲ選擧公報ニ揭載セザルコトアルベシ

第十四條　天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ選擧公報ヲ發送スベキ期限迄ニ之ヲ發送スルコト能ハザルトキハ其ノ發行ノ手續ヲ中止ス

第十五條　選擧公報ノ印刷ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ靜岡縣公報ニ揭載正誤ス

第十六條　本章ノ規定ニ依リ知事ニ提出スル書類ハ封筒ノ表面ニ「選擧公報」ト朱書スベシ

附則

本令ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年九月靜岡縣令第六十號衆議院議員、縣會議員竝ニ市會議員選擧ニ付演說ニ依ル選擧運動ノ爲ニスル公立學校等ノ設備使用ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

別記

第一號樣式

第一例　（設備ノ使用ノミヲ申請スル場合）

選擧運動ノ爲ニスル何々學校（又ハ何々公會堂等）ノ設備使用許可申請ノ件

昭和何年何月何日執行衆議院議員選擧運動ノ爲左記ノ通演說會場トシテ使用致度候間御許可相成度此段及申請候也

追テ何郡（市）何町（村）何番地何某ヲ衆議院議員選擧法施行令第七十九條（及同第八十三條）ノ規定ニ依ル抽籤ノ爲ノ代人トシテ選任仕候

昭和何年何月何日

何郡（市）何町（村）何番地

衆議院議員候補者（何某候補選擧事務長）

何　某㊞

訂（靜岡令二四一號）

何々學校（又ハ何々公會堂等）管理者何某殿

記

一、使用スベキ公立學校等ノ名稱――何々學校（又ハ何々公會堂等）
二、使用スベキ日時――昭和何年何月何日　自午前（後）何時　至午前（後）何時
三、使用スベキ設備
（イ）屋室名――講堂、雨天體操場等
（ロ）其ノ他――一、照　明――　一、卓　子――
一、椅　子――　一、時　計――
一、黒　板――　一、莫蓙（莚）――
一、草　履――　一、水　差――
一、茶道具――　一、灰　皿――
一、下駄箱――　一、火　鉢――
一、立看板――　一、何　々――

第二例（施設ノ公營ノミヲ申請スル場合）

選擧運動ノ爲ニスル演說會場ノ施設公營申請ノ件

昭和何年何月何日執行衆議院議員選擧運動ノ爲左記ニ就キ演說會場ノ施設公營相成度此段及申請候也

昭和何年何月何日

何郡（市）何町（村）何番地
衆議院議員候補者（何某候補選擧事務長）
何　某㊞

何々學校（又ハ何々公會堂等）管理者何某殿

記

一、使用スベキ公立學校等ノ名稱――何々學校（又ハ何々公會堂等）
二、使用スベキ日時――昭和何年何月何日　自午前（後）何時　至午前（後）何時
三、使用スベキ屋室名――講堂、雨天體操場等
四、施設公營費用ノ負擔――自己又ハ國庫
五、附加施設――無シ（又ハ別紙ノ通）

第三號樣式

何々學校（又ハ何々公會堂等）管理者何某殿

昭和何年何月何日執行
衆議院議員選擧
選擧公報

第何區

靜岡縣

（何々黨候補者）
（何　某）

（第二頁及第三頁）

（第四頁）

訂（靜岡令二四一號）

選擧公報ニ對スル掲載申請ノ件

昭和何年何月何日執行衆議院議員選擧ニ付政見等ヲ選擧公報ニ御掲載相成度掲載文三通相添ヒ此段及申請候也

昭和何年何月何日

何郡（市）何町（村）何番地
衆議院議員候補者
何　某㊞
（電話何番）

靜岡縣知事何某殿

訂（靜岡令二四一號）

第三號樣式

（第一頁）

昭和何年何月何日執行
衆議院議員選擧
選擧公報

第何區

靜岡縣

（掲載文記載例）

（何々黨候補者）
（何　某）

（第二頁及第三頁）

（第四頁）

昭和何年何月何日印刷 昭和何年何月何日發行	
備考　用紙、活字、色素等ハ左ノ標準ニ依ルモ都合ニ依リ變更スルコトアルベシ	
(1)　用紙ハ四六版四倍大　一枚兩面刷四頁トス	
(2)　印刷ハ黑色トス	
(3)　主要活字ハ四號活字トス	
發行者	靜岡縣知事何
印刷者	某

●演說ニ依ル選擧運動ノ爲ニスル公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ關スル事務取扱規程

靜岡縣訓令甲第二十四號（昭和十年十二月十四日）

總務部　警察部　市役所　町村役場
町村組合役場　縣立學校　縣立圖書館
商工會議所　農會

衆議院議員選擧法施行令第八十七條及之ヲ準用スル府縣制施行令第二十條竝ニ市制町村制施行令第三十二條ノ規定ニ基キ演說ニ依ル選擧運動ノ爲ニスル公立學校等ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ關スル事務取扱規程左ノ通定ム

第一條　衆議院議員選擧法施行令（以下施行令ト稱ス）第七十六條第二項及其ノ準用規定（府縣制施行令第二十條及市制町村制施行令第三十二條ヲ指ス以下之ニ同ジ）ニ依リ議事堂ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シ知事ニ具申スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一　名稱

二　使用制限ノ場合ニ於テハ制限ノ方法

三　理由

四　關係屋室及建築物ノ配置略圖

第二條　公立學校及施行令第七十六條ノ營造物（以下公立學校等ト稱ス）ノ設備ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ノ程度及申請者ノ納付スベキ公營費用額ノ承認申請ハ別記第一號樣式ノ例ニ依ルベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三條　公立學校等ノ管理者前條ノ承認ヲ得テ之ヲ告示シタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スベシ

第四條　公立學校等ノ管理者施行令第七十八條ノ二第四項同第八十一條ノ三第四項及之等ノ規定ヲ準用スル同第八十三條第一項ノ規定ニ依リ別ニ定メタル期限ニ付告示ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ知事ニ報告スベシ

第五條　公立學校等ノ管理者其ノ設備使用ノ許可申請ヲ受ケタル場合ニ於テ競合申請者アリテ施行令第七十九條及之ヲ準用スル同第八十三條第一項及其ノ準用規定ニ依ル抽籤ヲ必要トスルトキハ遲滯無ク抽籤ヲ行フベキ日時及場所ヲ申請者又ハ其ノ代人ニ通知スベシ

前項ノ通知ヲ受ケタル者抽籤ヲ行フベキ時ニ於テ指定ノ場所ニ出頭セザル場合ト雖モ抽籤ヲ行フベシ

抽籤ヲ爲シタルトキハ管理者ニ於テ顚末書ヲ作製スベシ

第六條　公立學校等ノ管理者ハ別記第二號樣式ニ依リ申請受理簿ヲ調製シ設備ノ使用及施設ノ公營ニ關スル事項ヲ記載スベシ

第七條　公立學校等ノ管理者、其ノ設備ノ使用ヲ許可シタルトキ又ハ其ノ許可ヲ取消シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ其ノ都度之ヲ所轄警察署長ニ通知スベシ

一　議員候補者ノ氏名及其ノ所屬選擧區

二　使用申請者ノ資格氏名

三　使用ニ供スベキ設備

四　使用ノ日時

第八條　公立學校等ノ管理者ハ別記第三號樣式ニ依リ其ノ設備ノ使用及施設ノ公營ニ關スル事項ヲ一括シ選擧終了後直ニ之ヲ知事ニ報告スベシ

第九條　公立學校等ノ管理者ハ施行令第七十二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ國庫ニ於テ負擔スベキ施設公營ノ費用ニ付別記第四號樣式ニ依リ選擧終了後直ニ之ヲ知事ニ請求スベシ

第十條　公立學校等ノ設備ノ使用及施設ノ公營ニ關スル書類ハ其ノ選擧ニ依リ選出セラレタル議員ノ任期間當該管理者ニ於テ之ヲ保存スベシ

附則

本規程ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

議事堂使用ノ制限又ハ禁止ニ關シ本規程施行前知事ノ爲シタル處分ハ其ノ效力ヲ失ハズ

別記

第一號樣式

選擧運動ノ爲ニスル演說會場ノ施設公營ノ程度及施設公營費用額承認申請ノ件

衆議院議員選擧運動ノ爲ニスル演說會場ノ施設公營ノ程度及公營費用

訂（靜岡令二四一號）

頓左記ノ通相定(變更致)度候間御承認相成度此段及申請候也

昭和何年何月何日

何々管理者

靜岡縣知事　何　某殿

氏　名㊞

記

一、使用ニ供スベキ公立學校等ノ名稱……(何々學校、何々議事堂、何々公會堂等)

二、演說會場ニ充ツベキ屋室及坪數……(講堂、雨天體操場、幾坪)

三、其ノ他使用ニ供スベキ屋室……(應接室、控室等)

四、施設ノ程度……(別表(Ⅰ)ノ通)

五、納付スベキ費用額(內譯別表(Ⅱ)ノ通)

(イ)　遊間……何圓

(ロ)　夜間……甲何圓(乙何圓)

六、施設略圖

備考

(1)　施行令第八十三條第二項ニ依リ一般ノ使用料ガ公營ニ要スル費用ト見做サルル場合ニ於テモ其ノ金額ヲ記載シテ承認ヲ申請スベク特ニ此ノ場合ニ於テハ一般ノ使用料ニ關スル條例其ノ他ノ規定ノ寫ヲ添附スルコト

(2)　前號ノ使用料ニ暖房裝置等ヲ使用スル場合又ハ入場料ヲ徵收スル場合ト然ラザル場合トノ區別アルトキハ暖房裝置等ヲ使用セズ又ハ入場料ヲ徵收セザル場合ノ料金ニ依ルコト

(3)　施設ノ程度ハ公營費用ノ範圍內ニ於テ別表(Ⅰ)ニ準ジテ適宜定ムルコト

別表(Ⅰ)

施設公營ノ程度一覽表

施設＼場所	演說會場	準備室	控室	廊下	便所	出入口
照明	電燈何燭光何ケランプ何ケ	—	—	—	—	—
卓子	何ケ	—	—	—	—	—
椅子	何脚	—	—	—	—	—
時計	何ケ	—	—	—	—	—
黑板	何枚					
水差	何ケ	—				
茶道具	茶椀何ケ湯沸何ケ					
火鉢	何ケ	何				
灰皿	何ケ	—				
塵芥(莚)	何枚	—	—	—	—	—
草履	何足	—				
下駄箱						
立看板						
下足番	何人	—				
雜役夫	何人	—	—	—	—	—
××	××	—				
××	××	—				
××	××	—				

訂(靜岡令二四一號)

備考　特ニ演境ノ設備ヲナスヲ要スルトキハ其ノ概要ヲ附記スルコト

別表(Ⅱ)

照明費	人夫賃	消耗品代	以上小計	臨時燈架設費	以上總計
一、何圓 演說會場 何燭光何ケ分	一、何圓 何人分 一人分何圓	一、何錢 茶何斤分 一斤何錢		一、何圓 電燈取付料何ケ分 一個分何錢	

訂(靜岡令二四一號)

一、何圓 準備室 何燭光何ヶ分			一、何錢 炭何瓦分 一瓦何錢	
一、何圓 廊下 何燭光何ヶ分			一、何錢 表看板一枚分	
一、…… ……			一、…… ……	
計　何圓	計　何圓 （但シ晝間ハ一人分何圓）		計　何圓	
何圓	何圓		何圓	
計　何圓			計　何圓	一、何圓 電燈線引込線何米分 一米分何錢
何圓			何圓	

備考　(1)　晝間分ニハ照明費ヲ算入セザルコト

(2)　人夫賃ハ晝間分ト夜間分トヲ區別シテ記載シ得ルコト

第二號樣式

（表紙）

選舉演說會ニ關スル申請受理簿

（內容）

受付番號	…….	第何區議員候補者何某	受理者印	主任者印
受付年月日時	一	抽籤通知年月日	一	○
申請者氏名	一	抽籤年月日	一	○
代人氏名	一	使用許否及其ノ通知年月日時	一	一
公立學校等ノ名稱	一	使用許可取消年月日時	一	一

訂（靜岡令二四一號）

第三號樣式

選舉運動ノ爲ニスル設備ノ使用竝ニ演說會場ノ施設ノ公營ニ關スル報告ノ件

昭和何年何月何日執行何々議員選舉ニ付選舉運動ノ爲ニスル演說會場トシテ設備使用竝ニ施設公營ノ狀況左記ノ通及報告候也

昭和何年何月何日

靜岡縣知事　何　某殿

何々管理者

氏　名㊞

記

使用屆室名												
使用ノ日時												
施設公營ノ受否												
費用負擔												
附加施設ノ有無												
知事報告年月日												

使用狀況 ＼ 使用設備	使用者數	使用度數	非公營使用度數	公營使用度數	自己負擔公營度數	同上金額	國庫負擔公營度數	同上金額
雨天體操場（何　坪）								
講　堂（何　坪）								
教　室（何　坪）								

訂（靜岡令二四一號）

議事堂(何坪)							
……(何坪)							

第四號樣式

請求書

一金何　圓也

但シ昭和何年何月何日執行衆議院議員選舉ニ於ケル施設公營費用

內譯

使用年月日	營造物ノ名稱	坪數	公營金額			使用者氏名	備考
			晝間	夜間			
				甲	乙		
			圓				
			圓				
			圓				

右及請求候也

昭和何年何月何日

何々管理者　何　某㊞

靜岡縣知事　何　某殿

備考

(1) 請求書ハ二通提出スルコト

(2) 請求書ニハ（イ）公營費用額承認申請書寫（ロ）施設公營申請書寫（ハ）引渡書寫ヲ添附スルコト

訂（靜岡令二四一號）

●衆議院議員、縣會議員竝ニ市會議員選舉ニ付演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル使用禁止ノ議事堂等

靜岡縣告示第八百三十九號（昭和十年八月二十日）

衆議院議員、縣會議員竝市會議員選舉ニ付演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル左記議事堂ノ使用ハ衆議院議員選舉法施行令第七十六條第二項、府縣制施行令第二十條及市制町村制施行令第三十二條ニ依リ毎日午後六時ヨリ同十一時迄ノ間トス但シ祭日、祝日及日曜日ハ午前八時ヨリ午後六時迄ノ間トス

昭和二年九月二十二日靜岡縣告示第五百九十六號ハ之ヲ取消ス

庵原郡袖師村會議事堂	志太郡大洲村會議事堂	同	上河津村會議事堂
志太郡大富村會議事堂	同　東益津村會議事堂	同	朝日村會議事堂
同　燒津町會議事堂	榛原郡御前崎村會議事堂	同	三濱村會議事堂
榛原郡白羽村會議事堂	同　地頭方村會議事堂	同	中鄉村會議事堂
同　相良町會議事堂	同　菅山村會議事堂	同	江間村會議事堂
同　萩間村會議事堂	同　勝間田村會議事堂	同	西浦村會議事堂
同　坂部村會議事堂	同　吉田村會議事堂		
田方郡三島町會議事堂	田方郡韮山村會議事堂		
濱松市會議事堂	富士郡須津村會議事堂		

訂（靜岡令二四一號）

●衆議院議員縣會議員竝市會議員選舉ニ付演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル使用禁止ノ議事堂

靜岡縣告示第八百三十八號（昭和十年八月二十日）

衆議院議員縣會議員竝市會議員選舉ニ付演說ニ依ル選舉運動ノ爲ニスル左記議事堂ノ使用ハ衆議院議員選舉法施行令第七十六條第二項、府縣制施行令第二十條及市制町村制施行令第三十二條ニ依リ之ヲ禁止ス

昭和二年九月二十二日靜岡縣告示第五百九十五號、昭和六年九月二十六日靜岡縣告示第千二百三十二號、昭和六年十月一日靜岡縣告示第千二百四十五號ハ之ヲ取消ス

靜岡縣會議事堂			
賀茂郡稻生澤村會議事堂	田方郡錦田村會議事堂	同	中鄉村會議事堂
同　下田町會議事堂	同　伊豆長岡町會議事堂	同	江間村會議事堂
同　三坂村會議事堂	同　內浦村會議事堂	同	西浦村會議事堂
同　松崎町會議事堂			
同　仁科村會議事堂			
同　安良里村會議事堂			

昭和二年十月四日
靜岡縣告示第六百十八號

衆議院議員、縣會議員竝ニ市制第三十九條ノ二ノ市ノ市會議員選舉ニ付衆議院議員選舉法施行令第七十六條第一項府縣制施行令第二十條市制町村制施行令第三十二條ニ依リ左記營造物ノ設備ハ演說ニ依ル選舉運動ノ爲其ノ使用ヲ許可スヘキモノトシテ指定シタリ

一、靜岡縣立葵文庫講堂

同　修善寺町會議事堂
同　田中村會議事堂
同　下狩野村會議事堂
同　中大見村會議事堂
同　伊東町會議事堂

駿東郡原　町會議事堂
同　愛鷹村會議事堂
同　大岡村會議事堂
同　大平村會議事堂
同　深良村會議事堂
同　原里村會議事堂
同　玉穗村會議事堂
同　富士岡村會議事堂
同　高根村組合會議事堂
同　須走村組合會議事堂
同　小山町會議事堂

富士郡元吉原村會議事堂
同　吉原町組合會議事堂
同　原田村會議事堂
同　島田村組合會議事堂
同　富士町會議事堂
同　大淵村會議事堂
同　富士根村會議事堂

同　函南村會議事堂
同　北狩野村會議事堂
同　小室村會議事堂
同　上大見村會議事堂

同　浮島村會議事堂
同　金岡村會議事堂
同　靜浦村會議事堂
同　小泉村會議事堂
同　富岡村會議事堂
同　印野村會議事堂
同　須山村會議事堂
同　御殿場町會議事堂
同　北郷村會議事堂

同　吉永村會議事堂
同　今泉村會議事堂
同　田子浦村會議事堂
同　傳法村會議事堂
同　鷹岡町會議事堂
同　大宮町會議事堂

同　富丘村會議事堂
同　白糸村會議事堂
同　柚野村會議事堂

庵原郡內房村會議事堂
同　富士川町會議事堂
同　由比町會議事堂
同　小島村會議事堂
同　飯田村會議事堂
同　西奈村會議事堂

安倍郡有度村會議事堂
同　梅ヶ島村會議事堂
同　美和村會議事堂
同　清澤村會議事堂

志太郡藤枝町會議事堂
同　岡部町會議事堂
同　葉梨村會議事堂
同　瀨戸谷村會議事堂
同　笹間村會議事堂
同　德山村會議事堂
同　大津村會議事堂

同　上井出村會議事堂
同　上野村會議事堂
同　芝富村會議事堂

同　松野村會議事堂
同　蒲原町會議事堂
同　興津町會議事堂
同　興河內村會議事堂
同　高部村會議事堂

同　大河內村會議事堂
同　玉川村會議事堂
同　南菊科村會議事堂
同　大川村會議事堂

同　廣幡村會議事堂
同　朝比奈村會議事堂
同　稻葉村會議事堂
同　伊久良村會議事堂
同　東川根村會議事堂
同　大長村會議事堂
同　島田町會議事堂

訂（靜岡令二四一號）

同　六合村會議事堂
同　高洲村會議事堂
同　靜濱村會議事堂
同　吉永村會議事堂
同　小川村會議事堂

榛原郡川崎町會議事堂
同　金谷町會議事堂

小笠郡南郷村會議事堂
同　原谷村會議事堂
同　倉眞村會議事堂
同　西山口村會議事堂
同　東山村會議事堂
同　中內田村組合會議事堂
同　下內田村
同　岩滑村會議事堂
同　橫須賀町會議事堂
同　三濱村組合會議事堂
同　三俣村
同　池新田村會議事堂
同　比木村會議事堂
同　新野村會議事堂
同　六鄕村會議事堂

同　靑島町會議事堂
同　豐田村會議事堂
同　相川村會議事堂
同　和田村會議事堂
同　西益津村會議事堂

同　初倉村會議事堂
同　五和村會議事堂

同　會我村會議事堂
同　原泉村會議事堂
同　栗本村會議事堂
同　日坂村會議事堂
同　西鄕村會議事堂
同　佐東村會議事堂
同　土方村會議事堂
同　大坂村會議事堂
同　千濱村會議事堂
同　朝比奈村會議事堂
同　龍川村會議事堂
同　佐倉村會議事堂
同　南山村會議事堂
同　中　村會議事堂

周智郡久努西村會議事堂
同　宇刈村會議事堂
同　園田村會議事堂
同　天方村會議事堂
同　犬居町會議事堂
同　熊切村會議事堂
同　水窪町會議事堂

磐田郡幸浦村會議事堂
同　久努村會議事堂
同　福田町會議事堂
同　南御厨村會議事堂
同　中泉町會議事堂
同　袖浦村會議事堂
同　井通村會議事堂
同　富岡村會議事堂
同　三川村會議事堂
同　野部村會議事堂
同　光明村會議事堂
同　上阿多古村會議事堂
同　浦川村會議事堂
同　山香村會議事堂
同　長野村會議事堂

同　山梨町會議事堂
同　飯田村會議事堂
同　森　町會議事堂
同　三倉村會議事堂
同　氣多村會議事堂
同　城西村會議事堂

同　西淺羽村會議事堂
同　御厨村會議事堂
同　於保村會議事堂
同　西貝村會議事堂
同　天龍村會議事堂
同　掛塚町會議事堂
同　池田村會議事堂
同　向笠村會議事堂
同　敷地村會議事堂
同　二俣町會議事堂
同　龍川村會議事堂
同　下阿多古村會議事堂
同　佐久間村會議事堂
同　大藤村會議事堂

訂（靜岡令二四一號）

濱名郡曳馬町會議事堂　同　三方原村會議事堂
同　可美村會議事堂　同　新津村會議事堂
同　篠原村會議事堂　同　舞阪町會議事堂
同　新居町會議事堂　同　白須賀町會議事堂
同　鷲津町會議事堂　同　新所村會議事堂
同　知波田村會議事堂　同　入出村會議事堂
同　北庄内村會議事堂　同　和地村會議事堂
同　吉野村會議事堂　同　伊佐見村會議事堂
同　入野村會議事堂　同　小野口村會議事堂
同　赤佐村會議事堂　同　中瀬村會議事堂
同　龍池村會議事堂　同　豐西村會議事堂
同　積志村會議事堂　同　長上村會議事堂
同　和田村會議事堂　同　飯田村會議事堂
同　芳川村會議事堂

引佐郡中川村會議事堂　同　都田村會議事堂
同　井伊谷村會議事堂　同　奥山村會議事堂
同　金指町會議事堂　同　伊平村會議事堂
同　鎭玉村會議事堂　同　東濱名村會議事堂
同　三ヶ日町會議事堂　同　龍玉村會議事堂

靜岡市會議事堂　靜岡商工會議所議事堂
沼津商工會議所議事堂　沼津市會議事堂
濱水市會議事堂

十二ノ六ノ八ノ六

●縣立學校長ニ演說ニ依ル選擧運動ニ關スル管理者ノ權限委任ノ件

靜岡縣告示第千三百二十六號（昭和十年十二月十四日）

衆議院議員選擧法施行令第八十二條及之ヲ準用スル府縣制施行令第二十條竝ニ市制町村制施行令第三十二條ノ規定ニ依リ演說ニ依ル選擧運動ノ爲ニスル左記學校ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ關スル管理者ノ權限ハ之ヲ當該學校長ニ委任シタリ

靜岡縣靜岡師範學校　靜岡縣濱松師範學校
靜岡縣女子師範學校　靜岡縣立靜岡中學校
靜岡縣立濱松第一中學校　靜岡縣立韮山中學校
靜岡縣立掛川中學校　靜岡縣立沼津中學校
靜岡縣立榛原中學校　靜岡縣立豆陽中學校
靜岡縣立見付中學校　靜岡縣立富士中學校
靜岡縣立庵原中學校　靜岡縣立志太中學校
靜岡縣立濱松第二中學校　靜岡縣立靜岡高等女學校
靜岡縣立下田高等女學校　靜岡縣立三島高等女學校
靜岡縣立沼津高等女學校　靜岡縣立清水高等女學校
靜岡縣立藤枝高等女學校　靜岡縣立見付高等女學校
靜岡縣立掛川高等女學校　靜岡縣立富士高等女學校
靜岡縣立榛原高等女學校　靜岡縣立二俣高等女學校
靜岡縣立中泉農學校　靜岡縣立藤枝農學校

訂〔靜岡令二四一號〕

靜岡縣立大宮農學校　靜岡縣立濱松農蠶學校
靜岡縣立小笠農學校　靜岡縣立靜岡農學校
靜岡縣立田方農學校　靜岡縣立周智農林學校
靜岡縣立引佐農學校　靜岡縣立御殿場實業學校
靜岡縣立沼津農學校　靜岡縣立靜岡工業學校
靜岡縣立濱松工業學校　靜岡縣立靜岡商業學校
靜岡縣立濱松商業學校　靜岡縣立沼津商業學校
靜岡縣立燒津水產學校　靜岡縣立島田商業學校
靜岡縣立大宮高等女學校　靜岡縣立大仁高等女學校
靜岡縣立袋井商業學校　靜岡縣立島田高等女學校
靜岡縣立靜岡聾啞學校　靜岡縣立靜岡盲學校

●葵文庫長ニ演說ニ依ル選擧運動ニ關スル管理者ノ權限委任ノ件

靜岡縣告示第千三百二十五號（昭和十年十二月十四日）

衆議院議員選擧法施行令第八十二條第一項及之ヲ準用スル同第八十三條第一項及之等ノ規定ヲ準用スル府縣制施行令第二十條竝ニ市制町村制施行令第三十二條ノ規定ニ依リ演說ニ依ル選擧運動ノ爲ニスル葵文庫ノ設備ノ使用及其ノ使用ニ依ル演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ノ公營ニ關スル管理者ノ權限ハ之ヲ當該文庫長ニ委任シタリ

●議員候補者又ハ推薦屆出者ヨリ申請アリタルトキ公立學校等設備使用ニ關スル

十二ノ六ノ八ノ七

備使用ニ關スル件

訂〔靜岡令二四一號〕

高第一二八一號警察部長内務部長通牒（昭和五年二月一日）

市町村長　市町村組合長　町村組合長
商工會議所會頭　縣農會長　郡市農會長
縣立中等學校長　縣立葵文庫長宛

公立學校等設備使用ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ議員候補者又ハ推薦屆出者ヨリ申請アリタルトキハ能フ限リ簡易、迅速ニ處理シ且公平ニ取扱ハシムル樣御注意相成度特ニ左記ノ趣旨徹底スル樣御配慮相成度

追テ各町村農會長ニ對シテハ各町村長ヨリ其旨御示達相成度

記

一、衆議院議員選擧法施行令第八十條ニ「二日以内ニ」トアルハ公立學校等ノ設備使用申請者ニ對スル許否決定ノ通知ヲ可及的速カナラシメントスルノ趣旨ナルヲ以テ申請アリタルトキハ右期間内ト雖モ能フ限リ迅速ニ處理スルコト

一、公立學校等ノ設備使用ノ許可ヲ受ケタル者カ所定ノ使用開始時刻ニ使用ヲ開始セサルトキハ其ノ使用ヲ拒否スル向往々有之斯クノ如キハ穩當ナラサルヲ以テ許可ヲ受ケタル使用時間内ハ何時ニテモ使用セシムル樣取扱フコト

一、公立學校等ノ設備使用申請書ノ樣式等ハ許否決定上必要不可缺ナル事項以外ハ可成簡易ニ取扱フコト

●公立學校等ノ設備使用ニ關スル

件

地第二四六六號總務部長通牒（昭和十年十二月五日）

市町村長宛

衆議院議員其他議員選擧ニ關シ演說ニ依ル選擧運動ノ爲公立學校及一般ニ料金徵收ノ定メナキ衆議院議員選擧法施行令第七十六條ノ營造物ノ設備使用許可ニ當リ設備ノ損料其他雜費トシテ使用料若クハ寄附金ノ名義ニ依リ金員徵收ノ義ニ付往々伺出ノ向有之候處設備ノ損料ノ意味ヲ以テ料金ヲ徵收スルハ妥當ナラス使用者ニ於テ當然負擔スヘキ照明費、暖房裝置費等諸雜費相當額ヲ徵收スルハ差支ナキ義ニ付御了知相成度

追テ本件ハ衆議院議員選擧法施行令第八十一條ノ二ニ依リ管理者ニ於テ施設ノ公費ヲ爲ス場合ハ含マサル義ニ付爲念

●選擧人名簿ノ調製ニ關スル件

十五庶第九〇三號內務部長通牒（昭和二年一月十五日）

市町村長宛

衆議院議員其ノ他地方議會議員ノ選擧人名簿ニ就テハ夫々內務省令ヲ以テ之カ樣式ヲ定メラレ候處右名簿中住居又ハ住所欄ニハ番地ノ內更ニ細別ノ記號番號アルモノハ爾今適宜其ノ記號番號ヲモ併記スヘキ旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

昭和二年九月十五日
庶第九〇三號內務部長通牒

市町村長宛

選擧人名簿ノ調製ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本年一月十五日庶第九〇三號ヲ以テ及通牒置候處選擧人中間借、寄宿等ヲ爲ス者ニシテ其ノ住居（住所）ノ表示ヲ精密ナラシムルヲ便宜トスル見込ノ者ニ付テハ爾今住居（住所）欄ニ尙適宜「何某方」又ハ「何々寄宿舍內」等ト記載スヘキ旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度

●衆議院議員選擧人名簿修正報告ノ件

地第二四六七號總務部長通牒（昭和十年十二月五日）

市町村長宛

衆議院議員選擧法第十五條又ハ第十七條第二項但書ノ規定ニ依リ選擧人名簿ヲ修正シタル向ニアリテハ同法施行令第五條第二項ニ掲ケル其ノ都度遲滯ナク御報告相成度爲念

訂（靜岡令二四一號）

●議員選擧ニ關スル疑義決定ノ件

庶第一〇二五號內務部長通牒（昭和二年八月十六日）

市町村長宛

議員選擧ニ關スル疑義決定ノ件

標記ノ件ニ關シ內務省地方局長ヨリ左記ノ通省議決定ノ旨通牒有之候

○衆議院議員府縣會議員市町村會議員選擧ノ立會人ニシテ議員候補者ノ屆出ニ係ルモノ以外ノ立會人ハ之カ選任ヲ爲シタル者ニ於テ解任ヲ爲スコトヲ得

○投票函閉鎖後ニ於ケル投票ニ關スル件

（昭和二年七月一日省議決定）

一、衆議院議員選擧ニ於テハ投票函閉鎖後ハ例令投票時間內ニ投票所ニ入リタル者ト雖投票ヲ爲サシムルコトヲ得サルモノトス

二、縣會議員選擧ニ於テハ投票函閉鎖後ト雖投票時間內ニ投票所ニ入リタル者ニ對シテハ再ヒ開函シ投票ヲ爲サシムルコトヲ得ヘキモノトス

○二重文字ヲ以テ記載シタル投票ノ效力ニ關スル件

（昭和二年六月三十日省議決定）

左ノ如キ二重文字ヲ以テ議員候補者又ハ被選擧人ノ氏名ヲ記載シタル投票ハ有效トス

甲野太一

○當選人タルヘキ者選擧期日後被選擧權ヲ失ヒタル場合ノ取扱方ノ件

（昭和二年六月三十日省議決定）

衆議院議員府縣會議員及市町村會議員選擧ニ於テ當選人タルヘキ者選擧期日後被選擧權ヲ失ヒタル場合選擧會開會前其ノ事實ヲ知リタルトキハ選擧會ニ於テ選擧長ハ之ヲ當選者ト定ムルコトナク直ニ次點者ヲ以テ當選者ト定ムヘキモノトス

○衆議院議員選擧法第七十一條ノ「議員定數ヲ超エサルトキ」ノ意義ノ件

訂（靜岡令二四一號）

（昭和二年六月三十日省議決定）

衆議院議員選舉法第七十一條ノ所謂「議員ノ定數ヲ超エサルトキ」トハ議員候補者トシテ法第六十七條第一項及第二項ニ依リ選舉期日前七日迄ニ届出又ハ推薦届出ヲ爲シタル數竝ニ同條第三項ニ依リ選舉ノ期日ノ前日迄ニ届出ヲ爲シタル數ニシテ何レモ定數ヲ超エサル場合ヲ指シタルモノナリ隨テ選舉ノ當日死亡等ニ依リ候補者ノ數議員ノ定數ヲ超エサルニ至リタルカ如キハ包含セサルモノトス

○衆議院議員選舉投票管理者故障アル場合代理者ニ關スル件

（昭和二年七月一日省議決定）

一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ市町村長、助役ヲ各投票管理者ト定メタル場合ニ於テ市町村長ニ故障ヲ生シタルトキハ一般原則ニ依リ助役ニ於テ其ノ投票管理者ノ事務ヲ代理スヘキモノナルモ助役カ他ノ投票管理者タル場合ニ於テハ所謂代理者故障アルトキニ該當スルモノナルヲ以テ當然市町村長タル投票管理者ノ事務ヲ代理スルコトヲ得ス故ニ此ノ場合ニ於テハ選舉法施行令第九條ニ依リ監督官廳ハ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルカ又ハ助役ノ投票管理者タルコトヲ解キ市町村長ノ代理ヲ爲サシムルヲ相當トス

○不在投票ノ效力ニ關スル件

（昭和二年六月三十日省議決定）

投票管理者ノ豫メ交付シタル封筒（衆議院議員選舉法施行令第二十九條ノ規定ニ依ル投票用封筒）ヲ用ヒサル不在投票ハ受理スヘキモノニアラス

○投票分區ヲ設ケタル場合ニ於ケル選舉人名簿ノ抄本ノ件

（昭和二年六月三十日省議決定）

府縣會議員選舉ノ場合ニ於テ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合市町村長ニ於テ豫メ分區毎ニ選舉人名簿ヲ分冊調製セル場合ハ選舉人名簿ノ抄本ヲ調製スルコトナク其ノ原本ヲ送付スヘキモノトス

○文書等ノ送達箇所等指定ニ關スル件

（昭和二年七月五日省議決定）

衆議院議員及府縣會議員選舉ニ於テ地方長官ノ指定シタル官吏吏員カ投票管理者又ハ開票管理者若ハ選舉長タル場合ニ在リテハ之ニ差出スヘキ文書ノ送達及不在投票用紙等ノ請求ハ當該管理者又ハ選舉長ノ所屬官公署ニ付テ爲スヘク右以外ニ送達箇所又ハ請求箇所ヲ定ムルハ然ルヘカラス

投票管理者ニ送致スヘキ不在投票ハ當該管理者ノ所屬官公署ニ送致スルコトヲ要スルモ投票所カ所屬官公署以外ノ場所ニ設ケラレタル場合ニ在リテハ投票當日ニ於テハ其ノ場所ニ送致スルコトヲ要ス

○不在投票ノ受理如何ノ決定ノ範圍ノ件

（昭和二年七月二日省議決定）

衆議院議員選舉法施行令第三十四條第一項ノ規定ニ依ル不在投票ノ受理如何ノ決定ニ於テハ其ノ投票者ノ選舉權ノ有無及投票用紙ヲ交付シタル本人ナリヤ否ヤヲ審査シ之カ受理如何ヲ決定スヘキモノニシテ不在投票ヲ爲シ得ヘキ者ナルヤ否ニ付テハ審査スルコトヲ得ス

○市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ノ投票ニ關スル件

訂（靜岡令二四一號）

（昭和二年七月十五日省議決定）

市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ誤テ其ノ屬セサル投票區ノ名簿ニ登錄確定シタル場合ニ於テハ該選舉人ハ名簿ニ登錄セラレタル投票區ニ於テ投票ヲ爲スコトヲ得

●投票管理者又ハ開票管理者ト市町村委員ニ關スル件

庶第一一四八號内務部長通牒（昭和二年九月三日）

市長宛

投票管理者又ハ開票管理者ト市町村委員ニ關スル件

標記ノ件左記ノ通省議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候

記

一、衆議院議員選舉法施行令第七條第一項第二號同第三十七條第一項又ハ府縣制施行令第三條第一項第一號同第七條中ニ所謂「吏員」トハ市町村ノ委員ヲモ包含スルモノト解スルモ市町村委員ヲ投票管理者又ハ開票管理者ニ指定スルハ適當ナラサルヲ以テ可成之ヲ避クルコトヲ要ス

●投票ノ計算方法ニ關スル省議決定ノ件

庶第一一五〇號内務部長通牒（昭和二年九月三日）

市長宛

投票ノ計算方法ニ關スル省議決定ノ件

第二編　議員選舉　第一章　衆議院議員

標記ノ件ニ關シ左記ノ通省議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候

記

一、投票ノ點檢ニ當リ議員候補者ノ得票ヲ計算セシムヘキ事務員ノ總數ハ二人ヲ超ユルモ妨ケ無ク從テ各々二人宛ノ事務員ヲシテ各議員候補者毎ニ同時ニ其ノ得票數ヲ計算セシムルモ差支ヘ無之

訂（靜岡令一三六號）

●選舉事務質疑應答要旨ノ件

庶第一一一一號内務部長通牒（昭和二年九月五日）

市町村長宛

選舉事務質疑應答要旨ノ件

標記ノ件左記ノ通其ノ筋ヨリ送付越候條爲御參考

衆議院議員選舉法

第八條

（問）一、衆議院議員選舉法第八條府縣制第六條市制第十八條及町村制第十五條ノ選舉事務ニ關係アル官吏吏員ノ被選舉權禁止ノ規定ハ右官吏吏員カ投票開始時刻前迄其ノ職ヲ辭シタル場合ニハ被選舉權アリト解スヘキヤ又ハ前日以前ニ於テ辭シタル場合ニ非サレハ被選舉權ナキモノナルヤ

（答）一、辭職シタルトキ以後ハ被選舉權ヲ有ス

（問）一、衆議院議員選舉法及地方議會ノ議員選舉ノ規定中ニ「選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス」トノ規定アリ之ニ關シテハ大審院ノ判例（大正一四、一、二八、判決）ト行政

裁判所ノ判例トハ大ニ其ノ意義ヲ異ニシ且行政實例ニ於テモ亦多少見解ヲ異ニスル所アル爲メ其ノ適從ニ惑ハサルヤヲ得ス按スルニ行政實例ノ解釋スルカ如ク所謂「選舉事務ニ關係アル官吏吏員」ノ中ニハ法令ニ於テ明ニ選舉ノ事務ヲ管掌スヘキ者トシテ規定セラルヽ官吏又ハ吏員ハ勿論處務細則分課規定等ニ於テ當然其ノ事務ヲ擔任スヘキ職務ニ在ル者竝ニ縱令職務上ハ選舉ノ事務ヲ擔任スル者ニ非スト雖モ臨時ニ命ヲ承ケテ現實ニ選舉ノ事務ニ關係スルモノヲ包含スルモノト解スルヲ妥當ナリト信スルモ其ノ範圍ノ擴狹ハ頗ル重要ノ關係ヲ有スルヲ以テ此際主務省ノ見解ヲ一般ニ通牒セラレ行政官廳ノ取扱ヲ統一セラレムコトヲ望ム

（答）一、行政實例ノ解釋ハ既ニ明治三十五年四月（地發第六七號通牒）（明治三十五年五月一第一七一三號ノ一內務部長通牒）之ヲ決定シ以來未タ變更セス大審院及行政裁判所ノ判例ノ之ニ異ナルハ遺憾トスルモ亦已ムヲ得ス

（問）一、衆議院議員選舉法第八條府縣制第六條第五項「關係アル區域內」トハ區長及其ノ代理者ハ其ノ區ノ區域ニ限ルヤ又ハ町村ノ全區域ナリヤ

（答）一、開票ハ投票區毎ニナスヲ以テ其者ノ投票ハ區內外ニ區分スルヲ得ス故ニ關係アル區域トハ關係アル投票區內ト認ムヘキモノトス

第十二條

（問）一、住居（又ハ住所）ハ其ノ觀念上素ヨリ地番マテヲ指稱スルモノト解スヘキハ當然ノ義ナルモ選舉人名簿記載要件タル住居（又ハ住所）ハ舉竟名簿ノ正確ヲ期スル所以ニ外ナラス故ニ都市ニ在リテハ素ヨリ番地マテノ記入必要ナルヘキモ戶數僅カニ數百戶ヲ有スル農村ノ如キハ之ヲ各大字若ハ小字別ニ區分調製スルニ於テハ地番ノ記載ヲ省略スルモ爲ニ名簿ノ確實性ヲ失フノ虞ナキノミナラス反テ事務簡捷ヲ期スル所以ナリト思料ス故ニ將來名簿調製ニ當リ町村ニ於ケル地番ノ記載ハ其ノ町村ノ任意ニ依ラシムルコトヽ致シ度シ

（答）一、樣式ノ通記入スルヲ要ス

（問）一、改正衆議院議員選舉法第十二條ニ依レハ「市町村長ハ每年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ一年以上其ノ市町村內ニ住居ヲ有スル者ノ資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ」トアルヲ以テ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ノ調製ヲ要スルハ勿論ノ義ニ候モ其ノ期日後同法第十三條ニ依リ選舉人名簿ヲ縱覽ニ供スルマテノ間ニ於テ該名簿ニ脫漏遺載アルヲ發見シタル場合ニハ從來ノ實例通市町村長限リ加除修正ヲ爲シ得ルヤ將又改正法ニ於テ「十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ」トアリ由是觀之選舉人名簿調製ノ最終日ヲ規定シアルヲ以テ假令縱覽開始前ト雖モ從來ノ實例通市町村長限リ加除修正ヲ爲シ得ルモノトセハ選舉人名簿調製ノ最終期日ヲ定メタル法ノ精神ニ反シ其ノ調製期日ヲ延長スルノ結果トナルヲ以テ之ヲ爲シ得サル義ナルヤ

（答）一、前段見込ノ通

（問）一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ選舉人名簿確定後市町村內ノ大字地番ノ改正アリタルトキハ市町村長ハ投票區ノ地番改正ノ旨ノ告示ヲ爲スヲ要スルヤ又ハ名簿住所欄ニ夫々符箋ヲ貼付スヘキヤ或ハ何等ノ手續ヲ爲スヲ要セサルヤ

（答）一、告示スルヲ適當トス附箋ハ適宜ニテ可然

（問）一、選舉人名簿ニ記載スヘキ生年月日不明ノ者ハ本人ノ自供又ハ近隣ノ者ノ證明等ニ依リ調査推定シ「推定何年生又ハ何歲」ト記入スルモ差支ナキヤ

（答）一、差支ナシ

（問）一、衆議院議員選舉人名簿調製期日（九月十五日）現在ニ依リ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者人名簿縱覽期日（十一月五日）迄ニ於テ死亡其ノ他ノ事由ニ依リ失權シタルトキト雖モ名簿ハ修正削除スヘキモノニアラスト認ムルモ果シテ如何

（答）一、見込ノ通

第十三條

（問）一、衆議院議員及地方議會ノ議員選舉人名簿ノ縱覽時刻ニ關シテハ法ニ何等ノ規定ナキモ從來日出ヨリ日沒迄ノ間ニ於テ適宜ノ時間ヲ定メ縱覽ニ供シツヽアルモ假令右時間外ト雖モ之カ要求アル場合ハ縱覽セシメサルヘカラサルヤ

（答）一、要求ニ應スルノ義務ナキモノトス

（問）一、大正九年五月四日地發乙第一九一號地方局長通牒宮崎縣照會ニ對スル同答中衆議院議員選舉人名簿副本ノ縱覽期間不足セルモノト雖確定名簿ノ效力アリトノ見解ハ新法ノ選舉人名簿ニシテ縱覽期間不足シテ確定シタルモノニモ適用シ差支ナキ義ナルヤ

（答）一、選舉人名簿ヲ一定ノ期間縱覽ニ供スルコトハ名簿ノ效力發生ノ要件ナルヲ以テ之ヲ缺クニ於テハ其ノ名簿ハ無效ナリ

第十四條

（問）一、選舉人名簿ノ縱覽期間ヲ誤リタル等適法ノ手續ニ違背シタル場合ニ於テ市町村會議員選舉人名簿ニ付テハ異議申立ヲ許ササルヤ

（答）一、見込ノ通

第十五條

（問）一、衆議院議員選舉法第十五條及第十六條第一項ニ所謂關係人ハ係爭ノ選舉人ノ意ナリヤ或ハ一般選舉人ノ意ナリヤ

（答）一、前段見込ノ通

第十六條

（問）一、衆議院議員選舉人名簿ニ關スル異議申立ニ關シ市制第百六十條第三項乃至第六項ノ規定ヲ準用スヘキヤ

（答）一、準用ナシ

第二十條

（問）一、投票管理者、開票管理者、選舉長トシテ使用スル印章ハ地方事務官、屬、市町村主事、市町村書記等ノ如キ官印職印ヲ調製シ使用スルヲ要スルヤ將又各人ノ私印ヲ使用シ差支ナキヤ

（答）一、何等規定ナキヲ以テ適宜ニテ可ナリ

第二十一條

（問）一、投票所、開票所及選擧會場ニハ各其ノ門戸ニ標札ヲ掲クヘシトアリ此ノ門戸トハ普通ノ門ヲ指ス義ナリヤ又ハ投票所ニ在リテハ該通牒ニ依ル投票所ノ様式中ノ受付所ノ前ニ設クヘキ入口ノ箇所タル戸壁等ヲ指ス義ナリヤ若シ前者ノ如キ意義ナリトセハ其ノ標札ヲ掲ケタル門内即チ投票所ヲ設ケタル場所ハ敷地建物等ノ全部ヲ投票所ナリト解セサルヘカラサルコトヽナリ市役所町村役場ニ在リテハ選擧ノ當日ニ於ケル普通事務處理ノ爲メ特ニ通路、事務室等ニ區劃ヲ設クルノ要ヲ生ス右ハ後者ノ意義ナリト解シ可然ヤ

（答）一、門戸ニ付テハ前段見込ノ通但投票所トハ通牒様式ニ示ス場所トス

第二十二條

（問）一、法第二十二條ノ投票所告示ハ例令ハ六月三十日總選擧期日トセハ六月二十五日迄ニ告示セハ差支ナシト存ス如何

（答）一、見込ノ通

第二十四條

（問）一、投票立會人推薦屆出者ノ資格ハ其ノ投票區ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ナルニ於テハ選擧人名簿調製期日後選擧權ヲ喪失シタル者ト雖モ差支無之ト存スルモ無資格者ヲ誤リテ選擧人名簿ニ登載シタル者ノ如キハ不可然義ト解スヘキヤ

（答）一、前段見込ノ通後段例示ノ如キモ亦資格ヲ有ス

（問）一、衆議院議員選擧事務ニ關スル明治三十五年四月十八日地發第六七號ノ内地方局長通牒（明治三十五年五月一第一七一三號ノ一訂〔靜岡令一三六號〕）中「投票執行中投票立會人ニ闕員ヲ生シ事實之ヲ補充スルニ由ナキ場合ニ於テハ其ノ立會人カ假ヒ法定ノ最少數ヲ下リタルトキト雖投票ハ其ノ儘之ヲ遂行スルノ外ナク決シテ之ヲ中止スルヲ得サルモノトス」トノ見解ハ新法第二十四條ノ投票立會人三人ヲ下リタル場合ニモ適用シ差支ナキヤ尚又此ノ趣旨ハ開票及選擧ノ各立會人ニ闕員ヲ生シタル場合ニモ準用シ差支ナキヤ

（答）一、本件ノ如キ場合ハ事實生セサルモノト認メラルヽモ該當アル場合ハ通牒ノ通取扱フノ外ナシト存ス

第二十四條令第十條

（問）一、投票立會人其ノ職ヲ辭セムトスルニハ文書ナルト口頭ナルト其ノ何レニテモ差支ナキヤ又投票前日迄ノ辭任ノ候補者ヨリ屆出シムルヲ要スルヤ

（答）一、前段見込ノ通但シ可成ハ文書ヲ以テスルヲ適當ト認ム辭任ハ本人ヨリ屆出ツヘキ義ト存ス

第二十四條

（問）一、法第二十四條第一項ニ由リ屆出テシタル立會人選擧期日ノ前日迄ニ死亡シ又ハ辭シタル場合ハ議員候補者ハ更ニ投票立會人一人ヲ定メ屆出ヲ爲シ得ルモノナリヤ若シ然リトセハ市町村長カ立會人ノ死亡又ハ辭職シタルコトヲ議員候補者ヲ經スシテ知リタルトキハ之ヲ議員候補者ニ通知スヘキモノナリヤ

（答）一、前段ハ選擧期日ノ前日迄ハ更ニ屆出ヲ爲シ得ル義ニ有之後段ノ其義務ナキモノト存ス

訂〔靜岡令一三六號〕

第二十五條

（問）一、投票用紙交付ノ際選擧人名簿欄外ニ適宜ノ符號ヲ付スルモ差支ナキヤ

（答）一、別ニ差支ナシト存スルモ之カ爲メ名簿ヲ汚損セサル様注意ヲ要ス

（問）一、確定名簿ニ登錄セラレアル選擧權者ニシテ其ノ後法第六條第一號乃至第四號各號ノ一ニ該當スルニ至リタルモノアリトスルモ該名簿據置期間中ニ復權或ハ缺格事實ナキニ至リタル場合ハ該名簿使用ノ選擧ノ場合其ノ者ヲシテ選擧權ヲ行使セシムルコト差支無之ヤ

（答）一、差支ナシ

（問）一、名簿登載者ニシテ法第六條第七號ニ該當シタル爲一時選擧權ヲ失ヒタル者名簿有效期間内ニ刑ノ執行ヲ終リ又ハ之ヲ受クルコトナキニ至リタル者ハ復權スルヤ

（答）一、差支ナシ

（問）一、名簿登載者ニシテ法第七條第二項ニ該當シタル爲一時的選擧權ヲ失ヒタル者名簿有效期間内ニ該規定ニ該當セサルニ至リタル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ルヤ

（答）一、差支ナシ

第三十一條

（問）一、法第三十一條ノ規定ニ依リ假投票ヲ爲ス場合ノ封筒ノ表面ニ選擧人ノ氏名ヲ記載セシムルニ當リ自己ノ氏名ヲ自書シ能ハサル者ニ對シテハ選擧ノ事務ニ從事スル吏員ヲシテ便宜代書セシムルモ差支ナキヤ

（答）一、明治三十五年四月十八日地發第六七號（明治三十五年五月一日一第一七一三號内務部長通牒）ノ通投票事務ニ從事スル者ニ於テ適宜符箋ヲ貼付シ其ノ者ノ氏名竝ニ其ノ旨ヲ記載スルコトニ取扱ハレタシ

（問）一、點字投票者ニシテ左記ノ如キ場合ハ封筒ハ二重ニ使用スヘキモノナリヤ

選擧法第三十一條ニ依リ假投票ヲ爲サシムル者カ更ニ點字投票ニ付假投票ヲ爲サシムル場合

（答）一、見込ノ通

第四十六條

（問）一、衆議院議員竝ニ縣會議員選擧ニ於テ開票區ヲ設置スルノ規定アリト雖選擧事務ニ從事スヘキ人員ノ關係上之カ設置ノ困難ナル事情アル場合開票數多數ニシテ到底一日ニテハ開票ヲ完了スル見込ナキトキ（例ハ開票時間ヲ午前七時ヨリ午後十時迄トナシ）二日以上ニ分ツテ開票ヲナスコトハ差支ナキヤ

（答）一、開票數多數ノ場合開票二日ニ渉ルハ已ムヲ得サルモ此場合ハ繼續シテ開票ヲ行フヘキ義ト存ス

（問）一、選擧長、開票管理者ノ爲スヘキ告示ノ方式ハ如何ニスヘキモノナリヤ別ニ告示ノ方式ヲ定ムヘキモノトセハ其ノ根據承知シタシ

（答）一、適宜ニテ可ナルモ選擧長開票管理者ノ所屬行政廳ノ告示ノ方式ニ依ルヲ適當トス

訂〔靜岡令一三六號〕

第四十八條

（問）一、開票ニ當リ投票ノ計算假投票ノ受否決定及投票ノ點檢ヲ一投票毎ニ完結シ行フコトハ整理上便宜ノ手段トシテ採ラル處ナルヤ

（答）一、規定ノ通取扱ハレタシ

第五十條

（問）一、法第五十條及同第六十三條ノ參觀人ハ場所ノ廣狹ニ依リ適當ノ人數ヲ定メ置キ定員内ヲ限リ入場セシムルモ差支ナキヤ

（答）一、見込ノ通

第五十二條

（問）一、點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シタル投票用紙ニ普通文字ヲ以テ書シタル投票又ハ之ニ反シ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺セサル投票ヲ用紙ニ點字ヲ以テ記載シタル投票ハ何レモ衆議院議員選擧法第五十二條第一號又ハ府縣制第二十七條第一號ニ所謂成規ノ用紙ニ可給者ヲ用ヒザルモノニ該當シ無效ト解シ可給者ヲ無效ト存ス

（答）一、無效ト存ス

第五十八條

（問）一、法第五十五條及同第六十二條第二項ニ依リ更ニ選擧ヲ行フ場合ニ開票管理者及選擧長ハ更ニ任命ヲ要セサルモノナリヤ

（答）一、見込ノ通

第七十一條

（問）一、議員候補者被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキ嚮ニ之ヲ取扱ヒタル候補者トシテ得タル票ハ無效ナリヤ

（答）一、見込ノ通

（問）一、一議會ノ選擧犯ニ依リ罰則ニ觸レタル者ハ罰則ヲ準用スル凡テノ議會ノ議員選擧及投票ノ選擧權ヲ失フヤ

（答）一、見込ノ通

衆議院議員選擧法施行令

第七條

（問）一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル市町村ニ於テ各投票管理者トシテ指定シタル場合ニ於テ市長ニ故障ヲ生シタルトキハ助役カ當然市長故障アル場合ノ代理トシテ市長管理ノ投票所ノ投票管理者トナルヘキモノナルヤ又ハ職名ヲ記載シ投票管理者ニ指定シタル場合ト雖モ右ハ市長ニ對スル責任等ニ無之市吏員ノ一人トシテ指定セラレタルモノナルヤ

（答）一、衆議院議員選擧法施行令第七條第二項ニ依リ指定シタル選擧長又ハ衆議院議員選擧法施行令第九條ノ規定ニ依リ監督官廳ニ於テ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲ

（答）一、見込ノ通

第七十一條

第三十六條

（同）一、衆議院議員選擧法第七十一條第四項府縣制第二十九條ノ二第四項ニ依リ選擧會ヲ開ク場合ニ於テ法第六十條第二十三條第四項ニ依ル選擧會ノ場所日時ノ告示シタルモノノアルトキハ更ニ告示ヲ要セス其ノ日時ニ選擧會ヲ開キ差支ナキヤ

（答）一、法第七十一條第四項ニ違反セサル限リ見込ノ通

第百三十七條

（同）一、一議會ノ選擧犯ニ依リ罰則ニ觸レタル者ハ罰則ヲ準用スル凡テノ議會ノ議員選擧及投票ノ選擧權ヲ失フヤ

（答）一、見込ノ通

衆議院議員選擧法施行令

第七條

（同）一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル市町村長助役及收入役ニ故障アル場合ニ於テ市長ニ故障ヲ生シタルトキハ助役カ當然市長故障アル場合ノ代理トシテ市長管理ノ投票所ノ投票管理者トナルヘキモノナルヤ又ハ職名ヲ記載シ投票管理者ニ指定シタル場合ト雖モ右ハ市長ニ對スル責任等ニ無之市吏員ノ一人トシテ指定セラレタルモノナルヤ

（答）一、衆議院議員選擧法施行令第七條第二項ニ依リ指定シタル選擧長又ハ衆議院議員選擧法施行令第九條ノ規定ニ依リ監督官廳ニ於テ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲ

得ルヤ

（答）一、見込ノ通

第三十一條

（同）一、法令第三十一條第三項ニ依リ點字ニ依ル投票ノ拒否ノ決定ニ對シ假投票ヲ爲ス場合ノ封筒ノ表面ニ記載スヘキ選擧人ノ氏名ハ投票ト同樣點字ヲ以テ記載セシムヘキモノト解シ差支ナキヤ

（答）一、何レニテモ妨ナシ

第三十六條

（同）一、電車同一路線ニシテ地方鐵道法ニ依ルモノト軌道法ニヨルモノトノ併合ヨリナル場合其ノ係員ハ衆議院議員選擧法施行令第二十六條第三號ノ鐵道列車ニ乘務スル常況ニ在ル鐵道係員トシテ取扱可給載

（答）一、見込ノ通

第三十七條

（同）一、法第三十六條ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ施行令第二十七條ノ選擧ノ期日トハ右期日ヲ指稱スル義ナリヤ

（答）一、不在投票用紙等ノ交附ノ請求ヲ爲スコトヲ得ル期間ノ始期ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示云々ト規定セラレタル選擧ノ期日トハ一般ノ投票ノ期日ノ義ニシテ其ノ期間ノ終期ハ選擧ノ期日トハ御見込ノ通

第三十九條

（同）一、令第二十九條ニ依リ投票用紙等ヲ受ケタル投票ヲ爲サス又返還セラルヘキモノナリヤ如何ニ處理スヘキヤ

（答）一、市長ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シタル場合ニ於テ其ノ事務ヲ管掌セシムヘキモノナリヤ

（答）一、市長ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シタル場合ニ於テ之ノ代理スルモノナルヤ

（答）一、市長ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シタル場合ニ於テ助役ハ投票管理者ニ指定シタル場合ニ於テ市長及其ノ代理者共ニ故障アルモノトシテ取扱フヘキヤ

（答）一、市長ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シタル場合ニ於テ助役ハ投票管理者ニ指定シタル場合ニ於テ市長及其ノ代理者共ニ故障アルモノトシテ取扱フヘキヤ

（答）一、市長ノ投票管理者ニ於テ故障ヲ生シタル場合ニ於テ助役ハ投票管理者ニ指定シタル場合ニ於テ市長及其ノ代理者共ニ故障アルモノトシテ取扱フヘキヤ

（答）一、收入役代理者ハ收入役ノ投票管理者故障アルモノトシテ代理スルヲ得ス

第八條

（同）一、衆議院議員選擧法施行令第八條第一號及府縣制施行令第四條第一號ニ依リ投票管理者ニ指定シタル町村長指定後ニ於テ故障アリタルトキハ其ノ代理者ニ於テ投票管理者ノ職務ヲ執行シ

（同）一、前項前段ノ通トスレハ助役ノ管理スル投票區ハ助役ノ代理者無效ト解シ其ノ投票管理者ハ衆議院議員選擧法施行令第九條ノ規定ニ依リ監督官廳ニ於テ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲ其ノ事務ヲ管掌セシムルノ外ナキヤ

（答）一、第一項後段ニ依リ助役ノ投票管理者ニ故障ヲ生シタルトキハ令第七條ニ依リ更ニ指定スヘキモノトス

（同）一、第一項前段ノ通トスレハ收入役ヲ投票管理者ニ指定シタル場合ニ於テハ收入役故障アル場合ハ收入役代理者ニ於テ收入役ノ管理スル投票區ヲ爲シ得ルヤ

（答）一、收入役代理者ハ收入役ノ投票管理者故障アルモノトシテ代理スルヲ得ス

第八條

（同）一、衆議院議員選擧法施行令第八條第一號及府縣制施行令第四條第一號ニ依リ投票管理者ニ指定シタル町村長指定後ニ於テ故障アリタルトキハ其ノ代理者ニ於テ投票管理者ノ職務ヲ執行シ

（答）一、可成返還セシムル樣セラレ度モ選舉法上之ヲ强制スルノ途ナシ

第六十九條

（問）一、選舉人名簿ニ關シ市町村長ヲ被告トシテ提起セラレタル訴訟ノ訴訟費用ノ負擔ニ就テハ選舉法施行令第六十九條乃至第七十二條ニ特段ノ規定ナキヲ以テ右ハ當然市制第九十三條町村制第七十七條ノ規定ニ依リ市町村ノ負擔トスヘキモノト認ムルモ果シテ誤リナキヤ

（答）一、見込ノ通

第七十條

（問）一、衆議院議員選舉法施行令第七十條第二項ノ規定ニ依ルトキハ選舉法第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ關スル費用ハ選舉人ノ屬スル投票區ノ行政廳ノ負擔トセラレアルモ特別投票管理者ニ於テ受領シタル投票ヲ投票管理者ニ書留郵便脚夫等ニテ送致シタル費用等ハ特別投票管理者ニ於テ一時立替拂シ其ノ後ニ於テ選舉人ノ屬スル投票區ノ行政廳ニ請求シ支辨セシムル等ノ取扱ヲ爲スヘキ義ナルヤ

（答）一、繰替支辨ノ途ナキヲ以テ特別投票管理者ニ於テ一時立替ヲ爲ス等適宜ノ方法ニ依ルノ外ナシ

衆議院議員選舉法施行規則

第一條

（問）一、選舉人名簿番號ハ一市町村ヲ通シテ通行番號トスルト一大字又ハ一小字毎ニ更新スルトハ適宜ニテ可然哉

（答）一、見込ノ通

第九條

（問）一、開票錄及選舉錄中記載方ニ關スル件

一投票區ノ點檢ヲ終ル毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀スルモ差支ナキ旨大正十五年二月十九日地發第七號ヲ以テ地方局長ヨリ通牒アリタリ此ノ場合衆議院議員開票所開票錄樣式第十項又ハ府縣會議員選舉會選舉錄樣式ノ一第十項ヲ左ノ如ク記載シ差支ナキヤ如何

十、開票管理者（又ハ選舉長）ハ各投票區ノ投票ノ點檢ヲ終ル毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ午前（後）何時投票全部ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀シタリ

（答）一、差支ナシ

府縣制

第六條

（問）、改正前ノ市町村會議員選舉ニ關シ罰金刑ニ處セラレタルモノハ之カ選舉權ヲ有セサルニ依リ名簿ニ登錄セラレスト雖モ縣會議員ノ選舉權ハ尙之ヲ有スルモノト思料ス果シテ然ラハ改正府縣會議員選舉ハ市町村會議員選舉人名簿ニ依リ行フコトトナリ居レルモ名簿ニ登錄ナキ爲之カ權利ヲ行使シ得サルコトトナル如何ニ取扱フヘキヤ

（答）一、御意見ノ如キ結果ヲ生スルモ止ムヲ得サル義ト存ス

（問）一、府縣制第六條第五項ニ選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セサル旨規定シアルニ就テハ制規

訂（靜岡令一三六號）

ノ期日迄ニ議員候補者タルノ屆出ヲ爲シタル市町村長ノ如キハ選舉期日ノ前日迄ニ市町村長ヲ辭スルニ於テハ其ノ關係區域内ニ於テモ被選舉權ヲ有スルモノト認メ可然義ナルヤ

（答）一、辭職シタル以後ハ被選舉權ヲ有ス

第九條

（問）一、府縣會議員ノ選舉權ヲ有シ市町村會議員ノ選舉權ヲ有セサルモノノ改正ニ依ル選舉人名簿ノ記載ハ如何ニ爲スヘキヤ

（答）一、市町村會議員選舉人名簿ニ登載スルコトヲ得ス

第十六條

（問）一、大正十五年八月内務省令第三十九號ニ依リ縣會議員選舉人名簿ヲ調製シタル町村ニ於テ其ノ後偶々町村會議員總辭職ニ依リ（又ハ町村合併ノ結果）大正十五年法律第七十五號町村制中改正法律ニ依リ町村會議員ノ選舉人名簿ヲ調製シタル場合ハ本年九月執行ノ縣會議員選舉ニ於テハ其ノ名簿ニ依ルヘキ義ト存スルモ縣會議員選舉期日ノ告示後選舉期日ニ接近シテ名簿確定シタル場合ハ選舉運動立會人ノ屆出議員候補者ノ推薦等ニ支障ヲ生スル場合ナシトセス如何ニ措置スヘキヤ

（答）一、前段見込ノ通

後段大正十五年省令第二二號ニヨリ期日期間ヲ定ムルニ當リカカル事無キ樣豫メ措置セラレタシ

第十八條

（問）一、投票者カ誤テ投票用紙交付前ニ入場券ニ候補者氏名ヲ記載シ投函シタル旨申立テ其ノ事實ヲ確認シ得ル場合ハ投票用紙ヲ交付シ投票セシメ得ルヤ又ハ投票ヲ終リタルモノト認メ投票セシムルヲ得サルヤ

（答）一、投票ハ一人一票限ルヲ以テ假令如何ナル方法ニ依ルモ一旦投票シタル以上投票セシムルコトヲ得ス

第二十三條

（問）一、府縣制第二十三條府縣知事ノ指定シタル選舉長ハ選舉區内投票所ヲ監視スルノ職權アルモノナルヤ又ハ知事ノ別途命令アルニアラサレハ監視スルヲ得サルヤ

（答）一、後段見込ノ通

第二十九條

（問）一、議員候補者ノ數選舉スヘキ議員ノ定數ヲ超ヘ一旦有競爭ノ狀態ニ入リタルモ選舉ノ期日ニ於テ投票開始前候補者死亡シ又ハ辭退シタル爲議員候補者ノ數選舉スヘキ議員ノ數ヲ超エサルニ至リタルトキハ府縣制第十三條ノ二第五項ノ規定ニ依リ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘキモノナルモ更ニ第二十九條ノ三ノ規定ニ依リ無競爭ノ狀態ニ入ツタルモノトシテ取扱フヘキヤ又ハ既ニ有競爭ノ狀態ニ在ルモノトシテ取扱フヘキヤ若シ此ノ場合無競爭ノ狀態ニ入リタルモノトセハ投票管理者ハ投票ヲ開始セス又ハ中止スヘキヤ

（答）一、有競爭ノ狀態ニ在ルモノトシテ取扱フヘキモノトス

（問）一、前項ノ場合選舉期日投票開始後ニ於テ候補者ノ死亡シタルトキハ投票ヲ繼續シ開票ニ際シテ其ノ者ニ對スル投票ハ凡テ無效トナシ他ノ候補者ニ就テハ第二十九條但書ノ法定數以上ノ得票者ヲ當選人ト定ムヘキモノナリヤ

（答）一、死亡後ノ投票ハ無效ナルモ之ヲ分別シ得サル限リ全部有效トスルノ外ナシ

（問）一、第一項ノ場合ニ在リテ候補者死亡ノ事實ハ選舉期日前ニ發生シ

訂（靜岡令一三三號）

ザリトスルモ選舉長ニ於テ候補者ノ死亡ヲ知リタル時期カ第十三條ノ二第三項ノ屆出期間滿了後ニシテ選舉期日投票開始前ナリシ場合又ハ投票開始後ナリシ場合ノ取扱如何

（答）一、投票開始前ナルトキハ投票セシメス投票開始後ハ中止スルモノトス

（問）一、第一項及第二項ノ場合ニ於テ投票ヲ開始繼續スルトセハ候補者ノ死亡シ又ハ辭退シタルトキハ其ノ者ノ屆出テタル投票立會人ハ第十六條ノ規定ニ依リ當然失職シタルモノトシテ投票ヲ繼續スヘキモノナリヤ

（答）一、見込ノ通

第三十二條

（問）一、選舉立會人ノ件

府縣制第三十二條第二項ニ依リ選舉會ヲ開ク場合立會人ノ選任ハ如何ニ取扱フヤ選舉長ニ於テ選任スルヤ將亦衆ノ選舉會ニ於テタル立會人ヲ其儘踏襲スルヤ又此ノ場合ノ選舉長ハ府縣知事ニ於テ更ニ之ヲ指定スルヤ

（答）一、死亡シタル候補者ノ立會人ヲ除クノ外總テ從前ノ立會人ヲ立會ハシムヘキモノトス選舉長ハ前回選舉會ノ通

（問）一、府縣制第八條但書ニ依リ選舉會ヲ開ク場合ノ選舉立會人ハ從前選定ノ選舉立會人ヲ立會セシムルモノナリヤ又ハ更ニ當選者ト爲ラサリシ者ヨリ屆出ヲ要スルヤ

（答）一、同前

●衆議院議員選舉事務ニ關スル件

庶第一一八一號內務部長通牒（昭和二年九月十三日）

市町村長宛

衆議院議員選舉事務ニ關スル件ヲ別紙ノ通省議決定相成候旨其ノ筋ヨリ通牒有之候條御了知相成度爲御參考

追而投票管理者タル市町村長ノ臨時代理ニ關スル件ハ法律ノ解釋トシテハ左記第一項ノ通ナルモ實際ニ於テハ萬止ムヲ得サル場合ノ外力メテ之ヲ避クヘキ義ト存候ニ付此邊篤ト御留意相成度爲念

記

一、投票管理者タル市町村長ノ臨時代理ニ關スル件

衆議院議員選舉ニ於ケル投票管理者タル市町村長ハ市制第九十四條第三項又ハ町村制第七十八條第二項ニ由リ其ノ投票管理者トシテノ事務ヲ臨時市町村吏員ヲシテ代理セシムルモ違法ニ非ス

一、投票所ノ取締ニ關スル件

投票立會人中投票所ノ秩序ヲ紊ル者アル場合ハ當然衆議院議員選舉法第四十二條ヲ適用シ得ヘキモノトス

一、議員候補者ノ推薦屆出ヲ爲シ得ル者ニ關スル件

衆議院議員選舉法第六十七條第二項ノ所謂「選舉人名簿ニ記載セラレタル者」トハ其ノ選舉區內ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ニ限ルト解ス故ニ他ノ選舉區內ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ如キハ包含セサルモノトス

一、不在投票及封筒ノ交付及投票時間ニ關スル件

不在投票ニ付投票用紙及封筒ノ交付又ハ投票ニ關シ必要アル場合ハ投票管理者ニ於テ適宜ノ時間ヲ定ムルコトヲ得尤モ通常ノ執務時間ヲ包含セシムヘキ義ト存ス

前項ニ依リ適宜時間ヲ定メタルトキハ其ノ時間內ニ非サレハ投票用紙及封筒ノ交付又ハ投票ハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

一、議員候補者又ハ選舉立會人ノ屆出ニ關スル件

議員候補者ノ屆出又ハ選舉立會人ノ屆出ハ法定期限內ナルニ於テハ時間ノ如何ニ不拘之カ屆出ヲ受理スヘキモノトス

●選舉權證明ニ關スル件

高第七一九四號警察部長內務部長通牒（昭和二年九月二十日）

市町村長宛

衆議院議員選舉法施行令第五十三條第一項及第五十四條ノ規定ハ縣會議員選舉ニ準用セラルヘキヲ以テ右規定ニ依リ選舉事務長、選舉委員、選舉事務員ノ選任屆出ニ添附スヘキ選舉權ヲ有スル者ナルコトノ證明ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ者カ選舉權ヲ有スルコトヲ確認シ得ルトキハ速ニ別記樣式ニ依ル證明書ヲ交付セラレ度ヲ但シ願書ヲ提出シタルトキハ之ニ奧書證印ヲ爲シ交付スルモ妨ケナシ

別記

證明書

住所　靜岡縣　市郡　町村　番地

何　某　年月日生

右者縣會議員ノ選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ證明ス

昭和　年　月　日

何市町村長　氏　名印

●鐵道從業員ノ特別投票ノ爲投票用紙請求ニ際シ添付スル證明書ノ件

庶第一二一號內務部長通牒（昭和五年二月一日）

訂（靜岡令一六三號）

市町村長宛

鐵道列車ニ乘務中ノ者特別投票ヲ爲サンカ爲投票管理者ニ投票用紙ノ請求ヲ爲ス場合ハ衆議院議員選舉法施行令第二十八條第一項第三號ニ揭クル者ノ證明書ヲ添付スヘキ義ニ有之候處昭和四年五月鐵道省所屬ノ運轉從事員職制及服務規程改正ノ結果從前ノ「車掌監督」ハ之ヲ「車掌所主任」ト改メラレタル趣ニ付同施行令第二十八條第一項第三號中「車掌監督」ノ證明書ハ自然「車掌所主任」ノ證明書ヲ添付スル義ニ候

●假投票ニ關シ省議決定ノ件

庶第一二二六號內務部長通牒（昭和二年九月二十六日）

市町村長宛

假投票ニ關シ省議決定ノ件ヲ別紙ノ通省議決定ノ旨內務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候

追而本件ニ抵觸スル從前ノ通牒ハ自然消滅ノ義ニ付其旨御了知相成度申添候

記

衆議院議員選舉法第三十一條末項ノ「投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ」トハ同條第一項ニ依リ投票管理者ニ於テ爲シタル投票拒否ノ決定ニ對シ異議アル場合ノミヲ指スモノニ非ス投票立會人ニ於テ異議アル場合ハ總テ假投票ヲ爲サシムヘキモノト解ス

●議員候補者ノ屆出又ハ選舉立會人ノ屆出ニ關スル件

庶第一三二二號內務部長通牒（昭和二年九月二十九日）

市長宛

議員候補者ノ屆出又ハ選舉立會人ノ屆出ニ於テハ日曜

祭日ニテモ之ヲ受理スヘキモノナル趣内務省地方局長ヨリ通牒アリタルニ付御了知相成度

●衆議院議員選擧費用ノ負擔ニ關スル件

庶第一一一〇號内務部長通牒（昭和二年十月一日）　市町村長宛

衆議院議員選擧費用ノ負擔ニ關シ左記ノ通省議決定相成候趣ニ付御了知相成度

記

一、選擧長ニ於テ要スル費用及選擧會場ニ要スル費用　國費及市費
（イ）一選擧區郡市ニ涉ルトキ　國費
（ロ）市ニ限ルトキ　市費

二、開票管理者ニ於テ要スル費用及開票所ニ要スル費用
（イ）郡又ハ其ノ一部ノ區域ヲ以テ開票區トセルトキ　國費
（ロ）市又ハ其ノ一部ノ區域ヲ以テ開票區トセルトキ　市費

三、投票管理者ニ於テ要スル費用及投票所ニ要スル費用
（イ）市又ハ其ノ一部ノ區域ヲ以テ投票區トセルトキ　市費
（ロ）町村又ハ其ノ一部ノ區域ヲ以テ投票區トセルトキ　町村費
（ハ）數町村ノ區域ヲ以テ投票區トセルトキ　町村費

四、前各項ノ費用ハ官吏吏員等ノ旅費ハ包含セザルモノトス

●投票函ノ輸送ニ關スル件

庶第一二五八號内務部長通牒（昭和二年十月一日）　市町村長宛

投票函ノ輸送ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記甲號照會ニ對シ乙號ノ通リ鐵道次官ヨリ回答有之候趣内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付御了知相成度

追而私設鐵道ニ對シテハ當廳ヨリ内務次官照會ト同主旨ノ依賴ヲ經營主ニ爲シ置キ候ニ付右御了知ノ上鐵道輸送ノ見込ノ向ハ貴職ニ於テ尙モ豫メ乘車驛等ニ打合ヲ遂ゲ投票函輸送ニ際シ遺漏ナキヲ期セラレ度爲念申添候

記

（甲號）

昭和二年九月二日内務省栃地第二七號

内務次官照會　鐵道次官宛

投票函ノ輸送ニ關スル件

衆議院議員及府縣會議員選擧ニ於ケル投票函ハ改正法ニ依リ選擧有權者ノ著シク增加セル爲其ノ容積モ從來ニ比シ勢ヒ大ヲ加フルニ至リ候處御承知ノ通リ投票函ノ送致ハ法律上投票管理者及同立會人ノ護送ヲ要シ隨テ鐵道輸送ノ場合ニ於テハ手荷物トシテ運送ヲ許サヾル義ニ付尙從前ノ通携帶品トシテ客車内ニ持込ミ得ル樣特別ノ御配慮相煩度

追テ投票函ノ大サハ規定上高サ二尺幅二尺五寸横一尺五寸ニシテ選擧人ノ數ニ應ジ寸法ニ增減ヲ爲シ得ルコト、相成居候條申添候

（乙號）

昭和二年九月六日運第一〇六一號

鐵道次官回答　内務次官宛

本月二日付内務省栃地第二七號ヲ以テ御申出ニ係ル衆議院議員及府縣會議員選擧ニ於ケル投票函ノ客車内持込ノ義ハ事情已ムヲ得ザルニ付特ニ御申出ノ通取扱フコト、シ左記ニ依リ一般ニ通達致置候

◎投票函車内持込ノ件（運輸局）

公報通報欄掲載案

衆議院議員及府縣會議員選擧ニ於ケル投票函ハ選擧法ノ改正ニ伴ヒ有權者ノ著シキ增加ノ爲其ノ容積ハ從來ノモノニ比シ增大スルニ至ルベシ然ルニ右投票函ノ送致ハ法律上投票管理者及同立會人ノ護送ヲ要スベキ特殊ノ事情アル爲之ガ送致ニ當リテハ特ニ旅客携帶品トシテ客車内ニ持込マシメ得ルコト、ナリタルニ付注意ヲ要ス

訂〔靜岡令一六一號〕

●投票分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル選擧立會人ノ屆出又ハ選任ニ關スル件

地第二五三一號内務部長通牒（昭和四年十月二十二日）　市町村長宛

投票分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル選擧立會人ノ屆出又ハ選任ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通省議決定候旨通牒有之候條御了知相成度

追而本件ニ牴觸スル從前ノ行政實例ハ自然消滅ノ義ト御了知相成度爲念

記

投票分會ヲ設ケタル場合ニ於ケル選擧立會人ノ屆出又ハ選任ニ關スル省議決定ノ件

投票分會ヲ設ケタル場合選擧立會人ハ投票分會ノ區劃内ニ於ケル名簿登錄者ヨリモ屆出又ハ選任ヲ爲シ得ルモノトス

●投票ノ效力ニ關スル件

庶第一二七三號内務部長通牒（昭和二年十月一日）

白票又ハ丸、線等ヲ記入シタル等文字ノ記載ナキ投票ハ衆議院議員選擧法第五十二條第一項各號ニ該當セザルモノト雖無效投票ト認ムベキ旨省議決定相成候趣内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候　各選擧長宛

追テ本件ニ牴觸スル從前ノ通牒ハ自然消滅ノ義ニ付爲念申添候

訂〔靜岡令一六四號〕

昭和五年二月十八日
庶第一八九號内務部長通牒　市町村長宛

朝鮮文字ヲ以テ記載シタル投票ノ效力ニ關スル件

朝鮮文字ヲ以テ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタル投票ハ之ヲ有效ト解スヘキモノト内務省議決定ノ旨通知有之候御了知相成度

追テ朝鮮文字トシテハ大體左記ノ通ニ有之候ヘ共本邦固有ノ文字ヲ解スル者ハ努メテ朝鮮文字ノ使用ハ之ヲ避ケシメ候樣致度爲念

（左記略）

昭和五年二月十五日
庶第一九五號内務部長通牒　郡市開票管理者　市町村長宛

朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記載シタル投票ノ效力ノ件

議員候補者ノ氏名ヲ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記載シタル投票ハ衆議院議員選擧法第五十二條第七號ニ該當シ無效ト爲スト内務省議決定ノ旨通牒有之候ニ付爲御參考

昭和五年二月十五日
庶第二一五號内務部長通牒　郡市開票管理者　市町村長宛

地方局長

岡山縣知事宛

三日庶第一〇一一號照會投票ノ效力ニ關スル件御見込ノ通

庶第一〇一一號
昭和五年二月十七日
內務部長通牒
（都市關係各府縣知事　市町村長宛）

羅馬字投票ノ效力ニ關スル件

羅馬字ヲ以テ議員候補者ノ氏名ヲ書シ、之ニ「ミスメー」ヲ冠シタル投票ノ、其ノ氏名ノ末尾ニ「ヒヲッド」ヲ附シタル投票ハ何レモ無效ト爲スル旨內務省議決定相成候條爲御參考

庶第一〇一一號
昭和五年二月十七日
內務部長通牒
（都市關係各府縣知事　市町村長宛）

不在投票ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通應答候シタル旨內務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

秋地第一四一號
昭和五年二月十四日
內務省地方局長
各地方長官殿

不在者投票ニ關スル件ニ付通牒

別紙秋田縣知事照會標記ノ件ニ付左記ノ通及回答候條爲念

記

訂（訓令一六四號）

投票ノ效力ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通應答候シタル旨內務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

內務省岡地第七號
昭和五年二月十二日
內務省地方局長
各地方長官殿

投票ノ效力ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號岡山縣知事照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲御參考

追而從來氏名ノ外「政友」又ハ「公認」ノ文字ヲ記載シタルモノハ無效トシタル本文ニ依リ自然消滅ノ義ト御了知相成度

（甲號）

庶第一〇一一號
照會
昭和五年二月三日
岡山縣知事　香坂昌康
內務省地方局長殿

投票ノ效力ニ關スル件

氏名ノ外「民政黨公認」又ハ「民政黨公認候補者」ノ文字ヲ記載シタル投票ハ有效トシテ取扱フモ差支ナキ哉相生シ候ニ付至急電報ニテ御回示相成度候

（乙號）
昭和五年二月十二日
電報同答

投票ノ效力ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通應答候シタル旨內務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

內務省岡地第七號
昭和五年二月十二日
內務省地方局長
各地方長官殿

投票ノ效力ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙甲號岡山縣知事照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲御參考

追而從來氏名ノ外「政友」又ハ「公認」ノ文字ヲ記載シタルモノハ無效トシタル本文ニ依リ自然消滅ノ義ト御了知相成度

（甲號）

庶第一〇一一號
照會
昭和五年二月三日
岡山縣知事　香坂昌康
內務省地方局長殿

投票ノ效力ニ關スル件

氏名ノ外「民政黨公認」又ハ「民政黨公認候補者」ノ文字ヲ記載シタル投票ハ有效トシテ取扱フモ差支ナキ哉相生シ候ニ付至急電報ニテ御回示相須度候

（乙號）
昭和五年二月十二日
電報同答

十日照會不在者投票ノ件ハ選擧當日乘務中ノ者ニ限リ不在投票ヲ爲シ得ル義ト存ス

別紙

秋收地第一一三號
昭和五年二月十日
秋田縣知事
內務省地方局長殿

不在投票ニ關スル疑義ノ點照會

管下南秋田郡土崎港町所在仙臺鐵道局土崎工場ニ於テ同局管內全部ニ亙リ車輛運轉材料配給ノ爲運轉スル配給車ニ乘務シ一人ツヽ四日ノ行程ニテ管內ヲ一周シ歸場後九日間ハ工場ニ在リテ配給用務ヲ處理シ更ニ再ヒ前述ノ行程ニテ乘務スル（左記設例ノ通）工場工手（同工場ニテハ之ヲ配給係ト謂フ）七名アリ右ハ衆議院議員選擧法施行令第二十六條第三號ニ該當スル者トシテ取扱可然哉

追テ本件ハ差シ懸リタル儀ニ付至急御決定ノ上電報ヲ以テ御回示相成度

設例

一、同工場配給係員ハ七名アリ
七名ハ左ノ順序ニテ一人ツヽ配給車ニ乘務シ土崎ヲ出發ス先ツ
（イ）甲ハ土崎工場ヲ二月一日上リ列車ニテ乘務シ當日ハ郡山迄二日目ハ郡山ヨリ仙臺迄三日目仙臺ヨリ尻內迄四日目ハ卽チ二月四日尻內ヨリ
（ロ）乙ハ土崎工場ヲ二月二日甲ノ行程ヲ逆ニ乘車シ四日目卽チ二月五日郡山ヨリ土崎工場ニ歸ル

（ハ）二月三日ハ配給事ハ出發セス
（ニ）丙ハ二月四日甲ノ例ニ依リ乘車出發シ四日目卽チ二月七日歸著
（ホ）丁ハ二月五日乙ノ例ニ依リ乘車出發シ四日目卽チ二月八日歸著
（ヘ）二月六日ハ（ハ）同樣配給事ハ出發セス
二、右ノ如クニシテ七名ノ者ハ順次交替シテ乘務ス
三、故ニ甲ハ二月一日ヨリ四日間乘務シ二月五日ヨリ十三日マテ九日間ハ同工場ニテ配給用務ヲ處理シ次ノ順番ニ當ルニ月十四日ヨリ再ヒ四日間乘務スルコトヽナル
四、卽チ客人ハ十三日間ニ四日ノ割合ヲ以テ乘務スルモノニシテ一個年ニ十八回乘務ヲ數ヘ計百十二日トナリ常ニ三名ハ乘務中ニアルモノトス
五、此ノ種ノ配給ハ東京鐵道局管內ニ於テ同局大宮工場ニ於テ爲シ居ル由ナリ

選地第一一號
昭和五年二月十四日
內務省地方局長
各地方長官殿

不在者投票ニ關スル件通牒

標記ノ件ニ關シ左記甲號選信省管船局長照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲御參考

（甲號）

海第一四四號（昭和五年一月二十九日）
遞信局管船局長
內務省地方局長殿

不在投票ニ關スル件

左記ノ者ハ衆議院議員選挙法施行令第二十六條ニ該當スルモノトシテ不在者投票ヲ行ヒ得ルモノト解シ支障無キヤ若シ支障無シトセハ同條ニ所謂「日本船舶」トハ船舶國籍證書ヲ受有セサルモ獨航能力ヲ有シ且令第二十八條名簿ニ依リ總數ノ明ナルトキハ之ヲ以テ足ルト意義ナルヤ又船舶檢査證書ヲ受有セサルトキハ其ノ航路定限不明ナル場合ニ施行令第二十八條ニ依ル不在證明書ヲ發行スル場合ニ於テ如何ナル標準ニ依リ第二十六條第一號若ハ第二號該當者ト認ムヘキヤ意見一應承知致度

記

漁獲中ノ船舶ニシテ獨航能力ヲ有スルモ未タ船舶國籍證書及船舶檢査證書ヲ受有セサルモノニ乘組ミ雇入公認ヲ受ケシテ漁獲作業ニ從事スル者ハ内務省令ニ於テ作業ニ從事スル者ト認メ差支ナキヤト存候

（乙號）　昭和五年二月十二日

内務省地方局長

遞信省管船局長殿

不在者投票ニ關スル件回答

一月二十九日港第一四四號ヲ以テ標記ノ件御照會ノ處御來意ノ如キ船舶ニ付テハ特別投票ハ認メラレサルヲ以テ標記ノ件御照會ノ處御來意ノ如キ船舶ニ乘組ミ雇入公認ヲ受ケシテ漁獲作業ニ從事スル者ト認メ差支ナキヤト存候條御了知相成度

庶昭和二五年二九二號
内務省地方局長通牒

都市圏町村長宛

朝鮮語又ハ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記載シタル投票ノ效力ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

（甲號）

電報照會（二月十三日陸軍省發）

投票ニ記載シタル投票ハ有效ナル旨御通知ノ處候補者ノ氏名ノ他（中立）又ハ（應正中立）ト記載シタル投票モ有效トシテ取扱ヒ差支ナキヤ至急電ヲ乞フ

（乙號）

電報回答（二月十五日地方局長發）

十三日電照投票ノ效力ノ件御見込ノ通

（甲號）

發地第一五四二號

昭和四年二月五日

石川縣知事殿

地方局長殿

特別投票ニ關スル疑義ノ件照會

衆議院議員選舉法施行令第二十六條第一號ニ該當スル船舶ノ船員ヨリ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサル旨ヲ陳シ且令第二十八條所定ノ證明書ヲ提出シ投票用紙及投票用封筒ヲ請求シタルニヨリ投票管理者ハ其ノ事由ヲ認メテ直ニ郵便ヲ以テ之ヲ交付シタルニ其ノ翌日ニ至リ本人雇傭契約滿了ニ付笑港ニ於テ下船シタル旨ノ通知アリタリ

右ノ場合ニ於テ

一、投票管理者ハ本人ニ交付シタル投票用紙及投票用封筒ノ返還ヲ求ムルヲ要セサルヤ

二、本人ニ本人ニ證明ヲ爲シタル船長ノ管理スル投票記載ノ場所ニ到リ投票セントシタルトキハ船長ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

三、本人其ノ後他ノ船舶ニ乘務スルニ到リ其ノ船舶ノ船長ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ投票セントシタルトキハ其ノ船長ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

四、投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタル投票管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ投票セントシタルトキハ投票管理者ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

右疑義ニ關シ差掛リタル次第モ有之電信ニテ御伺示相煩度候也

（甲號）

發地第一五四二號

昭和四年二月五日

石川縣知事殿

地方局長殿

特別投票ニ關スル疑義ノ件照會

衆議院議員選舉法施行令第二十六條第一號ニ該當スル船舶ノ船員ヨリ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサル旨ヲ陳シ且令第二十八條所定ノ證明書ヲ提出シ投票用紙及投票用封筒ヲ請求シタルニヨリ投票管理者ハ其ノ事由ヲ認メテ直ニ郵便ヲ以テ之ヲ交付シタルニ其ノ翌日ニ至リ本人雇傭契約滿了ニ付笑港ニ於テ下船シタル旨ノ通知アリタリ

右ノ場合ニ於テ

一、投票管理者ハ本人ニ交付シタル投票用紙及投票用封筒ノ返還ヲ求ムルヲ要セサルヤ

二、本人ニ本人ニ證明ヲ爲シタル船長ノ管理スル投票記載ノ場所ニ到リ投票セントシタルトキハ船長ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

三、本人其ノ後他ノ船舶ニ乘務スルニ到リ其ノ船舶ノ船長ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ投票セントシタルトキハ其ノ船長ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

四、投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタル投票管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ投票セントシタルトキハ投票管理者ハ之ヲ拒絶スルヲ得サルヤ

右疑義ニ關シ差掛リタル次第モ有之電信ニテ御伺示相煩度候也

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

左記投票ハ無效トス

（イ）議員候補者ノ氏名ノ外ニ官位、職業、身分、住居又ハ數冊ノ類ヲ朝鮮語又ハ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記入シタル投票

（ロ）議員候補者ノ氏又ハ名ノ一方ヲ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記載シタル投票

庶昭和二五年二三〇號
内務部長通牒

都市圏町村長宛

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

（甲號）

電報照會（二月十三日陸軍省發）

投票ノ效力並特別投票ニ關スル件

（乙號）

電報回答（二月十五日地方局長發）

十三日電照投票ノ效力ノ件御見込ノ通

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

左記投票ハ無效トス

（イ）議員候補者ノ氏名ノ外ニ官位、職業、身分、住居又ハ數冊ノ類ヲ朝鮮語又ハ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記入シタル投票

（ロ）議員候補者ノ氏又ハ名ノ一方ヲ朝鮮音ニ依ル讀方ヲ以テ記載シタル投票

庶昭和二五年二三〇號
内務部長通牒

都市圏町村長宛

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

（甲號）

電報照會（二月十三日陸軍省發）

投票ニ記載シタル投票ハ有效ナル旨御通知ノ處候補者ノ氏名ノ他（中立）又ハ（應正中立）ト記載シタル投票モ有效トシテ取扱ヒ差支ナキヤ至急電ヲ乞フ

（乙號）

電報回答（二月十五日地方局長發）

十三日電照投票ノ效力ノ件御見込ノ通

庶昭和二五年二六〇號
内務部長通牒

都市圏町村長宛

標記ノ件ニ關シ左記ノ通閣議決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒有之候條爲御參考

記

（甲號）

電報照會（二月十三日陸軍省發）

特別投票ノ件（一）返還ヲ求ムヘキ限ニ在ラス（二）拒絶スヘキモノトス（三）（四）拒絶スルコトヲ得ス

（乙號）

電報回答（二月十五日地方局長發）

照會ノ特別投票ノ件（一）返還ヲ求ムヘキ限ニ在ラス（二）拒絶スヘキモノトス（三）（四）拒絶スルコトヲ得ス

石川縣知事殿

昭和五年二月十五日

地方局長

昭和七年二月十五日
庶第一三一號内務部長通牒

市町村長宛

投票ノ效力ニ關スル件

標記ノ件別紙ノ通内務省地方局長ヨリ通牒有之候

（別紙）

内務省發地第一三號
昭和七年二月四日
内務省地方局長

各地方長官殿

投票ノ效力ニ關スル件

左記符號ヲ附シタル羅馬字ニ依ル投票中(一)(二)ハ有效(三)ハ無效トスル旨省議決定相成候條爲念

記

(一)長音符トシテノ　一又ハ∧（例　Satō 又ハ Satô）
(二)撥音符トシテノ　ｎ　（例　Sin'i-iti）
(三)繫ギ　｜　（例　Yonada-Hirosi）

昭和七年二月十六日
庶第一三一號内務部長通牒

市町村長宛

投票ノ效力ニ關スル件

本月十五日庶第一三一號ヲ以テ及通牒候標記ノ件別紙ノ通省議變更セラレタル旨内務省地方局長ヨリ電報有之候

（別記）

本月四日發地第一三號通牒ノ處氏名ノ間ニ繫ギ符號ヲ付シタル羅馬字投票ハ有效ノ旨省議變更セラレタリ（二月十五日内務省地方局長ヨリ本縣知事宛電報）

訂（部岡令一八九號）

●選擧有權者タルコトノ證明ニ對シ手數料徵收ノ件

庶第一二七五號内務部長通牒（昭和二年十月一日）

市町村長宛

選擧有權者タルコトノ證明ニ對シ手數料徵收ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ通リ省議決定候趣内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候

記

衆議院議員選擧法施行令第五十三條及第五十四條ノ選擧權ヲ有スルモノナルコトノ證明ヲ市町村ニ請フモノアル時ハ市町村ハ其ノ證明ヲ與ヘ其ノ際斯ル事項ニ關スル手數料條例ノ設定アルニ於テハ所定ノ手數料ヲ徵收スルコトヲ得ルモノトス

●選擧事務ニ關スル件

庶第一二七七號内務部長通牒（昭和二年十月一日）

市町村長　各選擧長宛

選擧事務ニ關スル件

標記ノ件左記ノ通決定相成候

記

一、選擧人名簿ニ記入スヘキ番號ハ「日本數字ナンバリングマシーン」ヲ用ヒ縱ニ押捺スルモ差支ナキ義ニ有之

一、投票立會人及選擧立會人ハ議員候補者ニ於テ屆出得ヘキ期間内ハ假令三人ニ達セサル場合ト雖モ投票管理者又ハ選擧長ニ於テ選任スルコトヲ得サル義ニ有之

訂（部岡令一八九號）

●選擧供託事務特別取扱ニ關スル件

庶第一〇八三號内務部長通牒（昭和五年八月二十八日）

市町村長宛

衆議院議員選擧及地方議會議員選擧（選擧ノ爲供託ヲ要スルモノニ限ル）ノ供託事務取扱方ニ付テハ從來選擧ノ都度内務省ヨリ司法省ニ依頼シテ供託ヲ爲ス最終日ニ於テハ當日カ休日ニ當ルト否トヲ問ハス供託ヲ開キ午後九時迄供託事務ヲ取扱ヒ來リ候處既往ノ實績ニ徴シ來ル十一月一日ヨリ左記ニ依リ取扱フコトニ内務省ト司法省ト打合セ決定ノ旨内務省地方局長ヨリ通牒越候條貴管下一般ヘ周知方御取計相成度

追テ市會議員選擧（供託ヲ要スルモノニ限ル）ニ付テハ左記第三項ノ選擧期日及選擧期日ノ前日取扱ヲ必要トスルニ至リタルトキハ市長ハ速ニ所轄地方裁判所長ヘ通知相成度

記

一、供託事務ノ取扱ハ官廳執務時間ニ限ルコト

二、選擧期日ノ前七日目又ハ選擧期日ノ前日カ休日又ハ土曜日ニ當リタルトキハ特ニ午後四時迄取扱ヲ爲スコト

三、前項ノ取扱ハ選擧期日前七日目ノ特別取扱ニ付テハ地方長官又ハ市長（東京市ノ區ノ區會議員選擧ニ就テハ區長）ヨリ所轄地方裁判所長ニ宛テ選擧期日通知アリタル場合ニ限リ又選擧期日ノ前日ノ特別取扱ニ付テハ之ヲ必要トスルニ至リタル旨通知アリタル場合ニ限ルコト

●不在投票用紙同封筒ノ交付及投

訂（靜岡令一八九號）

票時間ニ關スル件

庶第一一四號内務部長通牒（昭和三年二月九日）

各衆議院議員選擧投票管理者宛

衆議院議員選擧法第三十三條同施行令第二十九條及第三十一條ノ規定ニ依リ投票用紙投票用封筒交付ノ請求及投票ヲ爲シ得ヘキ時間ヲ定ムルニ當リ日曜日祭日ヲ除キ行ヒ得ル樣告示スル向有之モ右ハ適當ナラス日曜日祭日ト雖モ爲スヘキモノニ付該時間ヲ定ムルニ當リテハ一般御留意ノ上之カ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ謄本提出相成度爲念

追テ右告示ハ左ノ例ニ依ルヲ適當ト認メラレ候ニ付申添候

告示第何號

不在投票ニ要スル投票用紙及投票用封筒交付ノ請求及不在投票ヲ爲シ得ヘキ時間左ノ通定ム

每日午前九時ヨリ午後四時迄

昭和三年何月何日

何市何投票區（何郡何町村）衆議院議員選擧投票管理者

何市長（助役收入役）
何町村長　氏　名

●衆議院議員選擧關係法令中疑義ニ關スル件

庶第一七八號内務部長通牒（昭和三年二月十五日）

投票管理者宛

衆議院議員選擧關係法令中疑義ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ甲號神奈川縣知事ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答ノ旨通牒有之候條爲念

第二編　議員選擧　第一章　衆議院議員

訂（靜岡令一七〇號）

甲號

神奈川縣知事照會　昭和三年一月二十七日
三地發第一九號

一、市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合市町村長ノ管理ニ屬セザル投票區ノ選擧人ヨリ郵便ヲ以テ不在投票用紙ノ交付ヲ市町村長宛ニ請求アリタル場合便宜之ヲ其ノ所屬ノ投票管理者ニ問發シ差支無キ義ト存スルモ一應御意見承知致度

二、名簿ニ登錄セラレタル者ニシテ其後名簿ニ登錄スルコトヲ得サル者トナリタル者ヨリ特別投票用紙及封筒ノ交付請求アリタル場合ニ於テモ之ヲ交付スヘキモノナルヤ

乙號

地方局長回答　昭和三年二月三日
神地第一八號

一、御一項　見込ノ通

一、第二項　選擧人名簿調製ノ期日ニ於テ選擧權ヲ有シ且ツ選擧人名簿ニ登錄セラレタル者ナル限リ假令其ノ後選擧權ヲ失フト雖モ不在投票用紙ノ交付ノ請求アルトキハ投票管理者ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得サルモノト存ス

●不在投票ノ受理如何ノ決定範圍ニ關スル件

庶第一九八號内務部長通牒（昭和三年二月十六日）

投票管理者　開票管理者宛

不在投票ノ受理如何ノ決定範圍ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ左記甲號三重縣知事ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答候趣内務省地方局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付爲念

記

（甲號）

三重縣知事照會（昭和三年二月三日地方局長宛）

不在投票ノ受理如何ノ決定ノ範圍ニツイテハ客年八月地發甲第三二號通牒アルモ投票ノ方法及特別投票用封筒ノ記載事項ノ取理例ヘハ立會人ノ署名無キカ如キヲ以テ不受理ノ決定ヲ爲スヲ得ルモノト解スルヤ電報ニテ御回示乞フ

（乙號）

內務省地方局長回答（昭和三年二月八日內務省三地第二二號三重縣知事宛）

電照不在投票ノ受理如何ノ決定ヲ爲ス場合ニハ投票用封筒ヲ用ヒタルヤ否ヤ及ト仝第三十二條第一項所定ノ記載ノ有無等ヲモ審査スヘキモノトス

●不在投票受理如何及拒否ノ決定手續ニ關スル件

庶第二三七號內務部長通牒（昭和三年二月十七日）

投票管理者宛

衆議院議員選擧法施行令第三十四條第一項ノ規定ニ依ル不在投票ノ受理如何ノ決定及同第二項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ニ付テハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者ニ於テ決定スヘキモノニシテ此ノ際投票立會人ニ於テ異議アルモ法第三十一條第四項ノ手續ニ依ルコトヲ得ザル義ニ有之卽チ投票管理者ニ於テ受理ノ決定ヲ爲シタル點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺セサル投票及受理ノ決定ヲ受ケ且其ノ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シタル投票ハ假令投票立會人ニ於テ異議アルモ投票用封筒ヲ去リタル投票ノミヲ投函スヘキ取扱ニ付御了知相成度

●衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

庶第二四五號內務部長通牒（昭和三年二月二十五日）

投票管理者宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ關スル左記甲號兵庫縣知事ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答候條爲念

記

（甲號）

昭和三年二月十日　兵庫縣知事

兵議第二七六號　衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ付左記ノ通疑義相生シ候條至急電報ヲ以テ御回報相成度

左記

一、選擧法施行令第三十二條第一項及第三項ノ所謂署名トハ特別投票管理者及立會人ニ於テ其氏名ヲ自書スヘキモノト解ス故ニ特別投票用封筒又ハ郵送用封筒裏面ニ本人ノ自筆ニ據リテ彫刻シタル印（普通小切手等ニ用ヒラルヽ例）ヲ押捺シタルモノニ封入シタル投票ハ之ヲ不受理ト決定スヘキモノナルヤ

二、投票用紙ニ政友會總務又ハ民政黨總務何某ト記載シタル投票ハ有效トシテ取扱フヘキヤ

（乙號）

（昭和三年二月十五日　內務省地方局長回答　內務省兵地第四七號　十日照會衆議院議員選擧ニ關スル件）

一、投票用封筒ニ在リテハ御見込ノ通郵送用封筒ニ在リテハ其ノ故ヲ以テ不受理トナスヘキモノニ非ス

二、御見込ノ通ト存ス

（昭和五年二月二十二日　庶第二六一號內務部長通牒）

市町村長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件左記ノ通照會回答有之候趣ニ付爲念

記

甲號

（昭和五年二月十四日）高知縣知事ヨリ地方局長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ廉疑義有之候條電報ヲ以テ何分ノ御回示相煩度

記

一、衆議院議員選擧法施行令第三十四條第二項ニ依リ投票用封筒ヲ開披シタルニ成規ノ投票ノ外名刺紙片ヲ封入シアルトキ或ハ成規ノ投票二通以上封入シアル場合ハ其ノ旨投票錄ニ記載シ其ノ儘投函スヘキモノナルヤ

二、昭和三年二月十七日行政實例ニ依レハ投票用封筒ニ「立會人ノ署名」「特別投票管理者ノ署名」等何レヲ欠缺スルモ不受理トナスヘシトシテ取扱フヘキヤ

（乙號）

（昭和三年二月十五日　內務省地方局長回答　內務省兵地第四七號　十日照會衆議院議員選擧ニ關スル件）

一、投票用封筒ニ在リテハ御見込ノ通郵送用封筒ニ在リテハ其ノ故ヲ以テ不受理トナスヘキモノニ非ス

二、御見込ノ通ト存ス

（昭和五年二月二十二日　庶第二六一號內務部長通牒）

市町村長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件左記ノ通照會回答有之候趣ニ付爲念

記

甲號

（昭和五年二月十四日）高知縣知事ヨリ地方局長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ廉疑義有之候條電報ヲ以テ何分ノ御回示相煩度

記

一、衆議院議員選擧法施行令第三十四條第二項ニ依リ投票用封筒ヲ開披シタルニ成規ノ投票ノ外名刺紙片ヲ封入シアルトキ或ハ成規ノ投票二通以上封入シアル場合ハ其ノ旨投票錄ニ記載シ其ノ儘投函スヘキモノナルヤ

二、昭和三年二月十七日行政實例ニ依レハ投票用封筒ニ「立會人ノ署名」「特別投票管理者ノ署名」等何レヲ欠缺スルモ不受理トナスヘシトシテ取扱フヘキヤ

（乙號）

（昭和三年二月十五日　內務省地方局長回答　內務省兵地第四七號　十日照會衆議院議員選擧ニ關スル件）

一、投票用封筒ニ在リテハ御見込ノ通郵送用封筒ニ在リテハ其ノ故ヲ以テ不受理トナスヘキモノニ非ス

二、御見込ノ通ト存ス

（昭和五年二月二十二日　庶第二六一號內務部長通牒）

市町村長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件左記ノ通照會回答有之候趣ニ付爲念

記

甲號

（昭和五年二月十四日）高知縣知事ヨリ地方局長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ廉疑義有之候條電報ヲ以テ何分ノ御回示相煩度

記

一、衆議院議員選擧法施行令第三十四條第二項ニ依リ投票用封筒ヲ開披シタルニ成規ノ投票ノ外名刺紙片ヲ封入シアルトキ或ハ成規ノ投票二通以上封入シアル場合ハ其ノ旨投票錄ニ記載シ其ノ儘投函スヘキモノナルヤ

二、昭和三年二月十七日行政實例ニ依レハ投票用封筒ニ「立會人ノ署名」「特別投票管理者ノ署名」等何レヲ欠缺スルモ不受理トナスヘシトシテ取扱フヘキヤ

（乙號）

（昭和三年二月十五日　內務省地方局長回答　內務省兵地第四七號　十日照會衆議院議員選擧ニ關スル件）

一、投票用封筒ニ在リテハ御見込ノ通郵送用封筒ニ在リテハ其ノ故ヲ以テ不受理トナスヘキモノニ非ス

二、御見込ノ通ト存ス

（昭和五年二月二十二日　庶第二六一號內務部長通牒）

市町村長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件左記ノ通照會回答有之候趣ニ付爲念

記

甲號

（昭和五年二月十四日）高知縣知事ヨリ地方局長宛

衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件

標記ノ件ニ關シ左記ノ廉疑義有之候條電報ヲ以テ何分ノ御回示相煩度

記

一、衆議院議員選擧法施行令第三十四條第二項ニ依リ投票用封筒ヲ開披シタルニ成規ノ投票ノ外名刺紙片ヲ封入シアルトキ或ハ成規ノ投票二通以上封入シアル場合ハ其ノ旨投票錄ニ記載シ其ノ儘投函スヘキモノナルヤ

二、昭和三年二月十七日行政實例ニ依レハ投票用封筒ニ「立會人ノ署名」「特別投票管理者ノ署名」等何レヲ欠缺スルモ不受理トナスヘシ

（乙號）

（昭和五年二月十八日）地方局長ヨリ長崎縣知事宛

（電文）

十七日電照不在者投票ノ件不可然義ト存ス

訂（靜岡令一七〇號）

トアルモ右立會人無筆ナル爲特別投票管理者ニ於テ符箋シ立會人ハ無筆ナルヲ以テ署名不能ナル旨ヲ記載シタルモノハ受理シ差支ナキヤ

三、港灣浚渫船（二十噸以上）ニ港灣以上浚渫ノ爲他ノ港灣ニ往復スル場合ノミ湖川港灣外ヲ航行スル事實アルモ施行令第二十六條第二號該當ノモノトシテ取扱可然哉

乙號

（昭和五年二月十九日）地方局長ヨリ高知縣知事宛

電照衆議院議員選擧ニ關スル疑義ノ件（一）投票錄ニ記載スルノ外當該投票ニ付其ノ事實ヲ認識シ得ヘキ樣適宜措置ノ上投函スヘキモノト存ス（二）（三）御見込ノ通ト存ス

甲號

（昭和五年二月十七日）長崎縣知事ヨリ地方局長宛

電文

施行令第二十六條第一號該當ノ選擧人ヨリ投票用紙ヲ電信ニテ請求シ且證明スヘキモノヨリ不在投票該當者ナル事由ヲ電信ニテ通知シ來レル場合投票用紙及封筒ヲ交付シ閥ナキヤ電信ニテ御指令ヲ乞フ

乙號

（昭和五年二月十八日）地方局長ヨリ長崎縣知事宛

（電文）

十七日電照不在者投票ノ件不可然義ト存ス

第二章　縣會議員、市町村會議員

●靜岡縣會議員選舉事務取扱規程

靜岡縣訓令甲第十三號（昭和四年四月十六日）

追加　昭和一〇年八月訓令甲第一六號改正

昭和二年七月靜岡縣訓令甲第二十五號靜岡縣會議員選舉事務取扱規程左ノ通改正ス

（總務部　警察部　警察署　市役所　町村役場　選舉長　投票管理者）

靜岡縣會議員選舉事務取扱規程

第一章　選舉人名簿

第一條　市町村會議員選舉人名簿確定シタルトキハ市町村長ハ直ニ左ノ通處理スヘシ

一　選舉人名簿ノ寫二部ヲ知事ニ提出スルコト但シ縣會議員總選舉ニ使用スヘキ見込ノ選舉人名簿ニ限ル

二　確定名簿登錄人員及點字投票又ハ不在投票ヲ爲スヘキ見込人員ヲ別紙第一號樣式ニ依リ知事ニ報告スルコト

市町村ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル爲選舉人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二條　（削除）

第二章　投票

第三條　市町村長ハ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ之ヲ變更スルノ必要アリト認ムルトキハ豫メ投票區ノ區域及投票所ヲ定メ告示スヘシ

第四條　市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テ市町村長ハ各投票區ノ投票管理者ヲ指定シタルトキハ直ニ之ヲ告示シ其ノ寫ヲ知事ニ提出スヘシ

第五條　投票管理者ハ其ノ市町村吏員ノ中ニ就キ投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタルトキハ市町村長ニ於テ各投票區ノ投票所ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

第六條　投票所ヲ市役所町村役場以外ニ設クル場合ニ於テハ成ルヘク門戸アル場所ヲ選定スヘシ

第七條　投票管理者投票所ノ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

第八條　投票函、點字器及點字投票ノ印ハ衆議院議員選舉用ノモノヲ使用シ投票函ノ表記ヲ縣會議員選舉投票函ト改ムヘシ

訂（靜岡令二三七號）

一　區劃明細書
二　區劃內ノ選舉有權者見込數
三　投票區ノ名稱
四　豫定投票所ノ位置及豫定投票所ト區劃內最遠個所トノ距離ヲ明示シタル圖面
五　理由書

數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケ又ハ之ヲ變更スルノ必要アリト認ムルトキハ關係町村長協議ノ上前項ニ準シ知事ニ內申スヘシ此ノ場合ニ於テハ併セテ投票管理者タルニ適スル者ヲ內申スヘシ

投票管理者ノ指定後關係町村長ニ於テ投票管理者ヲ變更スルノ必要アリト認ムルトキハ前項ニ準シ知事ニ內申スヘシ

第九條　投票所ハ別記第二號樣式ニ準シ選舉人ノ多寡ニ應シ適宜之ヲ揭示シ受付所、選舉人控所、選舉人名簿對照及投票用紙交付所、投票記載所並投票場所等ヲ設備スヘシ

投票所ニハ投鈴又ハ擊拆及正確ナル時計ヲ備フヘシ

投票記載所ニハ筆、硯、墨及點字器ヲ備フヘシ

第十條　投票所ノ門戶ニハ別記第三號樣式ニ依ル標札ヲ揭クヘシ

第十一條　投票管理者投票所入場券及到著番號札ヲ交付セムトスルトキハ別記第四號樣式ニ準シ之ヲ調製スヘシ

第十二條　投票時間終リタルトキハ投票管理者ハ其ノ由ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待チテ投票函ヲ閉鎖スヘシ

第十三條　投票管理者投票函ヲ閉鎖シタルトキハ其ノ內蓋及外蓋ノ鑰ハ各別ニ之ヲ强靱ナル封筒ニ入レ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ爲シ其ノ封筒ノ表面ニ內蓋ノ鑰又ハ外蓋ノ鑰ノ別、投票區名、送致者名ヲ記載スヘシ

第十四條　投票管理者投票函ヲ選舉長ニ送致スル場合ニハ左ノ書類及物件ヲ提出スヘシ

一　別記第五號樣式ニ依ル送致書
二　投票錄ノ寫
三　別記第六號樣式ニ依ル有權者調
四　同第七號樣式ニ依ル投票用紙及封筒ノ精算書
五　同第七號樣式ノ二ニ依ル不在投票調
六　剩餘又ハ汚損ノ投票用紙及封筒
七　府縣制第十九條及府縣制施行令第五條第三項同第十六條ノ九ノ假投票アルトキハ其ノ拒否又ハ不受理ノ理由書並證憑

前項ノ場合ニ於テ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人ハ別記第八號樣式ニ依ル差出書ヲ提出スヘシ

第十五條　府縣制施行令第三條第一號ノ規定ニ依リ指定セラレタル投票管理者ニシテ市町村長ニ非サル者ハ投票終了後遲滯ナク投票ニ關スル書類、點字器及點字投票ノ印ヲ其ノ市町村長ニ送致スヘシ

第十六條　天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ所定ノ期日迄ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ旨及送致見込日數投票區ヲ設ケタル市町村會議員選舉人名簿抄本調製ノ必要アルトキハ當該市町村長ニ於テ之ヲ調製シ其ノ費用ハ之ヲ知事ニ請求スヘシ

投票錄用紙、投票用紙假投票用封筒及不在投票用封筒ハ選舉ノ際投票管理者ニ之ヲ交付ス

投票管理者前項ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ枚數ヲ調查シ受領書ヲ知事ニ提出スヘシ

假投票用封筒及不在投票用封筒ニハ豫メ［投票所］印ヲ押捺シタルモノヲ交付スヘキニ付投票管理者之ヲ選舉人ニ交付セムトスルトキ當該欄ニ投票所名ヲ記入スヘシ

府縣制施行令第三條第一號ノ規定ニ依リ指定セラレタル市町村長ニ非サル投票管理者ハ選舉ニ際シ其ノ市町村長ヨリ投票函、點字器及點字投票ノ印ヲ受領スヘシ

選舉人名簿ノ寫調製用紙ハ市町村長ニ之ヲ交付ス

時ヲ適宜速達ノ方法ヲ以テ選舉長及知事ニ報告スヘシ

第十七條　天災事變等ノ爲投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ直ニ選舉長及知事ニ報告スヘシ

第三章　選舉會

第十八條　選舉長選舉會ノ場所及日時ヲ告示シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ寫ヲ知事ニ提出スヘシ

第十九條　選舉長府縣制第十三條ノ二ノ規定ニ依リ議員候補者ノ屬出推薦屆出若ハ議員候補者タルコトヲ辭スルノ屆出又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトノ告示ヲ爲シタルトキハ直ニ其ノ告示ノ寫ヲ知事ニ提出シ且其ノ選舉區內ノ警察署長ニ通知スヘシ

第二十條　選舉長前條ノ告示ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ告示カ投票開始時刻迄ニ投票管理者ニ到著セサル虞アル場合ニ於テハ便宜速達ノ措置ヲナスヘシ其ノ告示ヲ選舉ノ期日ニ於テ爲シタル場合亦同シ

第二十一條　選舉長タル市長ハ市吏員ノ中ニ就キ選舉會ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定スヘシ

知事ノ指定シタル官吏選舉長タル場合ニハ知事ニ於テ選舉會ノ事務ニ從事スヘキ者ヲ指定ス

第二十二條　選舉會ノ會場ノ門戶ニハ別記第九號樣式ニ依ル標札ヲ掲クヘシ

第二十三條　選舉會ノ參觀ヲ求ムル選舉人アルトキハ選舉長ハ選舉人タルノ證憑ヲ提出セシムヘシ但シ市長選舉長タル場合ニ於テハ其ノ保管スル選舉人名簿ニ登載セラレタル選舉人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　選舉長投票函ヲ受領スルトキハ內蓋及外蓋ノ鑰ヲ入レタル封筒ノ封印ヲ檢シ各其ノ之ヲ送致シタル者ヲシテ封筒ヲ開披シ鑰ヲ取出サシメ更ニ其ノ者ヲシテ之ヲ他ノ封筒ニ入レ封印ヲ施サシメ其ノ表面ニ內蓋ノ鑰又ハ外蓋ノ鑰ノ別、投票所名、送致者名ヲ記載セシメテ之ヲ受領シ其ノ儘之ヲ嚴重ニ保管シ投票函ヲ開ク前選舉立會人立會ノ上封印ヲ檢シタル後封筒ヲ開披スヘシ

第二十四條ノ二　選舉長ニ於テ受理スヘシト決定シタル不在投票ノ投票用封筒ハ選舉ニ關スル書類トシテ之ヲ取扱フヘシ

第二十五條　選舉錄用紙ハ選舉ノ際之ヲ交付ス

第二十六條　選舉長投票函ノ送致ヲ受ケタルトキハ有權者及投票人ノ總數ヲ調査シ之ヲ知事ニ速報スヘシ

第二十七條　選舉長當選者ノ住所氏名ヲ告示シタルトキハ遲滯ナク左ニ揭クル事項ヲ處理スヘシ

一　選舉ノ顚末ヲ知事ニ報告スルコト

二　左ノ書類又ハ物件ヲ知事ニ提出スルコト

(一)　選舉錄及投票錄ノ寫

(二)　別記第六號樣式ニ準シテ調製セル有權者調集計書

(三)　別記第七號樣式ニ準シテ調製セル投票用紙及封筒精算集計書

(四)　別記第九號樣式ノ二ニ依ル開票調

(五)　知事ノ指定シタル選舉長ニ在リテハ投票、投票函、選舉錄其ノ他ノ關係書類及物件

三　知事ノ指定シタル選舉長ニ在リテハ投票函ヲ町村長ニ返付スルコト

第四章　補則

第二十八條　投票管理者又ハ選舉長ニ於テ爲ス告示ハ各其ノ所屬廳ノ公告式ニ準スヘシ

第二十九條　投票管理者及選舉長ハ各其ノ事務ニ從事スル者ヲシテ投票所又ハ選舉會場ノ門戶及出入口等ノ取締ヲ爲サシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ警察官吏ノ派遣ヲ求ムヘシ

第三十條　投票錄及選舉錄ハ各其ノ調製義務者ニ於テ其ノ謄本ヲ調製シ選舉人又ハ議員候補者ノ請求アリタルトキ之ヲ閱覽セシムヘシ

選舉長官吏タル場合ニ於テハ選舉錄ノ謄本ハ知事ニ於テ之ヲ閱覽セシム

第三十一條　市町村長又ハ警察署長ニ於テ選舉事務長又ハ選舉委員ノ選任ノ屆出ニ添附スヘキ選舉權ヲ有スル者ナルコトノ證明ノ請求ヲ受ケタル場合其ノ者カ選舉權ヲ有スル者ナルコトヲ確認シ得ルトキハ直ニ證明書ヲ交付シ又ハ奧書證印ヲ爲スヘシ

前項ノ證明ハ別記第十號樣式ニ依ルヘシ

第三十二條　當選證書ハ別記第十一號樣式ニ依ル

第三十三條　議員候補者ノ得票數府縣制第十三條ノ三第二項ノ規定ニ該當セス且府縣制施行規則第八條第二項ノ期間經過ニ依リ供託原因消滅シタルコトノ證明ハ知事之ヲ爲ス但シ知事ノ指揮ヲ得テ選舉長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

別記

第一號樣式

市町村會議員選舉人名簿確定報告

名簿登錄人員	點字投票見込數	不在投票見込數

右及報告候也

訂(靜岡令二三七號)

訂(靜岡令二三七號)